

くろべ工房石田 新築工事

種 別	No.	確認申請 添付図面	図 面 名 称	種 別	No.	確認申請 添付図面	図 面 名 称	種 別	No.	確認申請 添付図面	図 面 名 称	種 別	No.	確認申請 添付図面	図 面 名 称
意 匠	A-01		表紙・図面目次	意 匠	A-31		天井伏図	構 造	S-01	○	構造設計特記仕様 その1	電 気	E-01		電気設備特記仕様書（1）
	A-02		特記仕様書 1（共通）		A-32	○	建具配置図		S-02	○	構造設計特記仕様 その2		E-02		電気設備特記仕様書（2）
	A-03		特記仕様書 2（建築 1）		A-33	○	建具法チェック表 1		S-03	○	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）		E-03		構内配電・通信線路図
	A-04		特記仕様書 3（建築 2）		A-34	○	建具法チェック表 2		S-04	○	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）		E-04		動力制御盤結線図
	A-05		特記仕様書 4（建築 3）		A-35	○	建具表 1		S-05	○	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（3）		E-05		動力制御回路図（1）
	A-06	○	敷地配置図・案内図		A-36	○	建具表 2		S-06	○	鉄骨構造標準図（1）		E-06		動力制御回路図（2）
	A-07	○	敷地求積図・建物面積求積図		A-37	○	建具表 3		S-07	○	鉄骨構造標準図（2）		E-07		幹線・動力配線図
	A-08	○	1階部屋別求積図		A-38	○	建具表 4		S-08	○	ハイベースNE0工法設計施工標準		E-08		電灯分電盤結線図
	A-09	○	2階部屋別求積図		A-39	○	建具表 5		S-09	○	ハイベースNE0工法各種寸法及び基礎柱形設計例		E-09		電灯制御回路図
	A-10	○	法令チェック		A-40		建具詳細図 1（AW8）		S-10	○	Q L デッキ合成スラブ設計・施工標準		E-10		照明器具姿図表
	A-11	○	仕上表 1		A-41		建具詳細図 2（AD4）		S-11	○	ウルトラコラム工法 特記仕様書		E-11		電灯配線図
	A-12	○	仕上表 2		A-42	○	エレベーター詳細図 1		S-12	○	地質調査資料		E-12		非常灯・誘導灯配線図
	A-13	○	平面図		A-43	○	エレベーター詳細図 2		S-13	○	伏図 1		E-13		換気配線図
	A-14		屋根伏図		A-44	○	エレベーター詳細図 3		S-14	○	伏図 2		E-14		コンセント配線図
	A-15	○	立面図		A-45	○	エレベーター詳細図 4		S-15	○	軸組図 1		E-15		弱電配線図（1）
	A-16	○	断面図		A-46		部分詳細図 1		S-16	○	軸組図 2		E-16		弱電配線図（2）
	A-17	○	矩計図 1		A-47		部分詳細図 2		S-17	○	R C 部材リスト		E-17		自動火災報知器配線図
	A-18	○	矩計図 2		A-48		家具・備品図		S-18	○	鉄骨部材リスト	機 械	M-01		機械設備 衛生配置図
	A-19	○	矩計図 3		A-49		外構図		S-19	○	ジョイントリスト		M-02		機械設備 衛生器具表
	A-20	○	矩計図 4		A-50		外構リスト 1		S-20	○	鉄骨架構詳細図		M-03		機械設備 衛生平面図
	A-21	○	1 階平面詳細図		A-51		外構リスト 2						M-04		機械設備 空調機器表 1
	A-22	○	2 階平面詳細図		A-52		現況図						M-05		機械設備 空調機器表 2
	A-23		展開図 1		A-53		仮設計画図						M-06		機械設備 換気機器表
	A-24		展開図 2										M-07		機械設備 空調配管平面図
	A-25		展開図 3										M-08		機械設備 換気ダクト平面図
	A-26		展開図 4												
	A-27		展開図 5												
	A-28		展開図 6												
	A-29		展開図 7												
	A-30		展開図 8												

仕様書

I 工事概要

1. 工事名称

くろべ工房石田 新築工事

2. 工事場所

地名	黒部市 石田地区内	敷地面積	2,363.69 m2
都市計画区域	○内（・市街化区域 ・市街化調整区域 ○その他） ・外		
用途地域	第一種住居地域	防火地域	指定なし
構造	鉄骨	造 階数	地上 2 階建
建築面積	519.53 m2	延べ面積	992.80 m2
屋根仕上	SGL銅板長尺折板二重葺き		
外壁仕上	SGL銅板横貼り 下地t12.5石膏ボード		
建築物の用途（建築基準法）	障害福祉サービス事業（生活介護の用に供する施設）宿泊なし		
耐火建築物等の別	・耐火建築物 ○準耐火建築物（・イ ・ロ-1 ○ロ-2） ・その他		
最高高さ	設計GL +8.580m	最高軒高さ	設計GL +8.000m
基礎形式	直接基礎	地盤の設計長期許容支持力度	KN/㎡
垂直積雪量	1.5 m		
耐震安全性の分類	構造体 ・Ⅰ類 ・Ⅱ類 ○Ⅲ類 （重要度係数 ・1.5 ・1.25 ○1.0）		
（官庁施設の取扱い例・河津設計事務所）			
	建築非構造部材 ・A類（出入口除く） ○B類		

4. 工事範囲

くろべ工房石田 新築工事
・建築主体工事
・電気設備工事
・機械設備工事
・外構工事

II 建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「仕様」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「改修仕様」という。）による。

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名等を示す。

①-1一般共通事項1

① 工事実績情報の登録

② 下請関係の適正化

③ 個人情報の取扱い

④ 環境への配慮

⑤ 材料の品質等

⑥ 地場産品の優先使用等

※適用する（「工事カルテ受領書」の写しを提出）
本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項」を遵守すること。
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-48個人情報取扱特記事項による。
(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂版、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上げ塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
(2) 商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承認を受ける。
(3) 標注に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
(4) 本工事に使用する材料のうち、⑤に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されてことを示す書面を提出して監督員の承認を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③ 安定的な供給が可能であること。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
無収縮グラウト材、乾式保溫材、既製鋼合モルタル、既製鋼目地材、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、エポキシ樹脂、ポリマーセメントモルタル
※ 地場産品の優先使用
受注者は、工事に使用する資材等について、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には県内地場産品（建設資材又は製品等で、県内で最終製造工程が施されたもの又は県内に本社本店を置く取扱業者から調達したものをいう。）を優先使用するものとする。
※ 県内企業の優先選定等
受注者は、工事に係る下請契約又は買材等納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は富山県内に本社・本店を置くものの中から選定するよう努めなければならない。
※ 不採用圖書の提出
受注者は、工事の施工に関する下請契約において富山県内に本社・本店を置くものの中から選定しない場合又は工事に使用する資材等について県内地場産品を使用しない場合は、あらかじめ、「下請契約における県内企業及び県内地場産品の不採用圖書」を監督員に提出しなければならない。

⑦ 発生材の処理等

※発生材は構外搬出処分とし、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理するものとす。
・現場説明書による
※運搬、処分委託契約書の写しの提出
※マニフェスト管理一覧表の提出
・マニフェスト（A票、B票、D票、E票）の写しの提出
・引渡しを要するもの（ ）
・再利用を図るもの（ ）
・特別管理産業廃棄物の種類（ ）
・同上処理方法（ ）
・分別を図るもの（ ）
・再資源化を図るもの（ ）
・再資源利用計画書等作成及び提出
・建設リサイクル法対象工事
・特定建設資材廃棄物の種類：
・再資源化施設の場合：
※適用する
・設ける（規模： m2程度）

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）
構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）
構内設置 ・できる ○できない
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-34環境対策に記載の排出ガス対策型建設機械及び低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。
次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されたと認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱う。
(1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
(2) 工事の全部の施工を一時中止している期間
(3) 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等がおこなわれていない期間
労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、月当たり半日以上以上の頻度で実施するものとする。
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-30 工事中の安全確保
公共工事労務費調査等の対象工事となった場合は、監督職員の指示により必要な協力をしなければならない。（富山県土木工事共通仕様書 1-1-1-13）
受注者は、工事施工において、施工条件等への対応や自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成時までに「富山県県民満足度調査結果報告書第4期7項目に定める様式により提出することができる。
受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。また、下請業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には速やかにその旨を報告するよう指導し、下請業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。
1 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札をした者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めることによる。
(1) 建築業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合
専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあつては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあつては主任技術者になり得る資格を有する者を1人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と3ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。
(2) 建築業法の規定による技術者の専任配置が義務づけられていない工事の場合
同法の規定により配置が義務付けられている技術者を、専任にて配置するものとする。
2 1の(1)により別に配置される技術者は、監理技術者等を補助し、監理技術者等と同様の職務を行うものとする。
本工事の請負代金額については、富山県が先行発注した下記の工事（以下、「先行工事」という。）の受注者がその工事の工事完成日までに本工事についても受注した場合には、全工事の設計額の合計額より定まる率によって算定した諸経費等から、先行工事にかかる諸経費等を控除した額をもつて速やかに再計算し、変更するものとする。
工事番号： 工事名： 工事
1 受注者は、実際の施工に際しては、事前に提出し適正とされた技術資料（技術提案書又は簡易な施工計画）の内容を履行すること。
2 受注者は、事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した配置予定技術者を配置しなければならない。
3 なお、上記1、2を履行できない場合及び受注者が事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した内容に虚偽の報告があつた場合においては、富山県公共工事総合評価方式施行要領に基づき工事成績の減点（標準型においては、工事成績の減点及び違約金の徴収）をすることがある。
※ 着工時製本
・原図版 部 ○縮小版 A3 版 6 部
※ 完成図製本（黒表紙）
・原図版 部 ○縮小版 A3 版 3 部
※ 完成図CADデータ ○C/D-R 2部
○ 施工程 ○保全に関する資料 ※完成図及びCADデータは工事に準じ訂正すること。

撮影時	規 格	撮影箇所数	部数	備考
着工前	○L版程度（3枚/頁）	適正数	1 部	デジタルカメラは130万～300万画素
施工中	○サムネール版			
完成時	※L版程度（3枚/頁）	適正数	1 部	

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
※電子納品対象工事
以下の示す書類を電子納品する。
※工事写真 ・施工計画書 ○完成図(CADデータ) ・参考図(ラスタースデータ)

⑧ 竣工写真

撮影時	規 格	撮影箇所数	部数	備考
竣工写真	・キャビネ版 外部 6カット ・キャビネ版 内部 25カット ・パネル 600×450 カット ○上記画像データ 全かた DVDにて			

⑦ 発生材の処理等

※発生材は構外搬出処分とし、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理するものとす。
・現場説明書による
※運搬、処分委託契約書の写しの提出
※マニフェスト管理一覧表の提出
・マニフェスト（A票、B票、D票、E票）の写しの提出
・引渡しを要するもの（ ）
・再利用を図るもの（ ）
・特別管理産業廃棄物の種類（ ）
・同上処理方法（ ）
・分別を図るもの（ ）
・再資源化を図るもの（ ）
・再資源利用計画書等作成及び提出
・建設リサイクル法対象工事
・特定建設資材廃棄物の種類：
・再資源化施設の場合：
※適用する
・設ける（規模： m2程度）

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）
構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）
構内設置 ・できる ○できない
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-34環境対策に記載の排出ガス対策型建設機械及び低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。
次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されたと認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱う。
(1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
(2) 工事の全部の施工を一時中止している期間
(3) 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等がおこなわれていない期間
労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、月当たり半日以上以上の頻度で実施するものとする。
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-30 工事中の安全確保
公共工事労務費調査等の対象工事となった場合は、監督職員の指示により必要な協力をしなければならない。（富山県土木工事共通仕様書 1-1-1-13）
受注者は、工事施工において、施工条件等への対応や自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成時までに「富山県県民満足度調査結果報告書第4期7項目に定める様式により提出することができる。
受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。また、下請業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には速やかにその旨を報告するよう指導し、下請業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。
1 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札をした者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めることによる。
(1) 建築業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合
専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあつては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあつては主任技術者になり得る資格を有する者を1人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と3ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。
(2) 建築業法の規定による技術者の専任配置が義務づけられていない工事の場合
同法の規定により配置が義務付けられている技術者を、専任にて配置するものとする。
2 1の(1)により別に配置される技術者は、監理技術者等を補助し、監理技術者等と同様の職務を行うものとする。
本工事の請負代金額については、富山県が先行発注した下記の工事（以下、「先行工事」という。）の受注者がその工事の工事完成日までに本工事についても受注した場合には、全工事の設計額の合計額より定まる率によって算定した諸経費等から、先行工事にかかる諸経費等を控除した額をもつて速やかに再計算し、変更するものとする。
工事番号： 工事名： 工事
1 受注者は、実際の施工に際しては、事前に提出し適正とされた技術資料（技術提案書又は簡易な施工計画）の内容を履行すること。
2 受注者は、事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した配置予定技術者を配置しなければならない。
3 なお、上記1、2を履行できない場合及び受注者が事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した内容に虚偽の報告があつた場合においては、富山県公共工事総合評価方式施行要領に基づき工事成績の減点（標準型においては、工事成績の減点及び違約金の徴収）をすることがある。
※ 着工時製本
・原図版 部 ○縮小版 A3 版 6 部
※ 完成図製本（黒表紙）
・原図版 部 ○縮小版 A3 版 3 部
※ 完成図CADデータ ○C/D-R 2部
○ 施工程 ○保全に関する資料 ※完成図及びCADデータは工事に準じ訂正すること。

撮影時	規 格	撮影箇所数	部数	備考
着工前	○L版程度（3枚/頁）	適正数	1 部	デジタルカメラは130万～300万画素
施工中	○サムネール版			
完成時	※L版程度（3枚/頁）	適正数	1 部	

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
※電子納品対象工事
以下の示す書類を電子納品する。
※工事写真 ・施工計画書 ○完成図(CADデータ) ・参考図(ラスタースデータ)

⑧ 竣工写真

撮影時	規 格	撮影箇所数	部数	備考
竣工写真	・キャビネ版 外部 6カット ・キャビネ版 内部 25カット ・パネル 600×450 カット ○上記画像データ 全かた DVDにて			

⑦ 発生材の処理等

※発生材は構外搬出処分とし、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理するものとす。
・現場説明書による
※運搬、処分委託契約書の写しの提出
※マニフェスト管理一覧表の提出
・マニフェスト（A票、B票、D票、E票）の写しの提出
・引渡しを要するもの（ ）
・再利用を図るもの（ ）
・特別管理産業廃棄物の種類（ ）
・同上処理方法（ ）
・分別を図るもの（ ）
・再資源化を図るもの（ ）
・再資源利用計画書等作成及び提出
・建設リサイクル法対象工事
・特定建設資材廃棄物の種類：
・再資源化施設の場合：
※適用する
・設ける（規模： m2程度）

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）
構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）
構内設置 ・できる ○できない
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-34環境対策に記載の排出ガス対策型建設機械及び低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。
次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されたと認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱う。
(1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
(2) 工事の全部の施工を一時中止している期間
(3) 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等がおこなわれていない期間
労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、月当たり半日以上以上の頻度で実施するものとする。
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-30 工事中の安全確保
公共工事労務費調査等の対象工事となった場合は、監督職員の指示により必要な協力をしなければならない。（富山県土木工事共通仕様書 1-1-1-13）
受注者は、工事施工において、施工条件等への対応や自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成時までに「富山県県民満足度調査結果報告書第4期7項目に定める様式により提出することができる。
受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。また、下請業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には速やかにその旨を報告するよう指導し、下請業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。
1 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札をした者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めることによる。
(1) 建築業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合
専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあつては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあつては主任技術者になり得る資格を有する者を1人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と3ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。
(2) 建築業法の規定による技術者の専任配置が義務づけられていない工事の場合
同法の規定により配置が義務付けられている技術者を、専任にて配置するものとする。
2 1の(1)により別に配置される技術者は、監理技術者等を補助し、監理技術者等と同様の職務を行うものとする。
本工事の請負代金額については、富山県が先行発注した下記の工事（以下、「先行工事」という。）の受注者がその工事の工事完成日までに本工事についても受注した場合には、全工事の設計額の合計額より定まる率によって算定した諸経費等から、先行工事にかかる諸経費等を控除した額をもつて速やかに再計算し、変更するものとする。
工事番号： 工事名： 工事
1 受注者は、実際の施工に際しては、事前に提出し適正とされた技術資料（技術提案書又は簡易な施工計画）の内容を履行すること。
2 受注者は、事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した配置予定技術者を配置しなければならない。
3 なお、上記1、2を履行できない場合及び受注者が事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した内容に虚偽の報告があつた場合においては、富山県公共工事総合評価方式施行要領に基づき工事成績の減点（標準型においては、工事成績の減点及び違約金の徴収）をすることがある。
※ 着工時製本
・原図版 部 ○縮小版 A3 版 6 部
※ 完成図製本（黒表紙）
・原図版 部 ○縮小版 A3 版 3 部
※ 完成図CADデータ ○C/D-R 2部
○ 施工程 ○保全に関する資料 ※完成図及びCADデータは工事に準じ訂正すること。

撮影時	規 格	撮影箇所数	部数	備考
着工前	○L版程度（3枚/頁）	適正数	1 部	デジタルカメラは130万～300万画素
施工中	○サムネール版			
完成時	※L版程度（3枚/頁）	適正数	1 部	

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
※電子納品対象工事
以下の示す書類を電子納品する。
※工事写真 ・施工計画書 ○完成図(CADデータ) ・参考図(ラスタースデータ)

⑧ 竣工写真

撮影時	規 格	撮影箇所数	部数	備考
竣工写真	・キャビネ版 外部 6カット ・キャビネ版 内部 25カット ・パネル 600×450 カット ○上記画像データ 全かた DVDにて			

⑦ 発生材の処理等

※発生材は構外搬出処分とし、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理するものとす。
・現場説明書による
※運搬、処分委託契約書の写しの提出
※マニフェスト管理一覧表の提出
・マニフェスト（A票、B票、D票、E票）の写しの提出
・引渡しを要するもの（ ）
・再利用を図るもの（ ）
・特別管理産業廃棄物の種類（ ）
・同上処理方法（ ）
・分別を図るもの（ ）
・再資源化を図るもの（ ）
・再資源利用計画書等作成及び提出
・建設リサイクル法対象工事
・特定建設資材廃棄物の種類：
・再資源化施設の場合：
※適用する
・設ける（規模： m2程度）

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）
構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）
構内設置 ・できる ○できない
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-34環境対策に記載の排出ガス対策型建設機械及び低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。
次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されたと認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱う。
(1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
(2) 工事の全部の施工を一時中止している期間
(3) 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等がおこなわれていない期間
労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、月当たり半日以上以上の頻度で実施するものとする。
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-30 工事中の安全確保
公共工事労務費調査等の対象工事となった場合は、監督職員の指示により必要な協力をしなければならない。（富山県土木工事共通仕様書 1-1-1-13）
受注者は、工事施工において、施工条件等への対応や自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成時までに「富山県県民満足度調査結果報告書第4期7項目に定める様式により提出することができる。
受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。また、下請業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には速やかにその旨を報告するよう指導し、下請業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。
1 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札をした者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めることによる。
(1) 建築業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合
専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあつては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあつては主任技術者になり得る資格を有する者を1人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と3ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。
(2) 建築業法の規定による技術者の専任配置が義務づけられていない工事の場合
同法の規定により配置が義務付けられている技術者を、専任にて配置するものとする。
2 1の(1)により別に配置される技術者は、監理技術者等を補助し、監理技術者等と同様の職務を行うものとする。
本工事の請負代金額については、富山県が先行発注した下記の工事（以下、「先行工事」という。）の受注者がその工事の工事完成日までに本工事についても受注した場合には、全工事の設計額の合計額より定まる率によって算定した諸経費等から、先行工事にかかる諸経費等を控除した額をもつて速やかに再計算し、変更するものとする。
工事番号： 工事名： 工事
1 受注者は、実際の施工に際しては、事前に提出し適正とされた技術資料（技術提案書又は簡易な施工計画）の内容を履行すること。
2 受注者は、事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した配置予定技術者を配置しなければならない。
3 なお、上記1、2を履行できない場合及び受注者が事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した内容に虚偽の報告があつた場合においては、富山県公共工事総合評価方式施行要領に基づき工事成績の減点（標準型においては、工事成績の減点及び違約金の徴収）をすることがある。
※ 着工時製本
・原図版 部 ○縮小版 A3 版 6 部
※ 完成図製本（黒表紙）
・原図版 部 ○縮小版 A3 版 3 部
※ 完成図CADデータ ○C/D-R 2部
○ 施工程 ○保全に関する資料 ※完成図及びCADデータは工事に準じ訂正すること。

撮影時	規 格	撮影箇所数	部数	備考
着工前	○L版程度（3枚/頁）	適正数	1 部	デジタルカメラは130万～300万画素
施工中	○サムネール版			
完成時	※L版程度（3枚/頁）	適正数	1 部	

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
※電子納品対象工事
以下の示す書類を電子納品する。
※工事写真 ・施工計画書 ○完成図(CADデータ) ・参考図(ラスタースデータ)

⑧ 竣工写真

撮影時	規 格	撮影箇所数	部数	備考
竣工写真	・キャビネ版 外部 6カット ・キャビネ版 内部 25カット ・パネル 600×450 カット ○上記画像データ 全かた DVDにて			

⑦ 発生材の処理等

※発生材は構外搬出処分とし、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理するものとす。
・現場説明書による
※運搬、処分委託契約書の写しの提出
※マニフェスト管理一覧表の提出
・マニフェスト（A票、B票、D票、E票）の写しの提出
・引渡しを要するもの（ ）
・再利用を図るもの（ ）
・特別管理産業廃棄物の種類（ ）
・同上処理方法（ ）
・分別を図るもの（ ）
・再資源化を図るもの（ ）
・再資源利用計画書等作成及び提出
・建設リサイクル法対象工事
・特定建設資材廃棄物の種類：
・再資源化施設の場合：
※適用する
・設ける（規模： m2程度）

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）
構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）
構内設置 ・できる ○できない
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-34環境対策に記載の排出ガス対策型建設機械及び低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。
次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されたと認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱う。
(1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
(2) 工事の全部の施工を一時中止している期間
(3) 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等がおこなわれていない期間
労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、月当たり半日以上以上の頻度で実施するものとする。
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-30 工事中の安全確保
公共工事労務費調査等の対象工事となった場合は、監督職員の指示により必要な協力をしなければならない。（富山県土木工事共通仕様書 1-1-1-13）
受注者は、工事施工において、施工条件等への対応や自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成時までに「富山県県民満足度調査結果報告書第4期7項目に定める様式により提出することができる。
受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。また、下請業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には速やかにその旨を報告するよう指導し、下請業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。
1 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札をした者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めることによる。
(1) 建築業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合
専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあつては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあつては主任技術者になり得る資格を有する者を1人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と3ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。
(2) 建築業法の規定による技術者の専任配置が義務づけられていない工事の場合
同法の規定により配置が義務付けられている技術者を、専任にて配置するものとする。
2 1の(1)により別に配置される技術者は、監理技術者等を補助し、監理技術者等と同様の職務を行うものとする。
本工事の請負代金額については、富山県が先行発注した下記の工事（以下、「先行工事」という。）の受注者がその工事の工事完成日までに本工事についても受注した場合には、全工事の設計額の合計額より定まる率によって算定した諸経費等から、先行工事にかかる諸経費等を控除した額をもつて速やかに再計算し、変更するものとする。
工事番号： 工事名： 工事
1 受注者は、実際の施工に際しては、事前に提出し適正とされた技術資料（技術提案書又は簡易な施工計画）の内容を履行すること。
2 受注者は、事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した配置予定技術者を配置しなければならない。
3 なお、上記1、2を履行できない場合及び受注者が事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した内容に虚偽の報告があつた場合においては、富山県公共工事総合評価方式施行要領に基づき工事成績の減点（標準型においては、工事成績の減点及び違約金の徴収）をすることがある。
※ 着工時製本
・原図版 部 ○縮小版 A3 版 6 部
※ 完成図製本（黒表紙）
・原図版 部 ○縮小版 A3 版 3 部
※ 完成図CADデータ ○C/D-R 2部
○ 施工程 ○保全に関する資料 ※完成図及びCADデータは工事に準じ訂正すること。

撮影時	規 格	撮影箇所数	部数	備考
着工前	○L版程度（3枚/頁）	適正数	1 部	デジタルカメラは130万～300万画素
施工中	○サムネール版			
完成時	※L版程度（3枚/頁）	適正数	1 部	

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
※電子納品対象工事
以下の示す書類を電子納品する。
※工事写真 ・施工計画書 ○完成図(CADデータ) ・参考図(ラスタースデータ)

⑧ 竣工写真

撮影時	規 格	撮影箇所数	部数	備考
竣工写真	・キャビネ版 外部 6カット ・キャビネ版 内部 25カット ・パネル 600×450 カット ○上記画像データ 全かた DVDにて			

⑦ 発生材の処理等

※発生材は構外搬出処分とし、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理するものとす。
・現場説明書による
※運搬、処分委託契約書の写しの提出
※マニフェスト管理一覧表の提出
・マニフェスト（A票、B票、D票、E票）の写しの提出
・引渡しを要するもの（ ）
・再利用を図るもの（ ）
・特別管理産業廃棄物の種類（ ）
・同上処理方法（ ）
・分別を図るもの（ ）
・再資源化を図るもの（ ）
・再資源利用計画書等作成及び提出
・建設リサイクル法対象工事
・特定建設資材廃棄物の種類：
・再資源化施設の場合：
※適用する
・設ける（規模： m2程度）

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）
構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）
構内設置 ・できる ○できない
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-34環境対策に記載の排出ガス対策型建設機械及び低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。
次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されたと認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱う。
(1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
(2) 工事の全部の施工を一時中止している期間
(3) 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等がおこなわれていない期間
労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、月当たり半日以上以上の頻度で実施するものとする。
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-30 工事中の安全確保
公共工事労務費調査等の対象工事となった場合は、監督職員の指示により必要な協力をしなければならない。（富山県土木工事共通仕様書 1-1-1-13）
受注者は、工事施工において、施工条件等への対応や自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成時までに「富山県県民満足度調査結果報告書第4期7項目に定める様式により提出することができる。
受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。また、下請業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には速やかにその旨を報告するよう指導し、下請業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。
1 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札をした者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めることによる。
(1) 建築業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合
専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあつては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあつては主任技術者になり得る資格を有する者を1人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と3ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。
(2) 建築業法の規定による技術者の専任配置が義務づけられていない工事の場合
同法の規定により配置が義務付けられている技術者を、専任にて配置するものとする。
2 1の(1)により別に配置される技術者は、監理技術者等を補助し、監理技術者等と同様の職務を行うものとする。
本工事の請負代金額については、富山県が先行発注した下記の工事（以下、「先行工事」という。）の受注者がその工事の工事完成日までに本工事についても受注した場合には、全工事の設計額の合計額より定まる率によって算定した諸経費等から、先行工事にかかる諸経費等を控除した額をもつて速やかに再計算し、変更するものとする。
工事番号： 工事名： 工事
1 受注者は、実際の施工に際しては、事前に提出し適正とされた技術資料（技術提案書又は簡易な施工計画）の内容を履行すること。
2 受注者は、事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した配置予定技術者を配置しなければならない。
3 なお、上記1、2を履行できない場合及び受注者が事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した内容に虚偽の報告があつた場合においては、富山県公共工事総合評価方式施行要領に基づき工事成績の減点（標準型においては、工事成績の減点及び違約金の徴収）をすることがある。
※ 着工時製本
・原図版 部 ○縮小版 A3 版 6 部
※ 完成図製本（黒表紙）
・原図版 部 ○縮小版 A3 版 3 部
※ 完成図CADデータ ○C/D-R 2部
○ 施工程 ○保全に関する資料 ※完成図及びCADデータは工事に準じ訂正すること。

撮影時	規 格	撮影箇所数	部数	備考
着工前	○L版程度（3枚/頁）	適正数	1 部	デジタルカメラは13

3
土
工
事

①
②

埋戻し、及び 盛土
建設発生土の処理

種別・A種 ※B種・C種・D種・建設汚泥から再生した処理土
・現場内で処理
・構内指示の場所に堆積
・構内指示の場所に敷き均し
○ 構外に搬出し、関係法令に従い適切に処理する。

なお、処理にあたっては「建設発生土情報交換システム」を活用する。
構外指定場所に搬出後 ※堆積・敷き均し
受入場所:
受入時間帯: 時 分～ 時 分
仮置き等:
搬出調査を監督職員に提出する

3 山留めの存置

存置範囲(※図示・)

4
地
業
工
事

①
2
3
4
5
6

支持地盤の確認
既製コンクリート杭地業
鋼杭地業
場所打ちコンクリート杭地業
砂利地業に使用する砂利
床下防湿層

杭の支持力、支持地盤の位置及び種類、及びこれらの確認のための試験の方法は、構造特記仕様書及び構造図による。

施工法・セメントミルク工法・特定埋込杭工法
杭の種類・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PhC杭)・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)(鋼管材料・SKK400・SKK490)

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) 杭の寸法、継手の箇所数と工法、杭先端部の形状、杭頭の処理等
2) 打込み工法における杭の設計支持力及び推定支持力の算定方法
3) 打込み工法におけるプレローリングの掘削深さ及び径
4) セメントミルク工法におけるアースオーガーの掘削深さ及び杭の掘入深さ
5) 杭の水平方向の位置ずれの精度

施工法・打込み工法・特定埋込杭工法
杭の種類・鋼管くい・H形鋼くい

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) 杭の寸法、継手の箇所数と工法、杭先端部の形状、杭頭の処理等
2) 打込み工法における杭の設計支持力及び推定支持力の算定方法
3) 打込み工法におけるプレローリングの掘削深さ及び径
4) 杭の水平方向の位置ずれの精度

掘削工法・アースドリル工法(安定液・使用する・使用しない)・リバース工法・オールケーシング工法(・掘動式・全周回転式(孔内水張・行う・行わない)・場所打ち鋼管コンクリート杭工法・底版杭工法(※安定液使用・))

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) 鉄筋の種類及び加工組立
2) コンクリートの種別、設計基準強度及び構造体強度補正值(S)の値
3) 支持地盤の位置及び種類
4) 杭の水平方向の位置ずれの精度
5) 孔壁測定の有無及び測定方法

※再生クラッシャーラン・切込砂利及び切込砕石

施工範囲 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)
防湿工法 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上・

5
鉄
筋
工
事

①
②
③
④
5
6

鉄筋の種類
溶接金網
鉄筋の継手
鉄筋の最小かぶり厚さ
機械式継手
各部配筋

種類の記号
種類の記号、網目の形状、寸法及び鉄線の径は、図示による。
呼び名19mm以上の径、梁の主筋 ※ガス圧接 ※重ね継手
最小かぶり厚さは目地から算定する。
○耐久性及不良な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。
施工箇所 標仕表5.3.6の値に加える寸法(mm)
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面 ※10

適用箇所、性能、種類、工法、品質の確認方法及び不良となった継手の修正方法等は図示による。
※構造特記仕様書及び構造図による。 ○各部配筋参考図による。

6
コン
ク
リ
ー
ト
工
事

①
2
3
4
5
6
7
8

コンクリートの種類
コンクリートの使用材料、施工条件、要求性能等による種類
コンクリートの設計基準強度
コンクリートの類別
気乾単位容積質量
打放し仕上げ
セメントの種類
骨材の種類

コンクリートの使用骨材による種類
※普通コンクリート・軽量コンクリート

コンクリートの使用材料、施工条件、要求性能等による種類

適用種別	適用箇所	特記事項
・重中コンクリート		適用期間()
・居中コンクリート		構造体強度補正值(S)の値 ※6N/mm2
・マスコンクリート		セメントの種類() 混和材料() スラップ()
・無筋コンクリート		スラップ()
・流動化コンクリート		

コンクリートの設計基準強度は、構造特記仕様書及び構造図による。

※I類・II類

※2.3t/m3程度・

種別・A種 ※B種・C種

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、水と熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。
・高炉セメントB種()
・フライアッシュセメントB種()

アルカリシリカ反応性による区分
・A
・B(※コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m3以下)
※監督職員との協議による。

7
混
和
材
料

⑧
9
10

混和材料
構造体強度補正值
型枠

混和剤及び混和材の種類は、構造特記仕様書及び構造図による。
構造体強度補正值(S) ※標仕表(6.3.2)による。
ただし、普通ポルトランドセメントを用いるコンクリートでは、以下の補正值適用期間を使用することができる。

打設日	7月19日～8月30日	3月15日～7月18日 8月31日～11月15日	11月16日～3月14日
補正值	6N/mm2	3N/mm2	6N/mm2

以下の事項は、図示による。
1) 外部に面するコンクリート打直し仕上の打増し厚さ
2) ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法
せき板の材料は、次による。
※合板(※12mm・mm)・床型枠用鋼製デッキプレート・メッシュ型枠
・断熱材兼用型枠(適用箇所及び品質等は標仕19章9節断熱・防露による)

8
コン
ク
リ
ー
ト
ブ
ロ
ッ
ク
・
A
L
C
パ
ネ
ル
・
押
出
成
形
セ
メ
ン
ト
板
工
事

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

補強コンクリートブロック造
コンクリートブロック構壁及び壁
ALCパネル
高力ボルト
縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
溶融亜鉛めっき高力ボルト
アンカーボルト
デッキプレート
工作図
鉄骨の仮組
溶接接合

○監督職員の承諾する製作工場
○建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び株式会社全国産構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「Mグレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

※適用する

鋼材の材質、形状及び寸法は、構造特記仕様書及び構造図による。

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) ボルトの区分及び径
2) すべり係数試験の実施、試験方法等

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ボルト径、ゲージ等

セツトの種類・1種(F81相当)
摩擦面の処理
※ プラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
摩擦面の確認方法
・図示・試験片によるすべり耐力試験

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) ボルトの材質・種類、ねじの種類・等級の規格、仕上りの程度、縁短距離、ボルト間隔、ゲージ等
2) 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法
3) 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) 工法の種別
2) デッキプレートの材質、形状及び寸法
3) 鉄骨部材への溶接方法
4) 耐火認定の有無

増築工事等を含め、既存建築物と取合う箇所がある場合は、現場実測の上作成を行う。

・行わない・行う
仮組を行う範囲及び確認方法等は、図示による。

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) 開先形状
2) スカラップの形状
3) エンドタタの切断の有無及び適用箇所

入熱、バス間温度の溶接条件
適用箇所・図示
○柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱(KJ/cm)	バス間温度(℃)
400 N 級鋼	JIS Z 3211	40 以下	350 以下
	YGW-11, 15		
	YGW-18, 19		
	JIS Z 3214		
490 N 級鋼	YGA-50W, 50P	40 以下	350 以下
	JIS Z 3211		
	YGW-11, 15		
	YGW-18, 19		
520 N 級鋼	JIS Z 3214	40 以下	350 以下
	YGA-50W, 50P		
	YGW-18, 19		
	YGA-50W, 50P		

ただし、
400N級鋼のSTKR・BCR及びBCPの作業条件は、YGW-11, 15で入熱30KJ/cm以下、バス間温度250℃以下、YGW-18, 19での作業条件は入熱40KJ/cm以下、バス間温度350℃以下とする。
490N級鋼のSTKR・BCPの作業条件は、YGW-18, 19で入熱30KJ/cm以下、バス間温度250℃以下とする。
上記の溶接条件以外による場合は、監督職員と協議する。

完全溶込み部の超音波探傷試験 ※行う・行わない
○工場溶接の場合
AOQL ※4.0%・2.5%
検査水準 ※第6水準・図示
○工事現場溶接の場合
AOQL ※4.0%・2.5%

塗料 屋外 ※A種(JISK5674 1種)・B種
屋内 ※A種(JISK5674 1種)・B種
工程 見掛かり(※A種・B種) 見隠れ(・A種 ※B種)

種別	適用箇所	所要性能
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール	
・耐火板張り	・湿式ロックウール ・繊維混入けい酸ガラス板	
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール	

9
柱
底
均
し
モ
ル
タ
ル

⑩
⑪
⑫

柱底均しモルタル
軽量鉄鋼構造
溶融亜鉛めっき

工法の種別 ※A種(※A厚50)・B種(※A厚30)
ボルトの接合方法は構造特記仕様書及び構造図による。

亜鉛めっきの種別	材 料	適用部位
A種(HD255)	最低板厚6.0mm以上の鉄鋼、鋼板	
B種(HD245)	最低板厚3.2mm以上、6.0mm未満の鉄鋼、鋼板	
C種(HD235)	最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の鉄鋼、鋼板 普通ボルト、ナット類、アンカーボルト類	

外観検査 ※行う・行わない
めっき付着量の検査 ※行う・行わない

※空洞ブロック16・空洞ブロック16-W
各部の配筋は、構造特記仕様書及び構造図による。

※標仕表8.3.1及び下表による。

適用箇所	ブロックの種類	厚さ(mm)
・	・	
・	・	
・	・	

※各部の配筋は、構造特記仕様書及び構造図による。

種 別	単位荷重(N/m2)	厚さ(mm)	構法の種別
・外壁パネル	※F	・100 ・120	・A種・B種
・間仕切パネル	※F	・80・100 ・	・C種・D種・E種
・屋根パネル		・100	※F種
・床パネル		・100・150	

建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
耐火性能・有り(・0・5時間・1時間・2時間)
外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm)
※20・図示による
伸縮目地への耐火目地材の充填・適用する・適用しない
※20・図示による

種 別	表面形状	厚さ(mm)	リウール充てん	取付工法・種別	備考
・外壁パネル	※F	・50・60	・有・無	・A種	
	・D	・50・60	・有・無	・B種	
	・T	・60	・有・無		
	※F			・B種	
・間仕切パネル	・D			・C種	
	・T				

建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
目地幅:パネル相互(・図示)、出隅及び入隅のパネル接合目地(※15mm・図示)

10
石
工
事

1
2
3

天然石張り
テラゾ張り
壁の石張り工法

石の種類・表面仕上げ
施工箇所 品質の種類 形状・寸法 厚さ(mm) 仕上りの種別

種石の種類 ※大理石
表面仕上げ ※本磨き
テラゾブロックの形状、仕上げ面及び寸法、並びにテラゾタイルの寸法は、図示による。
外壁石張り
工法
・外壁湿式工法(※流し流工法・)
・乾式工法(・スライド方式・ロッキング方式)

石表面処理・行う・行わない
裏打ち処理・行う・行わない
ドレインパイプ ※樹脂ネット製パイプ(クロスメッシュ巻き)・ステンレスSUS304

内壁石張り
工法
・内壁空積工法(※あと施工アンカー横筋流し工法・あと施工アンカー工法)
・乾式工法(・スライド方式・ロッキング方式)
石表面処理・行う・行わない
裏打ち処理・行う・行わない
床石張りの石表面処理・行う
階段張りの石表面処理・行う

11
タ
イ
ル
工
事

①
2
3
4

タイルの形状、寸法等
セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り
接着剤による陶磁器質タイル張り
陶磁器質タイル型枠先付け

形状寸法(mm) 再生材の適用 吸水性による区分Ⅰ類Ⅱ類Ⅲ類 うわぐすり 役物 色 耐摩耗性 備考
図示

役物:標準的な曲がりの役物は一体成形とする
タイルの見本焼き ※行わない・行う(※外壁タイル・)
タイルの試験張り ※行わない・行う(※外壁タイル・)

モルタル張りのコンクリート素地面の処理 ※MCR工法・目尻工法(高圧洗浄)
壁タイル張りの工法
外装タイル・密着張り・改良仕上げ張り・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル・マスク張り・モザイクタイル張り
・既製鋼合モルタル(モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材
打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング
ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング
伸縮調整目地 ※変成シリコーン系シーリング
その他の目地 ※変成シリコーン系シーリング
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理・MCR工法・目尻工法(高圧洗浄)

タイル型枠先付けの種類

種 別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板の種類
・タイルシート法	・小口タイル	※標仕6.8.3(b)(2)
・目地樹法	・二丁掛けタイル	・金属製タイル先付け用パネル
・接木法	大形タイル	・

12
木
工
事

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

表面仕上げ
製材
造作用集成材
造作用単板積層材
床張り用合板等
接着剤
防蟻・防蟻
長尺金属板葺
折板葺

表面仕上げの種類[適用箇所](・A種[] ※B種[※全て、]・C種[]・D種[])
・「製材の日本農林規格」による製材

	樹種	寸法	等級	形状	含水率
・下地用針葉樹製材			※2級		※A種・B種
・造作用針葉樹製材					※A種・B種
・広葉樹製材			※1等		※A種・B種

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率
						※A種・B種

・代用樹種を適用しない箇所()
造作用集成材、化粧ばり造作用集成材、化粧ばり構造用集成材

施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の等級	含水率
			※1等	※A種・B種

施工箇所	厚さ	寸法	表面の品質	防虫処理
			・化粧加工(・天然木・塗装)	・する・しない

表面の樹種名	接着の程度	防虫処理	難燃処理	防炎処理
	※1類・2類	・する・しない	・する・しない	・する・しない

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外・
・防蟻、防蟻処理が必要な樹種による製材及び集成材 適用部位()
・薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 適用部位() 保存処理性能区分(・K2・K3・K4)
・薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 適用部位()
・ボード原料接着材への薬剤混入による防蟻、防蟻処理 適用部位()

⑬ 屋根及び土瓦葺
⑭ 土瓦葺
⑮ 土瓦葺
⑯ 土瓦葺
⑰ 土瓦葺
⑱ 土瓦葺
⑲ 土瓦葺
⑳ 土瓦葺
㉑ 土瓦葺
㉒ 土瓦葺
㉓ 土瓦葺
㉔ 土瓦葺
㉕ 土瓦葺
㉖ 土瓦葺
㉗ 土瓦葺
㉘ 土瓦葺
㉙ 土瓦葺
㉚ 土瓦葺
㉛ 土瓦葺
㉜ 土瓦葺
㉝ 土瓦葺
㉞ 土瓦葺
㉟ 土瓦葺
㊱ 土瓦葺
㊲ 土瓦葺
㊳ 土瓦葺
㊴ 土瓦葺
㊵ 土瓦葺
㊶ 土瓦葺
㊷ 土瓦葺
㊸ 土瓦葺
㊹ 土瓦葺
㊺ 土瓦葺
㊻ 土瓦葺
㊼ 土瓦葺
㊽ 土瓦葺
㊾ 土瓦葺
㊿ 土瓦葺

⑮
左
官
工
事

①
あ
と
施
工
ア
ン
カ
ー

②
アルミニウム及び
アルミニウム合金の
表面処理

3
鉄鋼の亜鉛めっき

④
軽量鉄骨天井下地

5
金属成形板張り（天井）

⑥
軽量鉄骨壁下地

⑦
アルミニウム製笠木

⑧
手すり及びタラップ

⑮
左
官
工
事

②
床コンクリートの
直均し仕上げ

③
セルフレベリング材

4
仕上塗材仕上げ

5
ロックウール吹付け

引き抜き耐力試験 ※適用する ○適用しない

種 別	色合い	施工箇所
※B-1種	無着色	図示（笠木等）
○B-2種	・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー	
・		

表面処理方法	種 別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・A種	図示（鋼板等厚みによる）
	・B種	
	・C種	
	・D種	
電気亜鉛めっき	・E種	
	・F種	

屋外の場合の形式及び寸法 ※下表以外は、標仕14.4.3及び標仕表14.4.2による

施工箇所	下地材の間隔（mm）		野縁
	野縁受、吊りどめト、インサート	中央部	周辺部

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の ○1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
天井下地における耐震性・耐風圧を考慮した補強 ・行う（補強箇所 ※図示）
天井のふところ高が1.5m以上3.0m以下の場合の補強 ※標仕14.4.4.(h) ①) 及び②) による ・図示
天井のふところ高が3mを超える場合の補強 ※図示

形 状	製 法	板幅(mm)	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理	被覆等の種類
・Xバンド形状	・押出し ・ロール				・B-1種	※B
・パネル形	※プレス ・				・B-2種（・7ﾊﾞﾝﾄﾞ ・ﾌﾞﾛｽﾞ' ﾍﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾃﾝｶｰﾀﾞ	※B
					・C-1種	※AA6
					・C-2種（・7ﾊﾞﾝﾄﾞ ・ﾌﾞﾞﾛｽﾞ' ﾍﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾃﾝｶｰﾀﾞ	※AA6
					・D種	

取付用下地 ※標準仕様書による ・設ける（施工箇所は図示）
伸縮調整機手 ※設けない ・設ける（施工箇所は図示）

種類	・50型 ・65型 ・90型 ・100型
スタットの高さ	が3mを超える場合 ※図示

オープン形式アルミニウム製笠木の種類

種 類	呼称肉厚（mm）	表面処理及び色合い	固定間隔・方法
・100形	1.5以上	種別（B-2）種	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の○1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
・250形	1.6以上	被覆等の種類	
○300形	1.8以上	（※標仕表14.2.1による）	
・350形	2.0以上	着色：7ﾊﾞﾝﾄﾞ ・ﾌﾞﾞﾛｽﾞ' ﾍﾞﾗｯｸ系	
・図示	2.0以上		

隅角部及び突当り部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。

種 類	材料の種類	表面処理
手すり	※ステンレスSUS304	※H L程度 ・鏡面程度
	・鋼製	亜鉛めっき 外部（※C種） 内部（※E種）
タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨無し ・
	・鋼製	亜鉛めっき 内外部 ※C種

既製目地材の適用 ※図示

下表以外は標仕表6.2.5及び標仕15.3.2による

施工箇所	平たんさ（mm）	備 考
ﾌﾘｰﾌｫﾙﾄﾌﾞﾛｯｸ（ﾊﾞｰﾈﾙ構法）範囲	1mlにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
ﾌﾘｰﾌｫﾙﾄﾌﾞﾛｯｸ（溝構法）範囲	3mlにつき7以下	

・せっこう系 ・セメント系

種 類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i ・可とう形外装薄塗材 S i ・外装薄塗材 E ・可とう形外装薄塗材 E ・防水形外装薄塗材 E ・外装薄塗材 C ・内装薄塗材 L ・内装薄塗材 C ・内装薄塗材 S i ・内装薄塗材 E ・内装薄塗材 W	・砂壁状 ・ざざ壁状 ・ゆず肌状（・吹付け ・ローラー塗り） ・平坦状 ・凸凹状（・吹付け ・こて塗り） ・着色骨材砂壁状（・吹付け ・こて塗り） ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく ・吸放湿性 ・適用する ・適用しない 上塗材 ・適用する ・適用しない
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材 C ・外装厚塗材 S i ・外装厚塗材 E ・内装厚塗材 C ・内装厚塗材 L ・内装厚塗材 G ・内装厚塗材 S i ・内装厚塗材 E	・吹かし ・凸凹処理 ・平坦状 ・凸凹状 ・ひき起こし ・かき落とし ・吸放湿性 ・適用する ・適用しない 上塗材 ・適用する ・適用しない
・複層仕上塗材	・可とう形複層塗材 C E ・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 F E ・防水形複層塗材 C E ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材 F E ・ ・	・ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸模様 上塗材 耐候性 ・1種 ・2種 ※3種 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ポリウレタン系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック ・防水形の増塗材 ※行う
・軽量骨材仕上塗材	・吹付け軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	砂壁状 平たん状

防火材料の指定 ※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

厚さ mm

5 ロックウール吹付け

1 見本の製作等

② アルミニウム製建具

③ 網戸

4 合成樹脂製建具

⑤ 鋼製建具

⑥ 鋼製軽量建具

7 ステンレス製建具

8 木製建具

⑨ 建具用金物

⑩ 自動ドア開閉装置

11 重量シャッター

12 軽量シャッター

13 オーバーヘッドドア

⑭ ガラス

15 ガラスブロック積み

⑯ ガラス用フィルム

・建具見本の製作（建具番号： ）
・特殊な建具の仮組（建具番号： ）
※防火戸の指定及び防犯建物部品の適用は、建具表による。

外部に面する建具の性能値等
種別 ・A種 ○B種 ・C種
枠見込み（mm） ※建具表による （ ・ mm）
防音ドアセット、断熱ドアセット、耐震ドアセットの適用及び等級は、建具表による。
結露水の処理方法、水切り板、ぜん板等 ※図示

表面処理
施工箇所 種別 色合い等
外部建具 ※ B-1種 無着色
○ B-2種 ※標準色（ ・ 7ﾊﾞﾝﾄﾞ - ・ﾌﾞﾞﾛｽﾞ' ﾍﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶｰﾀﾞ）
・
内部建具 ※ C-1種 無着色
・ C-2種 ※標準色（ ・ 7ﾊﾞﾝﾄﾞ - ・ﾌﾞﾞﾛｽﾞ' ﾍﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶｰﾀﾞ）
・

防虫網
網の種類 ※合成樹脂製 ○ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製（SUS316）

外部に面する建具の性能値等
種別 ・A種 ・B種 ・C種
枠見込み（mm） ※建具表による （ ・ mm）
防音ドアセット、断熱ドアセット、耐震ドアセットの適用及び等級は、建具表による。
結露水の処理方法、水切り板、ぜん板等 ※図示
表面色 ※ 標準色 ・ 特注色（ ）

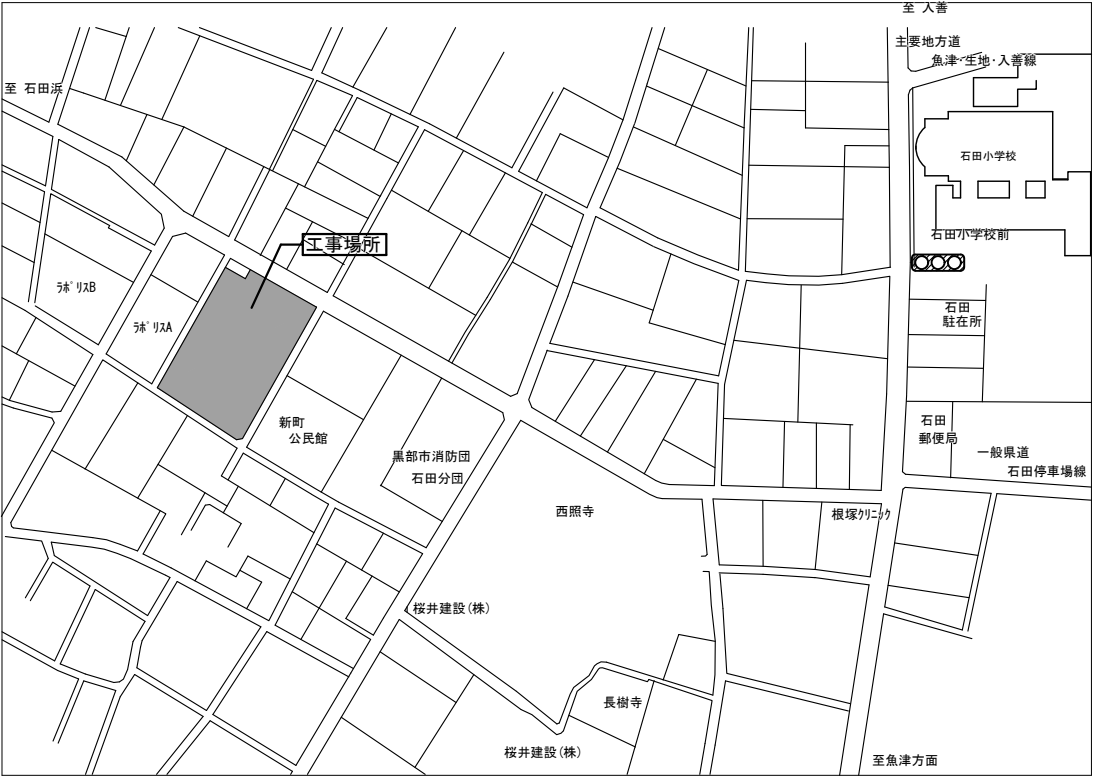
簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による
外部に面する建具の耐風圧性（・S-4 ・S-5 ・S-6）
鋼板製の厚さ（1枚の戸の有効開口幅950mm、又は有効高さ2,400mmを超える場合）
鋼板
材 料 メッキ付着量 厚さ
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板） ※Z12又はF12 ・
・JIS G 3317（溶融亜鉛-5%アルミ ニウム合金めっき鋼板） ※Y08 ・
※ 下表以外は標仕表16.4.2による
区 分 使用箇所 厚さ（mm）
窓 枠種 外部の下枠、水切り板 2.3
出入口 枠種 外部に面するスイングドアの建具 2.3
戸 中骨 2.3

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による
鋼板 ※ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被膜鋼板 ・ カラー鋼板
鋼板の厚さ ・ 標仕16.5.1による
百合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合金
簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による
外部に面する建具の耐風圧性（・S-4 ・S-5 ・S-6）
表面仕上げ ※ HL仕上げ ・ 鏡面仕上げ
曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ（補強あり）

フラッシュ戸の表面材の種類 ※天然木材化粧板 ・メラミン化粧合板
かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ）
ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度 ・鳥の子
縁仕上 ・塗装 ・生地縁（ ・素地 ・ウレタンクリア塗装 ）
枠の材料 ※ 木製 ・ 鋼製
靴ぞりの材料 ・ 木製 ・ ステンレス製

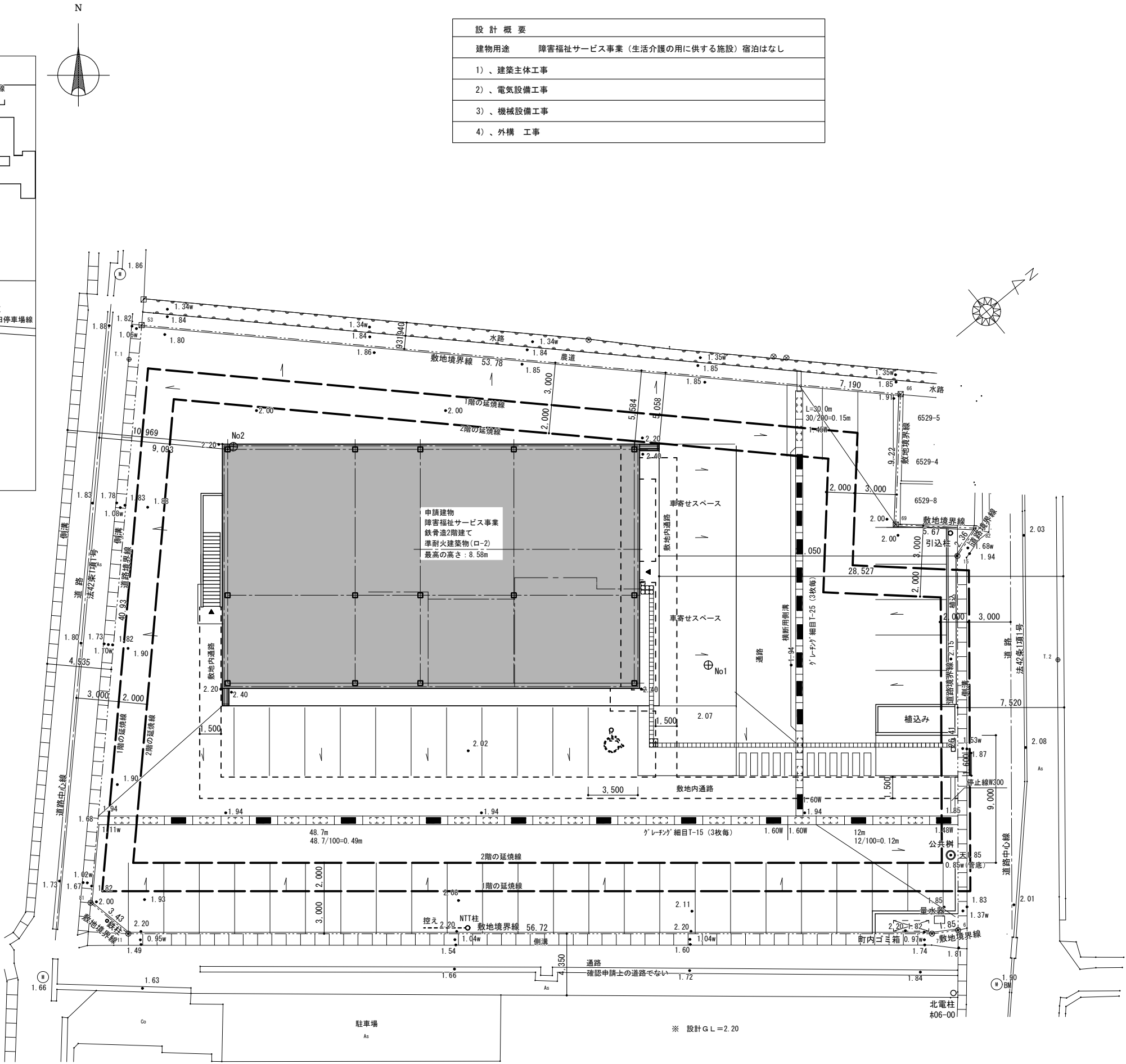
建具用金物は、下記以外については、建具表による。
マスターキー ※製作する ・製作しない
その他の鍵 ※各室3本1組 ・
鍵箱 ※有り ・無し （60 本用）

自動ドアの開閉機構
※スライディングドア ・スイングドア
自動ドアの開閉方式、質量、センサーの種類については、建具表による。
凍結防止措置 ※行わない ・行う（ ）



附 近 見 取 図

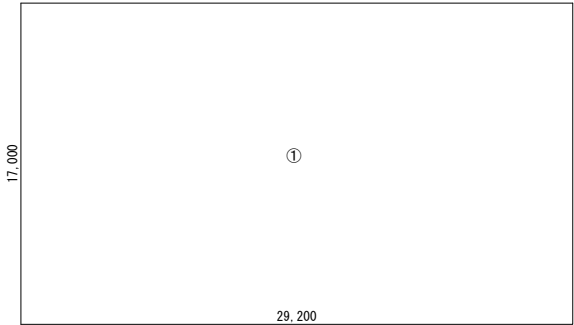
単位：m ²		
敷地面積	2,363.69	
容積率	42.01%	
建ぺい率	21.98%	
延床面積	2 階	496.40
	1 階	496.40
	計	992.80
建築面積	519.53	



配 置 図

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	42.95	2.71	116.3945	58.19725
2	70.40	34.60	2,435.8400	1,217.92000
3	55.05	8.99	494.8995	247.44975
4	70.40	21.31	1,500.2240	750.11200
5	5.67	2.02	11.4534	5.72670
6	28.96	3.97	114.9712	57.48560
7	28.98	1.85	53.6130	26.80650
合 計				2,363.69780
敷 地 面 積				2,363.69 m ²

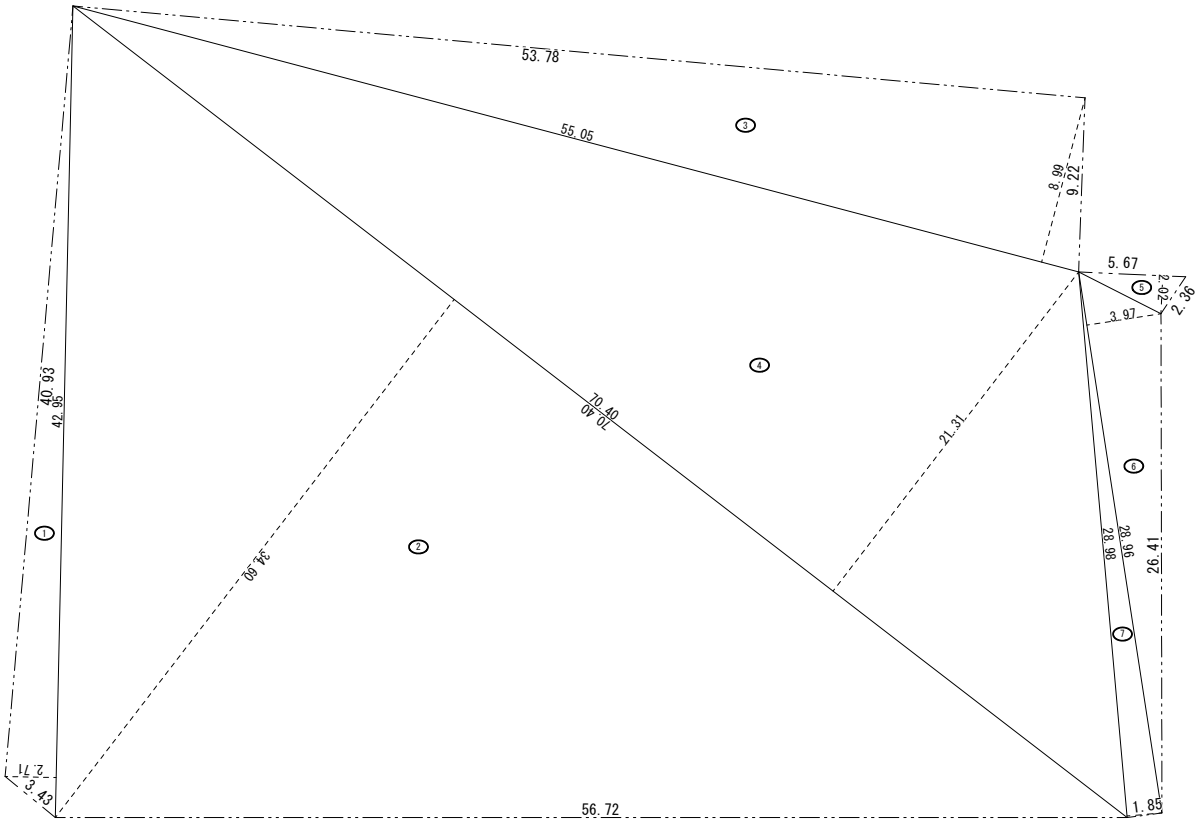
2 階 面 積 表			単位 (㎡)
	形 状	計 算 式	面 積
①	矩形	29.20×17.00	496.40
面 積 計 (㎡)			496.40



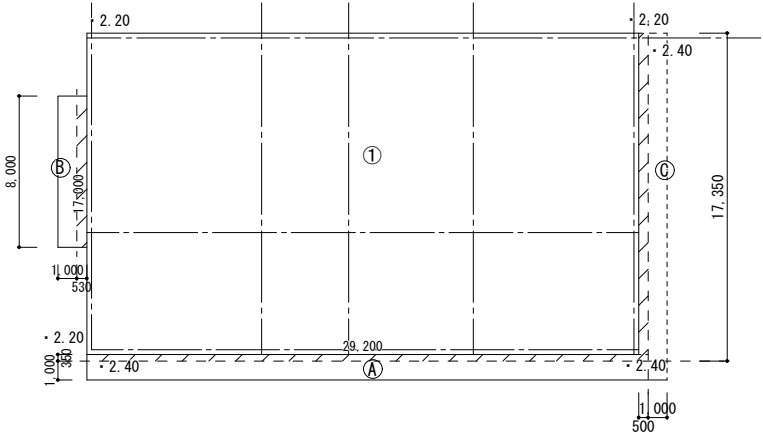
2階 面積求積図

1 階 面 積 表			単位 (㎡)
	形 状	計 算 式	面 積
①	矩形	29.20×17.00	496.40
面 積 計 (㎡)			496.40

建 築 面 積 表			単位 (㎡)
	形 状	計 算 式	面 積
①	矩形	29.20×17.00	496.40
A	矩形	29.20×0.35	10.22
B	矩形	0.53×8.00	4.24
C	矩形	0.50×17.35	8.675
面 積 計 (㎡)			519.53



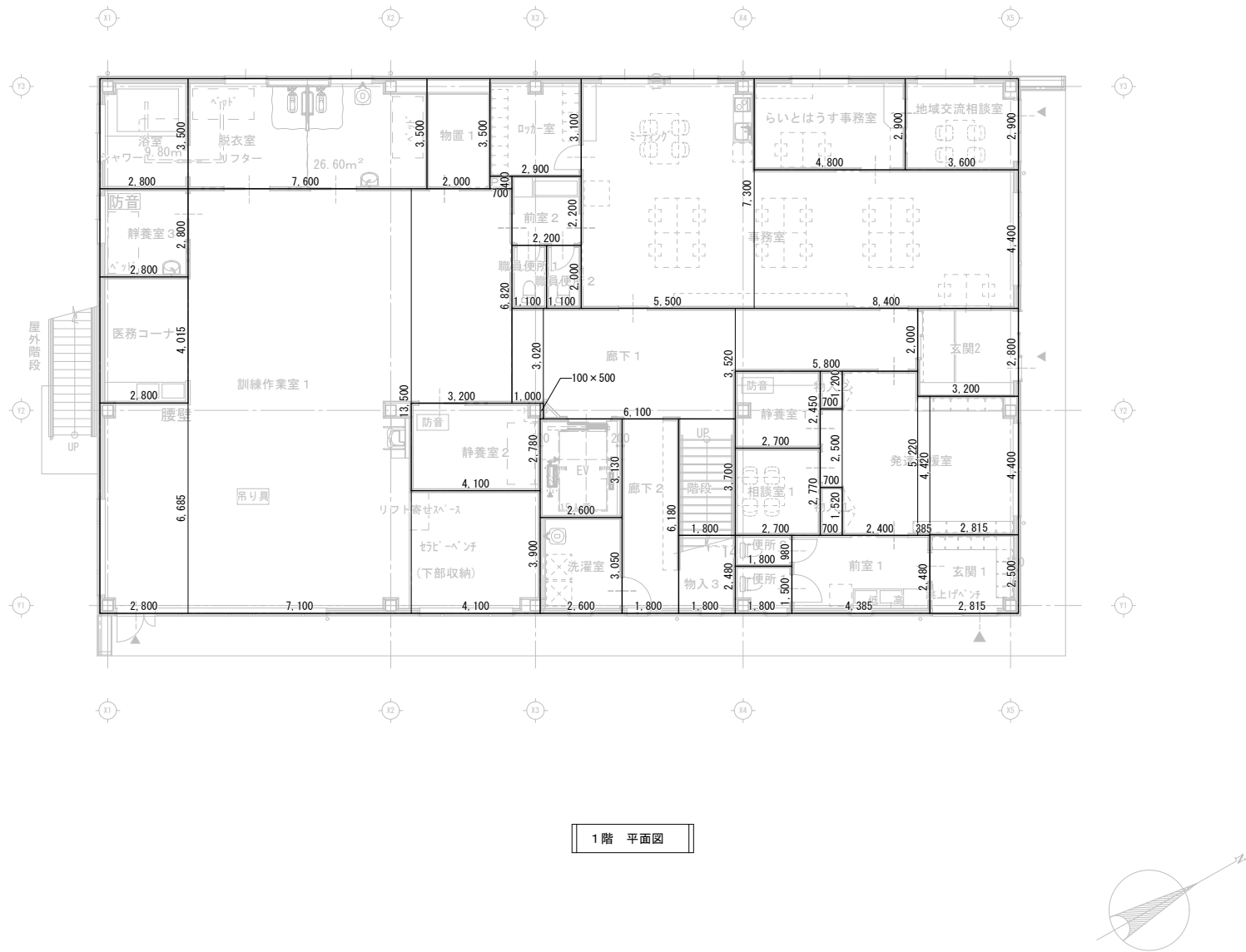
敷地面積求積図



1階 面積求積図

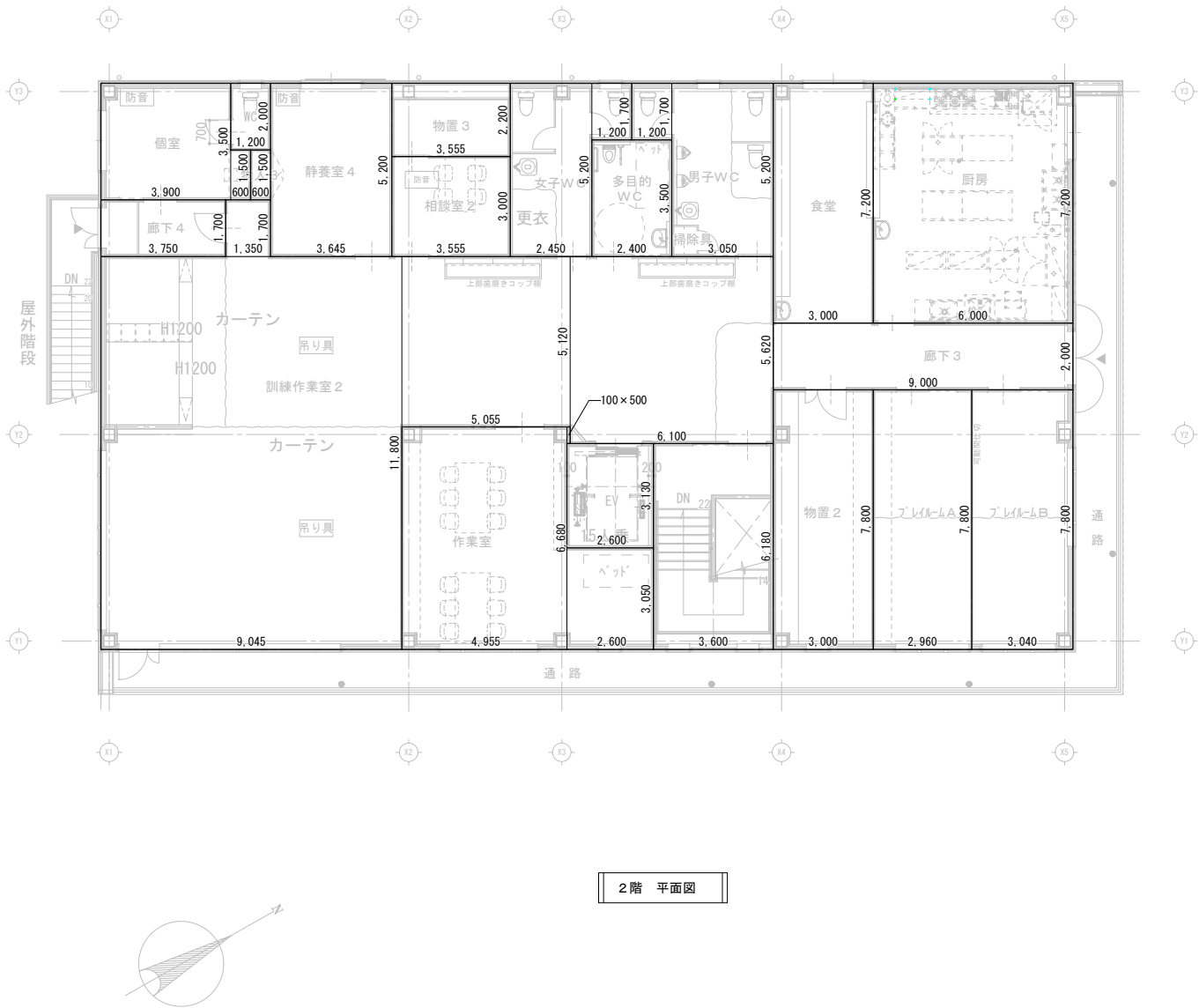
平均地盤面の算定		単位 〇
	計 算 式	面 積
1	29.20×2.40	70.08
2	29.20×2.20	64.24
3	17.00×2.40	40.80
4	17.00×2.20	37.40
計		212.52
建物周長 (29.2+17.0)×2		92.40
平均地盤面 212.52 / 92.40		2.30

室別面積表（1階）					単位:m2
室名	形状	計算式	小計	面積	空調面積
玄関2	矩形	3.200 × 2.800	8.960	8.96	
廊下1	矩形	5.800 × 2.000	11.600	36.09	36.09
	矩形	6.100 × 3.520	21.472		
	矩形	1.000 × 3.020	3.020		
廊下2	矩形	1.800 × 6.180	11.124	11.12	
玄関1	矩形	2.815 × 2.500	7.038	7.04	
前室1	矩形	4.385 × 2.480	10.874	10.87	10.87
便所1	矩形	1.800 × 1.500	2.700	2.70	
便所2	矩形	1.800 × 0.980	1.764	1.76	
発達支援室	矩形	2.400 × 5.220	12.528	28.37	28.37
	矩形	0.700 × 2.500	1.750		
	矩形	0.385 × 4.420	1.701		
	矩形	2.815 × 4.400	12.386		
相談室1	矩形	2.700 × 2.770	7.479	7.48	7.48
静養室1	矩形	2.700 × 2.450	6.615	6.62	6.62
物入1	矩形	0.700 × 1.520	1.064	1.06	
物入2	矩形	0.700 × 1.200	0.840	0.84	
事務室	矩形	5.500 × 7.300	40.150	77.11	77.11
	矩形	8.400 × 4.400	36.960		
ロッカー室	矩形	2.900 × 3.100	8.990	8.99	
地域相談交流室	矩形	3.600 × 2.900	10.440	10.44	10.44
らいとほうす事務室	矩形	4.800 × 2.900	13.920	13.92	13.92
E V	矩形	2.600 × 3.130	8.138	8.14	
階段	矩形	1.800 × 3.700	6.660	6.66	
洗濯室	矩形	2.600 × 3.050	7.930	7.93	
物入3	矩形	1.800 × 2.480	4.464	4.46	
訓練作業室1	矩形	3.200 × 6.820	21.824	152.38	152.38
	矩形	7.100 × 13.500	95.850		
	矩形	2.800 × 6.685	18.718		
(テレビベンチ)	矩形	4.100 × 3.900	15.990	11.45	11.45
	矩形	4.100 × 2.780	11.398		
静養室2	矩形	4.100 × 2.780	11.398	11.24	11.24
	矩形	0.100 × 0.500	0.050		
医務コーナー	矩形	2.800 × 4.015	11.242	11.24	11.24
静養室3	矩形	2.800 × 2.800	7.840	7.84	7.84
脱衣室	矩形	7.600 × 3.500	26.600	26.60	26.60
浴室	矩形	2.800 × 3.500	9.800	9.80	
物置1	矩形	2.000 × 3.500	7.000	7.00	
P S	矩形	0.700 × 0.400	0.280	0.28	
前室2	矩形	2.200 × 2.200	4.840	4.84	
職員便所1	矩形	1.100 × 2.000	2.200	2.20	
職員便所2	矩形	1.100 × 2.000	2.200	2.20	
	上記計		496.399		400.41



1階 平面図

室別面積表（2階）					単位:m2
室名	形状	計算式	小計	面積	空調面積
厨房	矩形	6.000 × 7.200	43.200	43.20	43.20
食堂	矩形	3.000 × 7.200	21.600	21.60	21.60
廊下3	矩形	9.000 × 2.000	18.000	18.00	18.00
ブレイルームA	矩形	2.960 × 7.800	23.088	23.09	23.09
ブレイルームB	矩形	3.040 × 7.800	23.712	23.71	23.71
物置2	矩形	3.000 × 7.800	23.400	23.40	
訓練作業室2	矩形	9.045 × 11.800	106.731	169.19	169.19
	矩形	5.055 × 5.120	25.881		
	矩形	6.100 × 5.620	34.282		
	矩形	1.350 × 1.700	2.295		
E V	矩形	2.600 × 3.130	8.138	8.14	
階段	矩形	3.600 × 6.180	22.248	22.25	
作業室	矩形	4.955 × 6.680	33.099	41.08	41.08
	矩形	2.600 × 3.050	7.930		
	矩形	0.100 × 0.500	0.050		
静養室4	矩形	3.645 × 5.200	18.954	18.95	18.95
物入3	矩形	0.600 × 1.500	0.900	0.90	
廊下4	矩形	3.750 × 1.700	6.375	6.38	
個室	矩形	3.900 × 3.500	13.650	14.55	14.55
	矩形	0.600 × 1.500	0.900		
個室専用WC	矩形	1.200 × 2.000	2.400	2.40	
相談室2	矩形	3.555 × 3.000	10.665	10.67	10.67
物置3	矩形	3.555 × 2.200	7.821	7.82	
多目的便所	矩形	2.400 × 3.500	8.400	8.40	
男子便所	矩形	3.050 × 5.200	15.86	17.90	
	矩形	1.200 × 1.700	2.040		
女子便所	矩形	2.450 × 5.200	12.740	14.78	
	矩形	1.200 × 1.700	2.040		
	上記計		496.399		384.04



2階 平面図

設 計 概 要	
工 事 名	くろべ工房石田 新築工事
施 主 名	社会福祉法人くろべ福祉会 理事長 永井 出
建 設 地	富山県黒部市 石田字林割 6525番1 他11筆
主 要 用 途	障害福祉サービス事業（生活介護の用に供する施設）宿泊はなし
工 事 種 別	新築工事
耐 火 仕 様	準耐火（ロ-2）
都市計画区域等	都市計画区域（区域区分非設定）
用 途 区 域	第一種住居地域 200/60%
防 火 指 定	地 域 指 定 な し
建築物の構造	鉄 骨 造
建築物の階数	2 階

建築 適用法令 法6条1項の分類：1号 （特殊建築物）
■ 防火上主要な間仕切り壁（準耐火構造の壁で小屋裏、天井裏に達せしめる）
2階厨房廻りを防火上主要な間仕切り壁とする。
1階の障害福祉サービスと放課後ディサービスと地域交流相談の3つの事業が、同じ建物に
存在しているが事務室は共通となっている為に防火上主要な間仕切りに該当しない。
■ 耐火建築物など 2階部分床面積 > 300㎡ 準耐火建築物
■ 居室及び通路等に内装制限（2階床面積≧300㎡）居室：難燃、通路：準不燃
■ 居室及び通路等に非常用照明（特殊建築物）
■ 敷地内通路1.5m以上（特殊建築物）
■ 排煙設備の必要な建築物（特殊建築物で500㎡<）
■ 居室の採光の計算（作業場等：1/7、談話室等：1/10、その他：1/20）
補正係数 A=d/h×α-β：住居系 α=6、β=1.4、D=7m
■ 居室の換気の計算 1/20
■ 廊下の幅：両側居室1.6m以上、その他1.2m以上
■ 階段の種類3項（直上階の床面積>200㎡）
巾：1200以上、蹴上：200以下、踏面：240以上
■ 屋外階段の幅の緩和 令120、121条による直通階段 巾≧900
■ 直通階段に至る歩行距離 ≦50m（主要構造部が不燃材料の場合）
■ 2以上の直通階段の設置が必要な建築物（>100㎡：2階）
■ 富山県民福祉条例の適用
■ 省エネ適合性判定 必要
■ 景観条例：届け出不要（建築面積1,500㎡超える新築高さ20mを越える）

道路斜線制限

用途地域	当該容積率	距離	数値
第一種住居地域	200 %	20.0m	1.25

1、申請建物の道路斜線制限は水平距離10.969mに1.25を掛けて13.711mで建物高さが8.58mなのでOKである

隣地斜線制限

用途地域	市町村	立上り距離	数値
第一種住居地域	黒部市	20.0m	1.25

1、申請の建物の高さが隣地斜線制限の立上り距離以下なのでOKである

消防適用法令 令別表第1項目 6項ハ

■ 誘導灯：要
■ カーテン等の防火措置 要
■ 消火器具
■ 消防機関へ通報する火災報知設備
■ 避難器具（2階で定員20人以上の時）
■ 防火管理者の選任（建物で定員30人以上の時）
■ 非常警報設備（一般階、かつ建物で定員50人以上の時）
■ 自動火災警報設備 300㎡ < 延床面積
■ 屋内消火栓設備 延床面積 < 1,400㎡（準耐火） ∴.不要
■ 動力消防ポンプ設備 延床面積 < 1,400㎡（準耐火） ∴.不要
■ 収容人員 階 20人 非常警報設備
■ 収容人員 50人 非常警報設備 （一般階）
■ 収容人員 30人 防火管理者の選任

内 部 仕 上

階	室 名	床仕上 高さ (FL±)	床		巾木	壁 1		壁 2	壁内 遮音 吸音 グラスウール	廻り縁	天井		天井裏 断熱材 グラスウール	造作材 【特記なき限り】 塗 装	化学物質 の 濃度測定	備 考
			下地			H	下地				下地	CH				
2 階	厨房	±0	Con	t 2.0厨房用塩ビ床シート セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t9.5PB＋t 6化粧ケイカル板(目地シール)		塩ビ見切	LGS	t 6ケイカル板(目地シール)EP	2,700			
	食堂	±0	Con	t 2.0塩ビ床シートA セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t12.5強化PB＋クロスAA		塩ビ見切	LGS	t 12. 5 PB＋t 9岩綿吸音板	2,700			
	廊下3	±0	Con	t 2.0塩ビ床シートA セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t12.5強化PB＋クロスAA		塩ビ見切	LGS	t 12. 5 PB＋t 9岩綿吸音板	2,700			
	ブレイム	±0	Con	t 2.0塩ビ床シートA セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t12.5強化PB＋クロスAA		塩ビ見切	LGS	t 12. 5 PB＋t 9岩綿吸音板	2,700			移動間仕切り
	物置2	±0	Con	t 2.0塩ビ床シートB セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t12.5強化PB＋クロスAA		塩ビ見切	LGS	t 9化粧PB(不燃)	2,700			
	多目的WC	±0	Con	t 2.0超防汚塩ビ床シート セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t9.5PB＋t 6化粧ケイカル板(目地シール)	○	塩ビ見切	LGS	t 9化粧PB(不燃)	2,700			
	男子WC	±0	Con	t 2.0超防汚塩ビ床シート(一部貼分け) セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t9.5PB＋t 6化粧ケイカル板(目地シール)	○	塩ビ見切	LGS	t 9化粧PB(不燃)	2,700			○
	女子WC	±0	Con	t 2.0超防汚塩ビ床シート セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t9.5PB＋t 6化粧ケイカル板(目地シール)	○	塩ビ見切	LGS	t 9化粧PB(不燃)	2,700			
	相談室	±0	Con	t 2.0塩ビ床シートA セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t12.5強化PB＋クロスAA	○	塩ビ見切	LGS	t 12. 5 PB＋t 9岩綿吸音板	2,700			
	物置3	±0	Con	t 2.0塩ビ床シートB セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t12.5強化PB＋クロスAA		塩ビ見切	LGS	t 9化粧PB(不燃)	2,700			
	静養室4	±0	Con	t 2.0塩ビ床シートA セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t12.5強化PB＋クロスAA	○	塩ビ見切	LGS	t 12. 5 PB＋t 9岩綿吸音板	2,700			
	廊下4	±0	Con	t 2.0塩ビ床シートB セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t12.5強化PB＋クロスAA		塩ビ見切	LGS	t 9化粧PB(不燃)	2,700			床仕上見切り SUS-HL加工
	個室	±0	Con	t 2.0塩ビ床シートA セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t12.5強化PB＋クロスAA	○	塩ビ見切	LGS	t 12. 5 PB＋t 9岩綿吸音板	2,700			
	個室専用WC	±0	Con	t 2.0超防汚塩ビ床シート セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t9.5PB＋t 6化粧ケイカル板(目地シール)	○	塩ビ見切	LGS	t 9化粧PB(不燃)	2,700			
	訓練作業室2	±0	Con	t 2.0塩ビ床シートA セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t12.5強化PB＋クロスAA		塩ビ見切	LGS	t 12. 5 PB＋t 9岩綿吸音板	2,700 (一部2,400)			
	作業室	±0	Con	t 2.0塩ビ床シートA セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t12.5強化PB＋クロスAA		塩ビ見切	LGS	t 12. 5 PB＋t 9岩綿吸音板	2,700			
	エレベーター															
共 通	階段室	±0	Con	t 2.0塩ビ床シートA セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t12.5強化PB＋クロスAA		塩ビ見切	LGS	t 12. 5 PB＋t 9岩綿吸音板				
	物入1～	±0	Con	t 2.0塩ビ床シートB セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t12.5強化PB＋クロスAA		塩ビ見切	LGS	t 9化粧PB(不燃)	2,700			
	廊下1～	±0	Con	t 2.0塩ビ床シートA セルフレベリング	ソフト	60	LGS	t12.5強化PB＋クロスAA		塩ビ見切	LGS	t 12. 5 PB＋t 9岩綿吸音板	2,700			

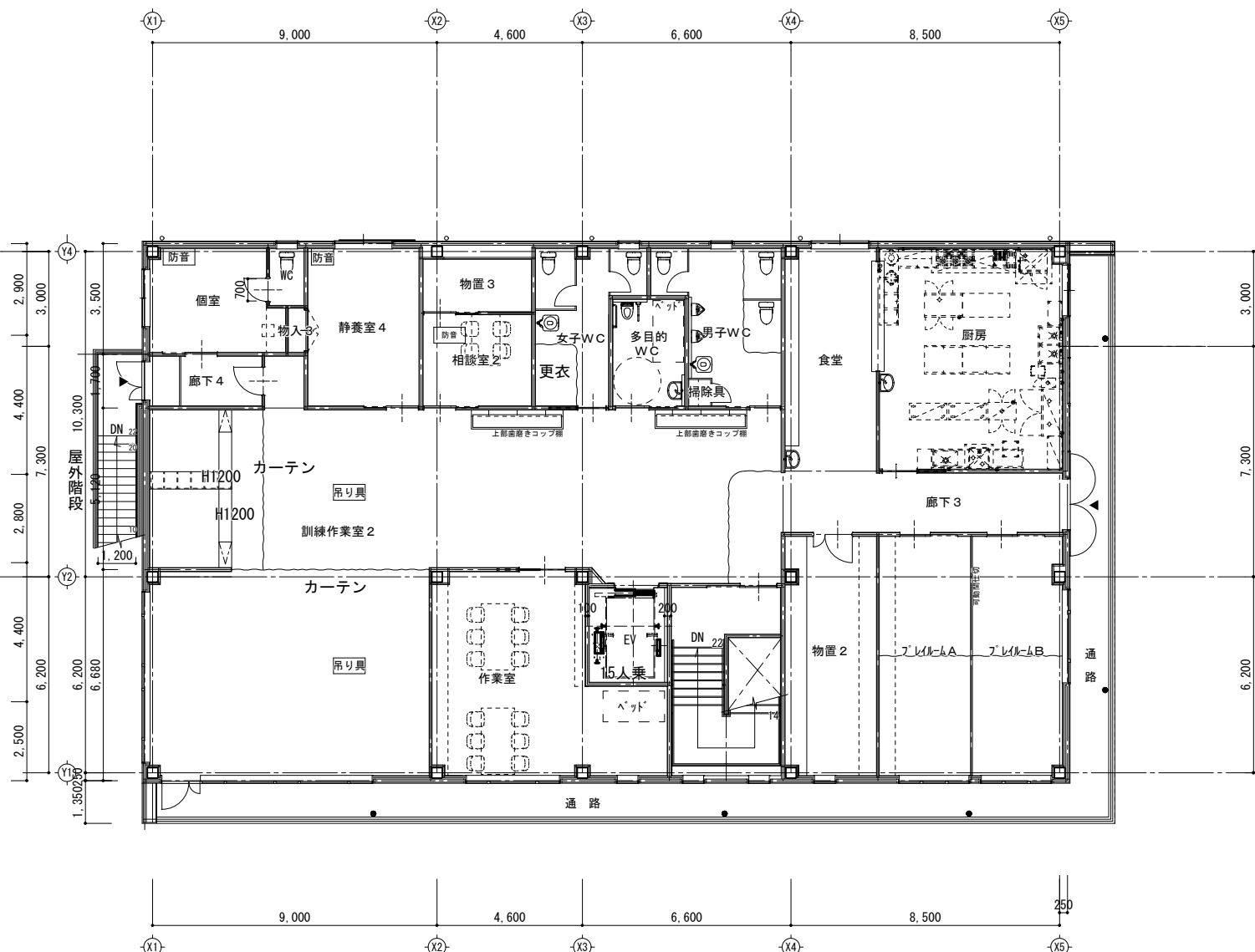
仕上・下地材リスト <同等品以上>
300角床磁器質タイル : グラヴィナNX【INAX】
t 2.0塩ビ床シートA : マチュアNW【東リ】
t 2.0塩ビ床シートB : フロアリューム マーブルNW【東リ】
t 2.0超防汚塩ビ床シート : 消臭NSTワレNW【東リ】
t 2.0厨房用塩ビ床シート : クリナ【TAJIMA】

t 2.5防汚性塩ビ床シート : NSシート NS800【東リ】
50角床磁器質タイル : サーマイル ミルキーDXⅡ【INAX】
200角磁器質壁タイル張り : サーマイル ソフライムⅡ【INAX】
t 3.0木目調化粧板 : ハビアウォールハードタイプⅡ【DAIKEN】

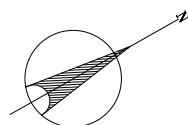
凡例
Con : コンクリート金ゴテ
M : モルタル下地
EP-G : つや有合成樹脂エマルションペイント

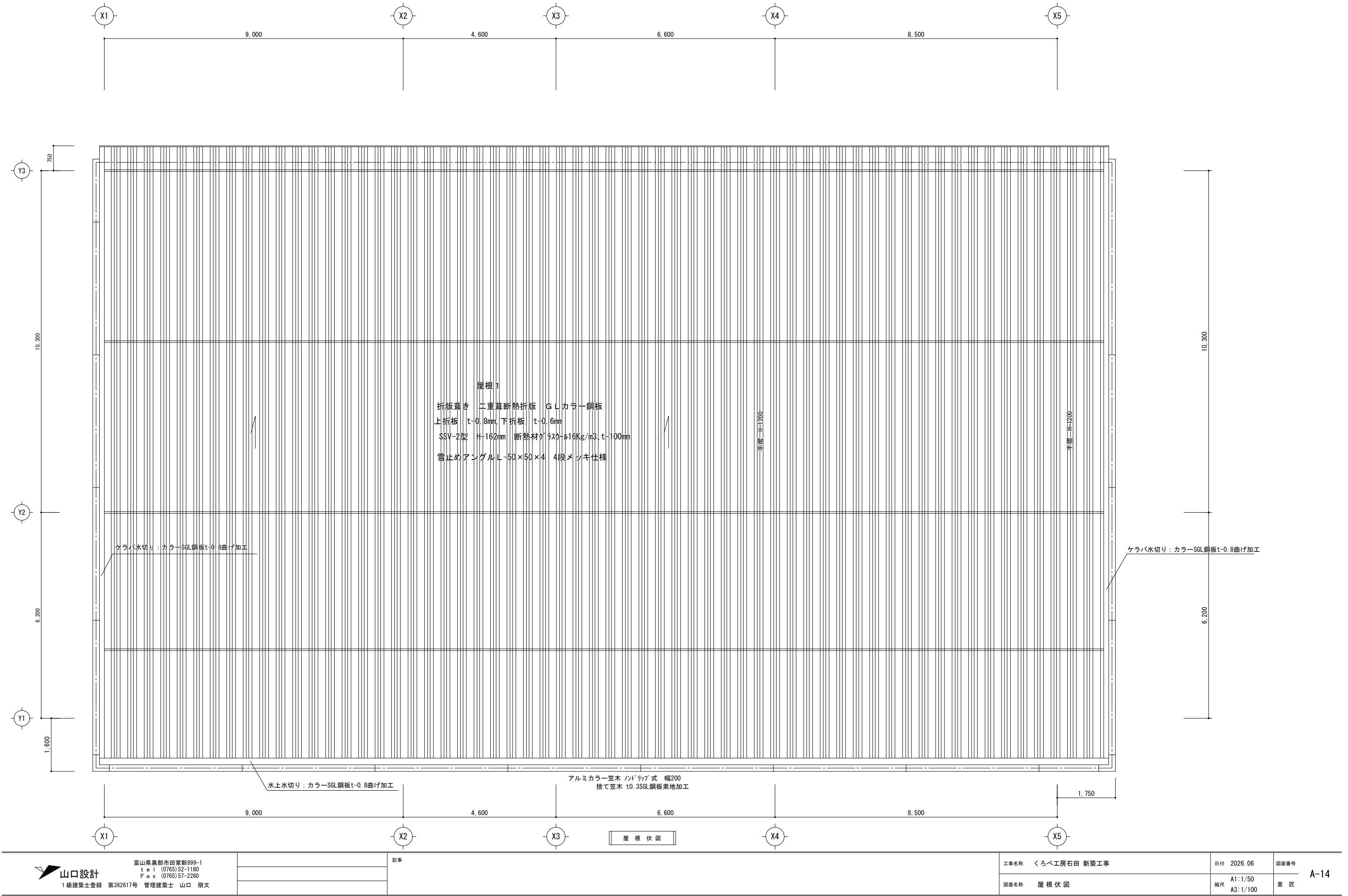


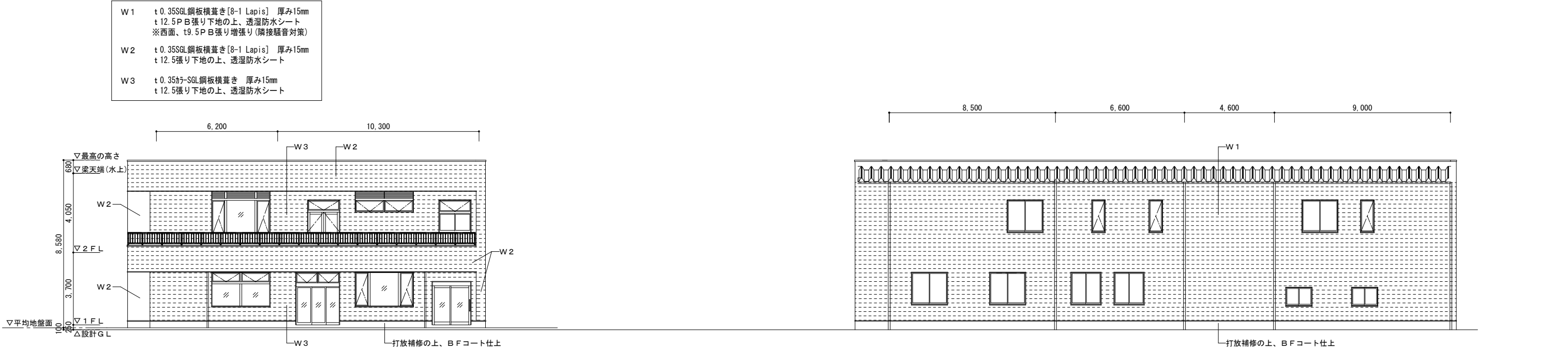
1階 平面図



2階 平面図

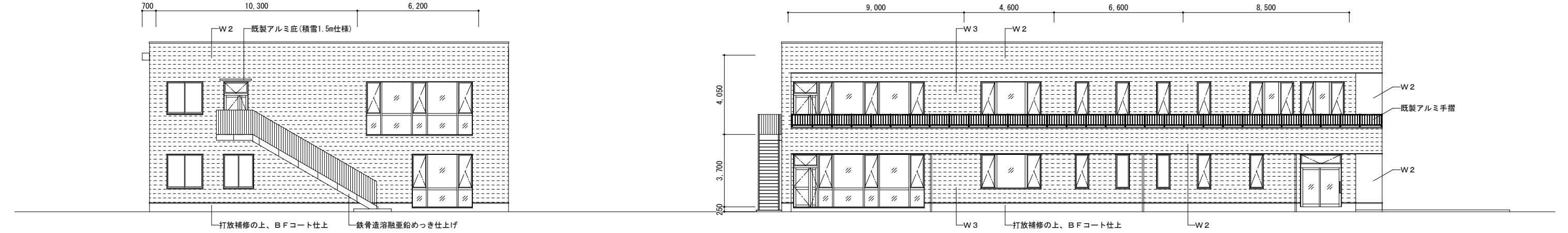






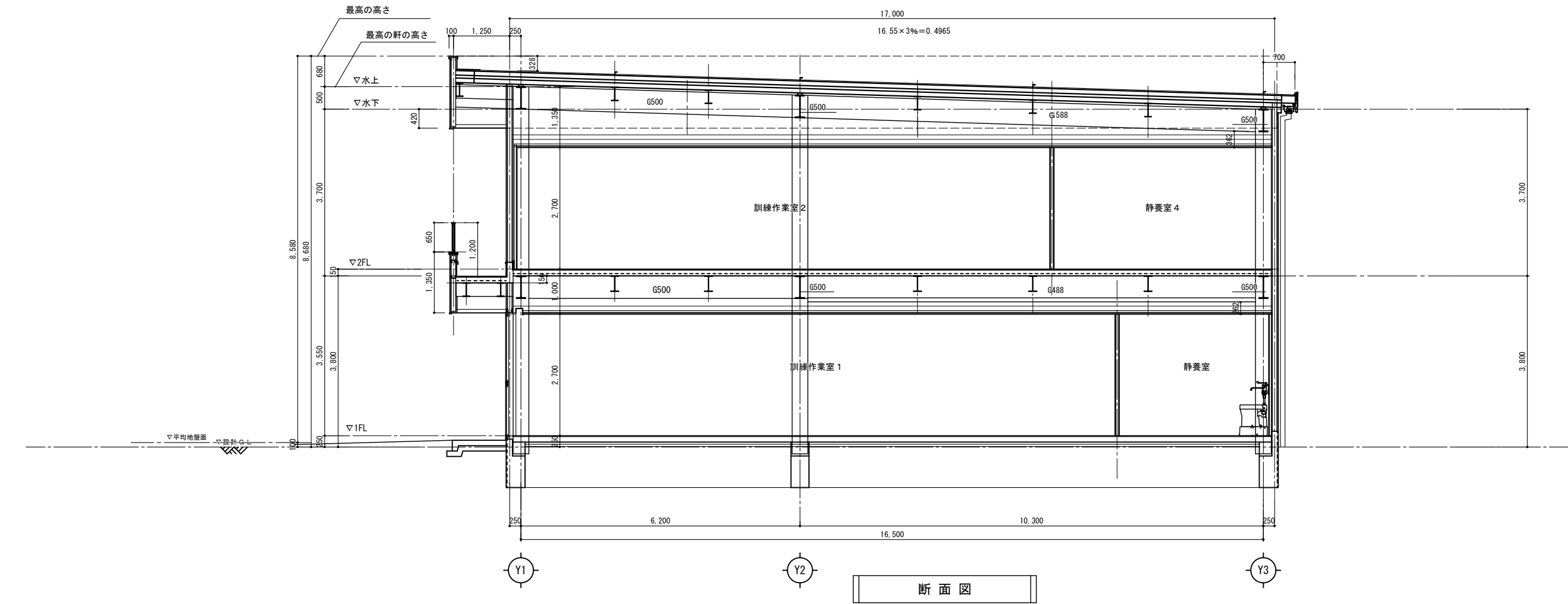
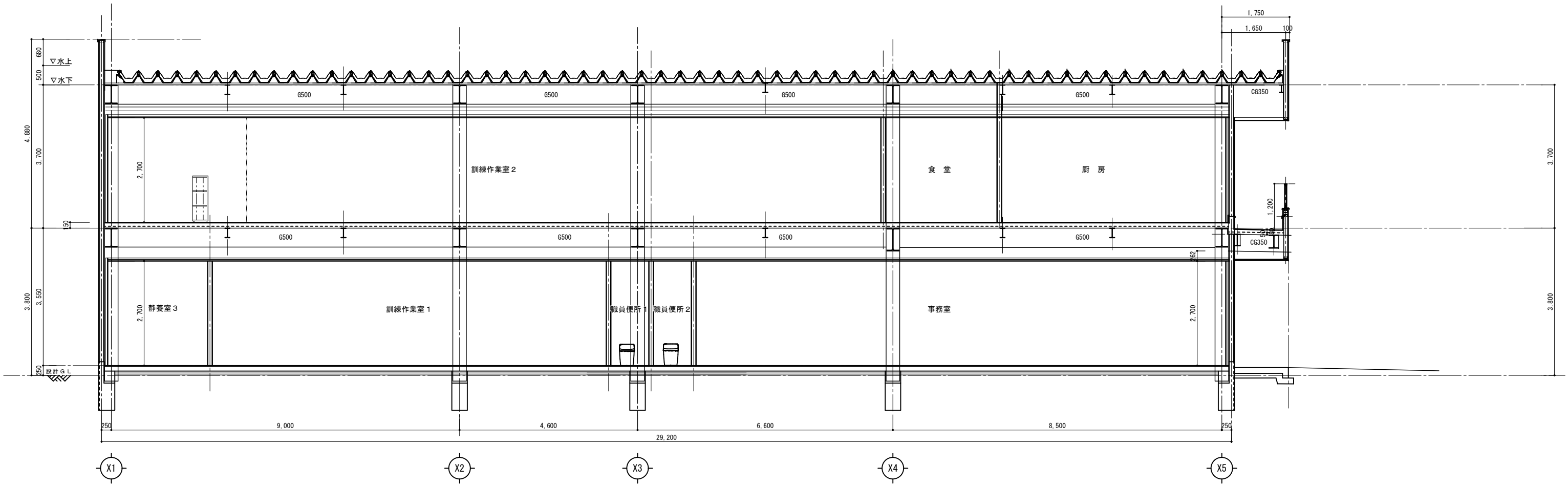
北側 立面図

西側 立面図



南側 立面図

東側 立面図



断面図



富山県黒部市田家新899-1
t e l (0765) 52-1180
F a x (0765) 57-2280

1級建築士登録 第362617号 管理建築士 山口 朋文

設計 山口朋文 1級建築士登録第362617号

担当 山口朋文

記事

工事名称 くらべ工房 石田 新築工事

日付 2026.06

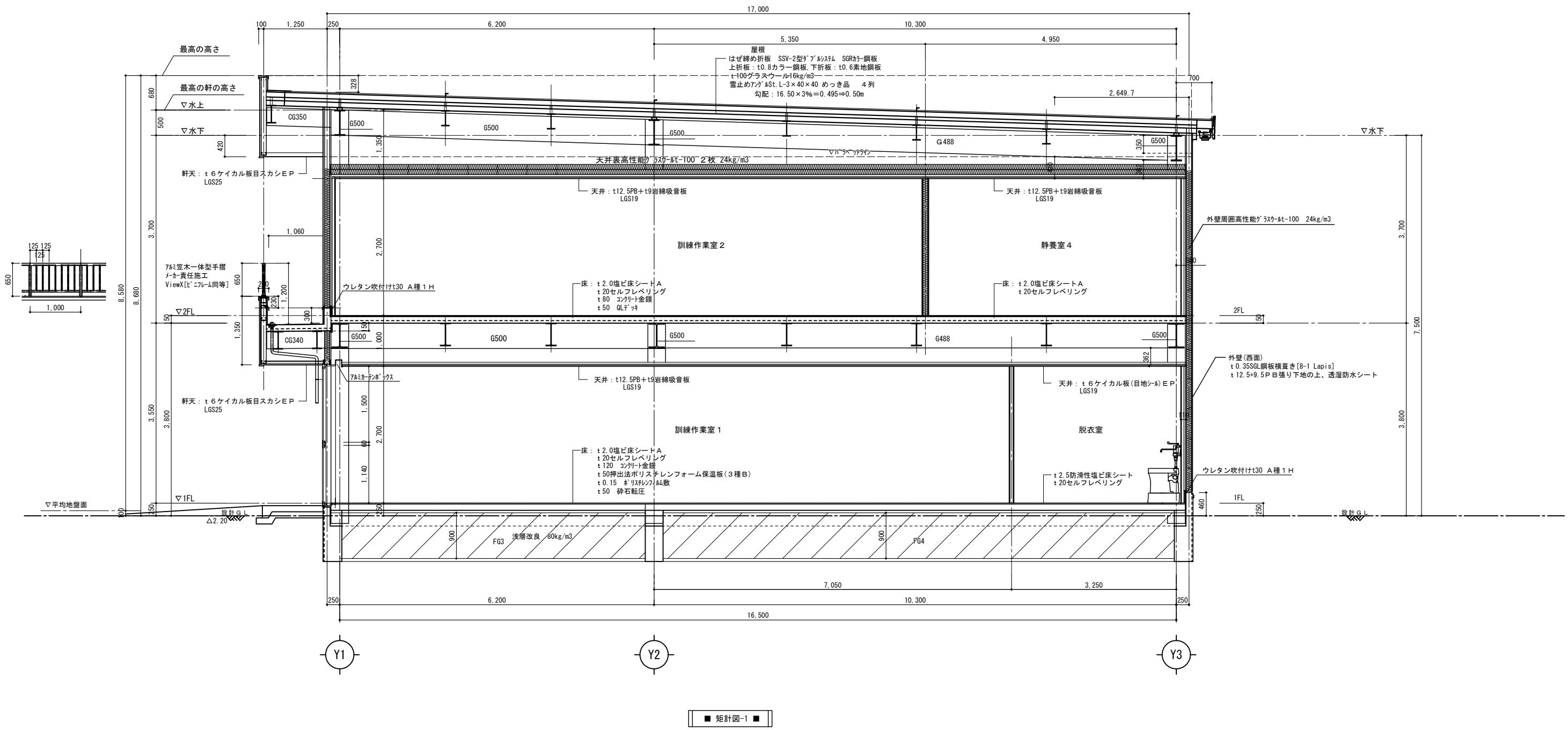
図面番号

図面名称 断 面 図

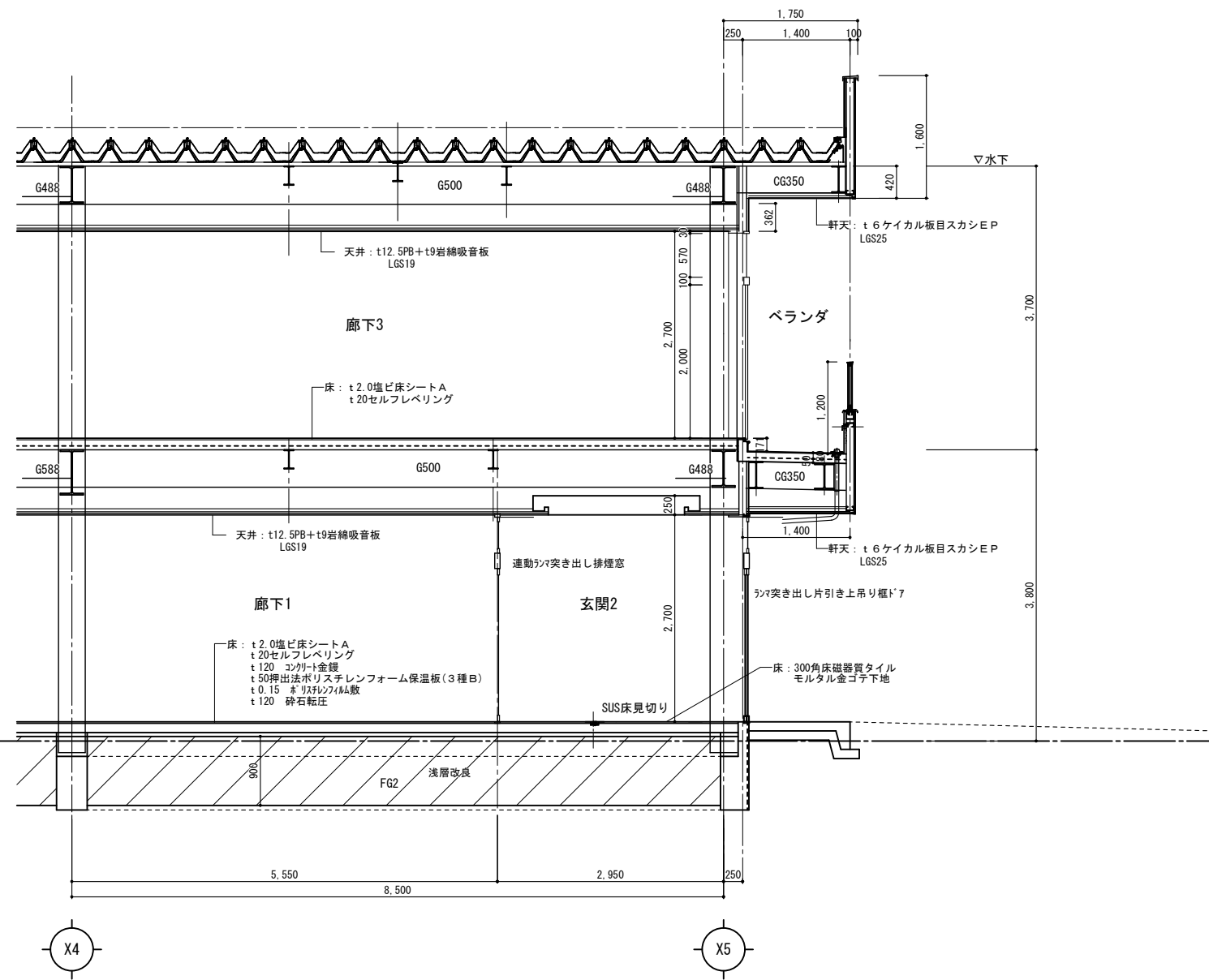
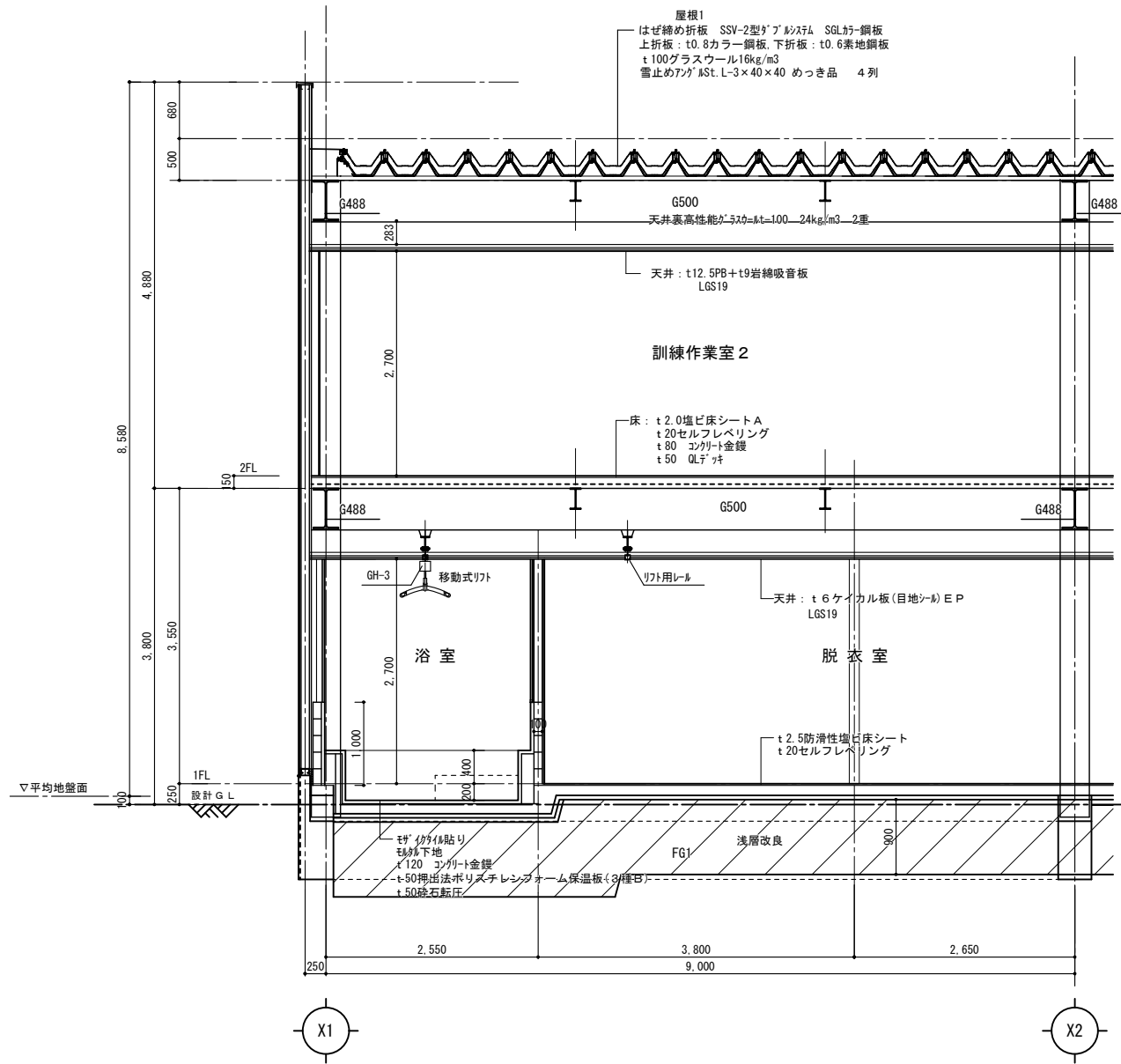
縮尺 A1:1/50
A3:1/100

意 匠

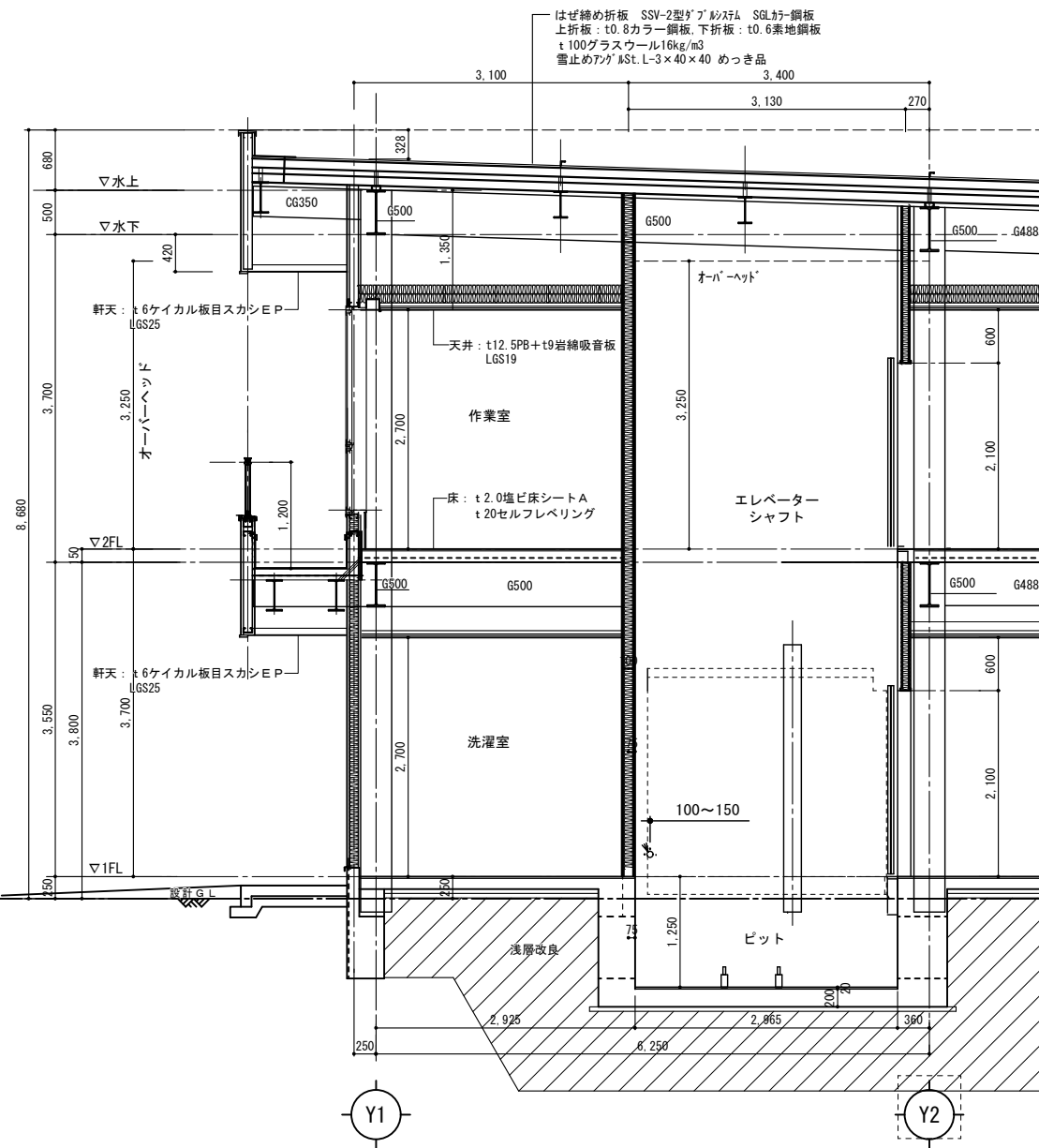
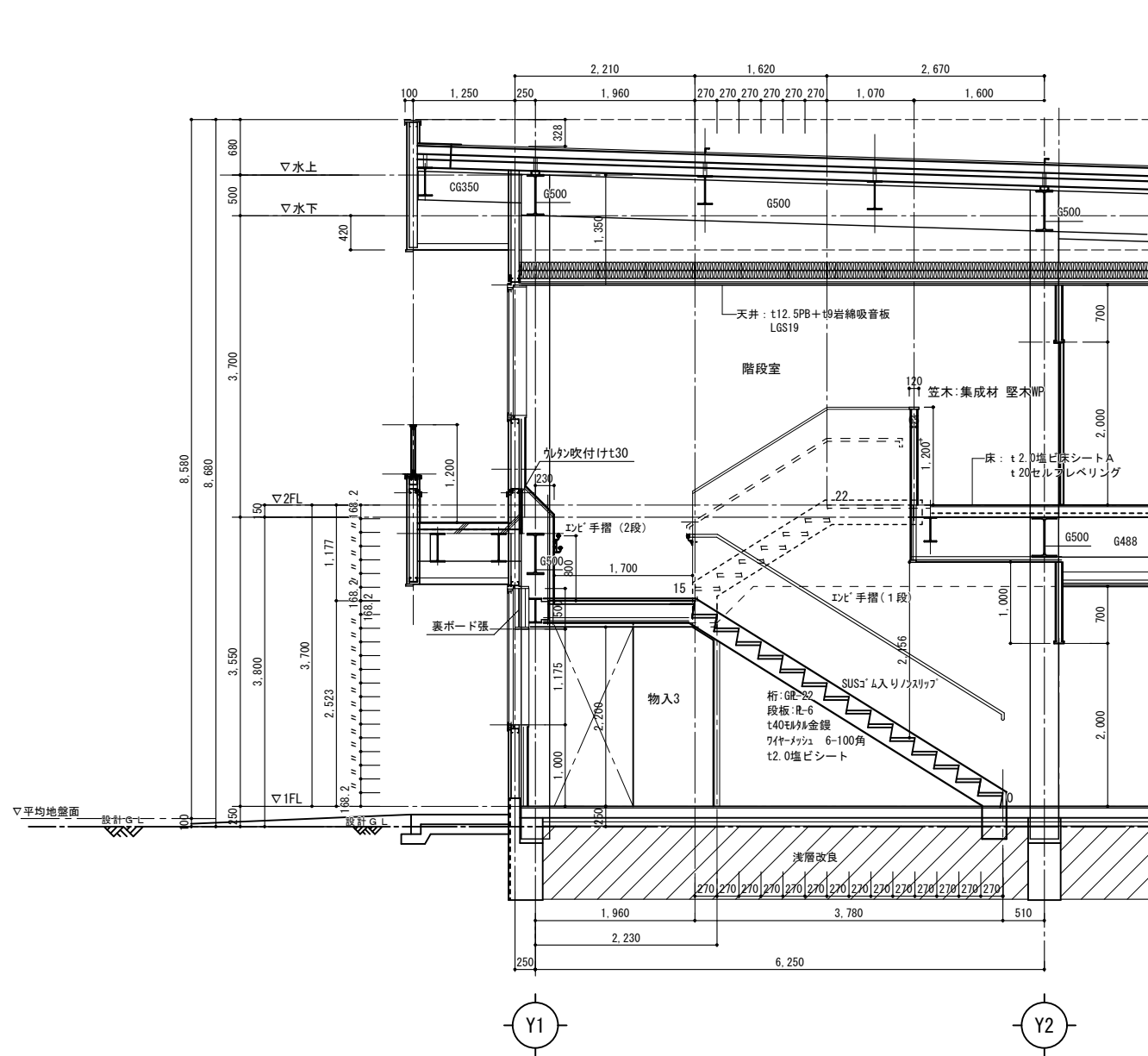
A-16



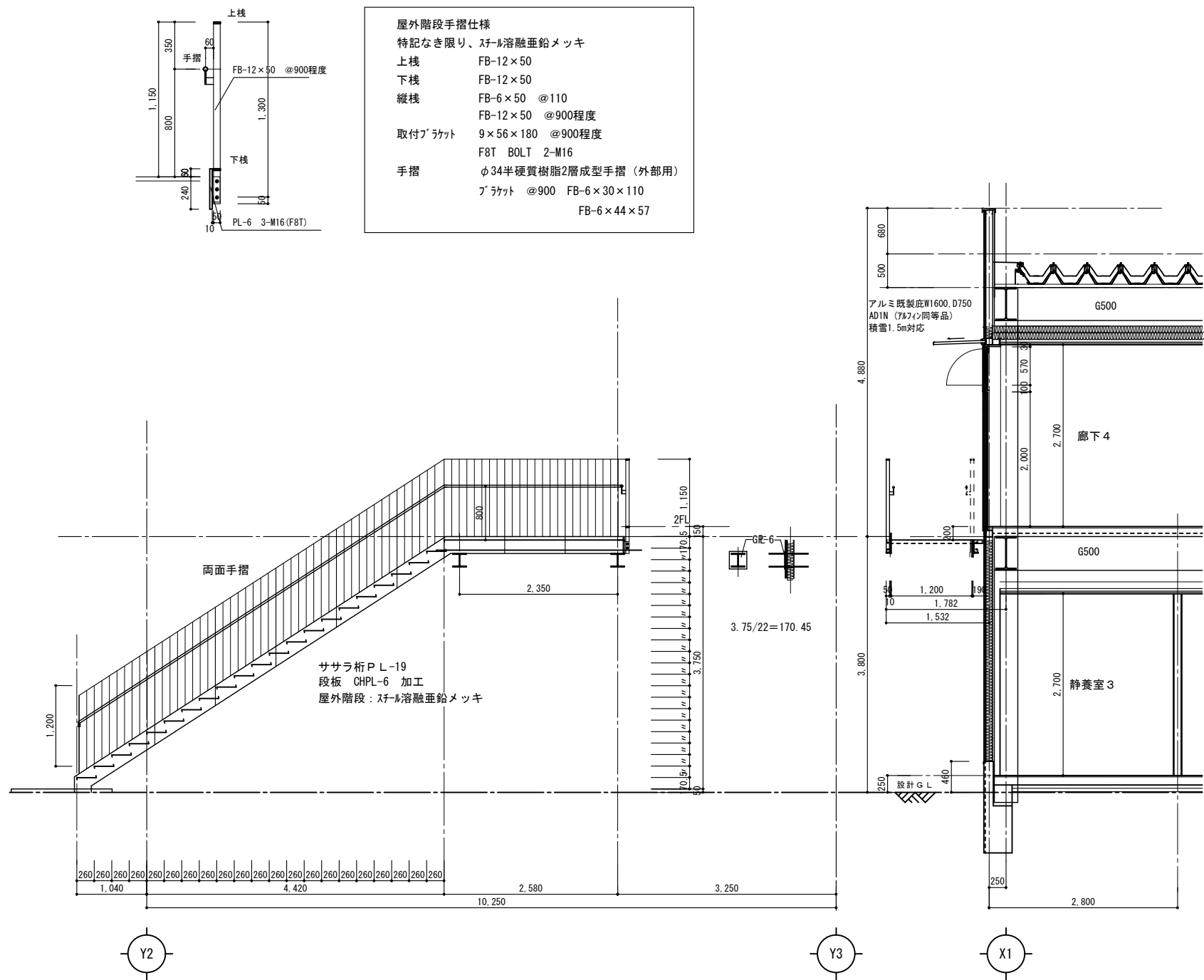
■ 矩計図-1 ■

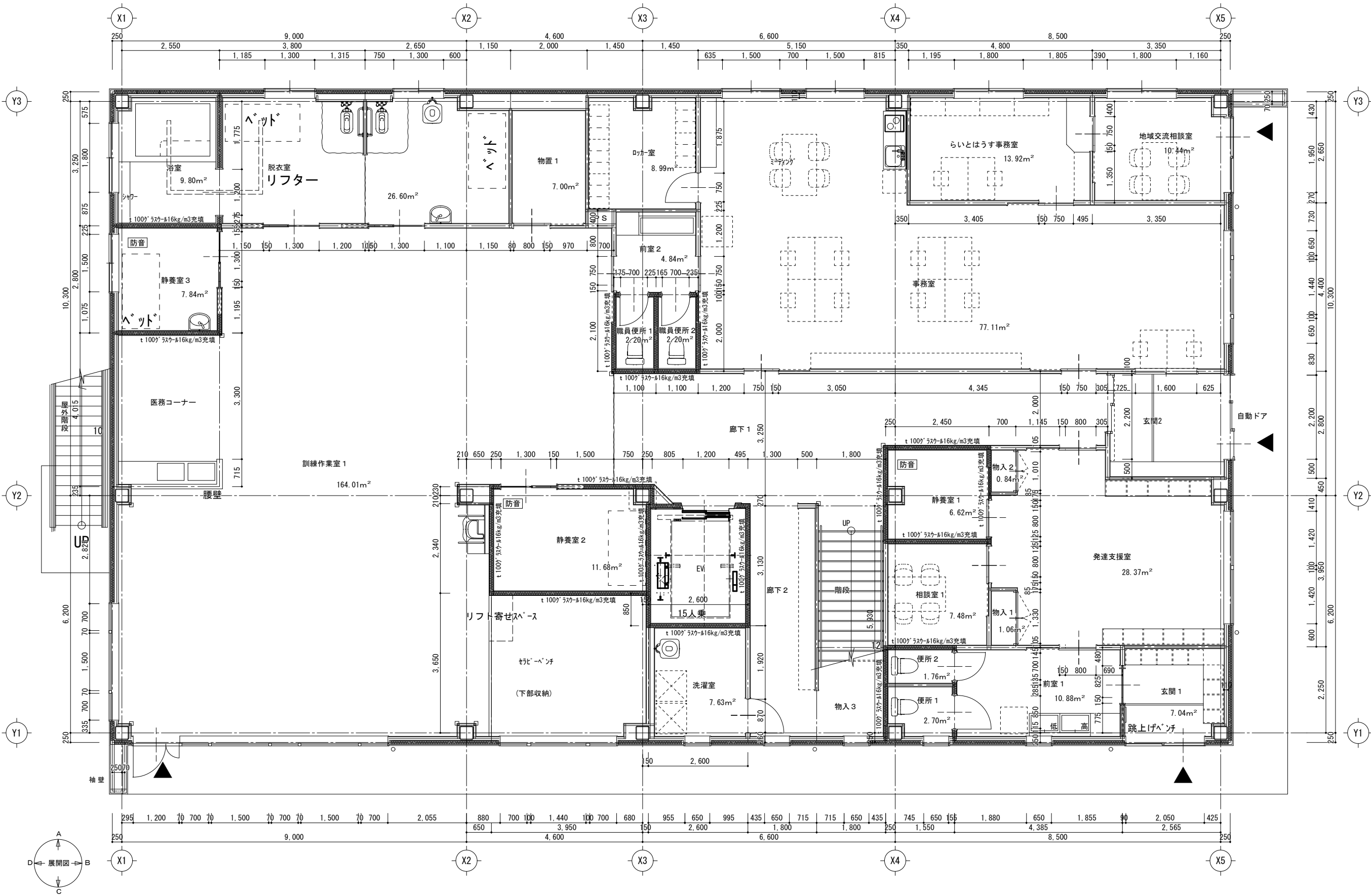


■ 矩計図-2 ■



はぜ締め折板 SSV-2型ガラスA SGLカー鋼板
上折板：t0.8カラー鋼板 下折板：t0.6素地鋼板
t100グラスウール16kg/m3
雪止め70kg/m2 L-3×40×40 めっき品





1 階 平 面 図

凡例
□ 壁コーナーガード取付け位置を示す。

山口設計 1級建築士登録 第362617号 管理建築士 山口 朋文	富山県黒部市田家新89-1 tel (0765) 52-1180 Fax (0765) 57-2280	記事	工事名称	くろべ工房石田 新築工事	日付	2026.06	図面番号	A-21
			図面名称	1階平面詳細図	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	意匠	

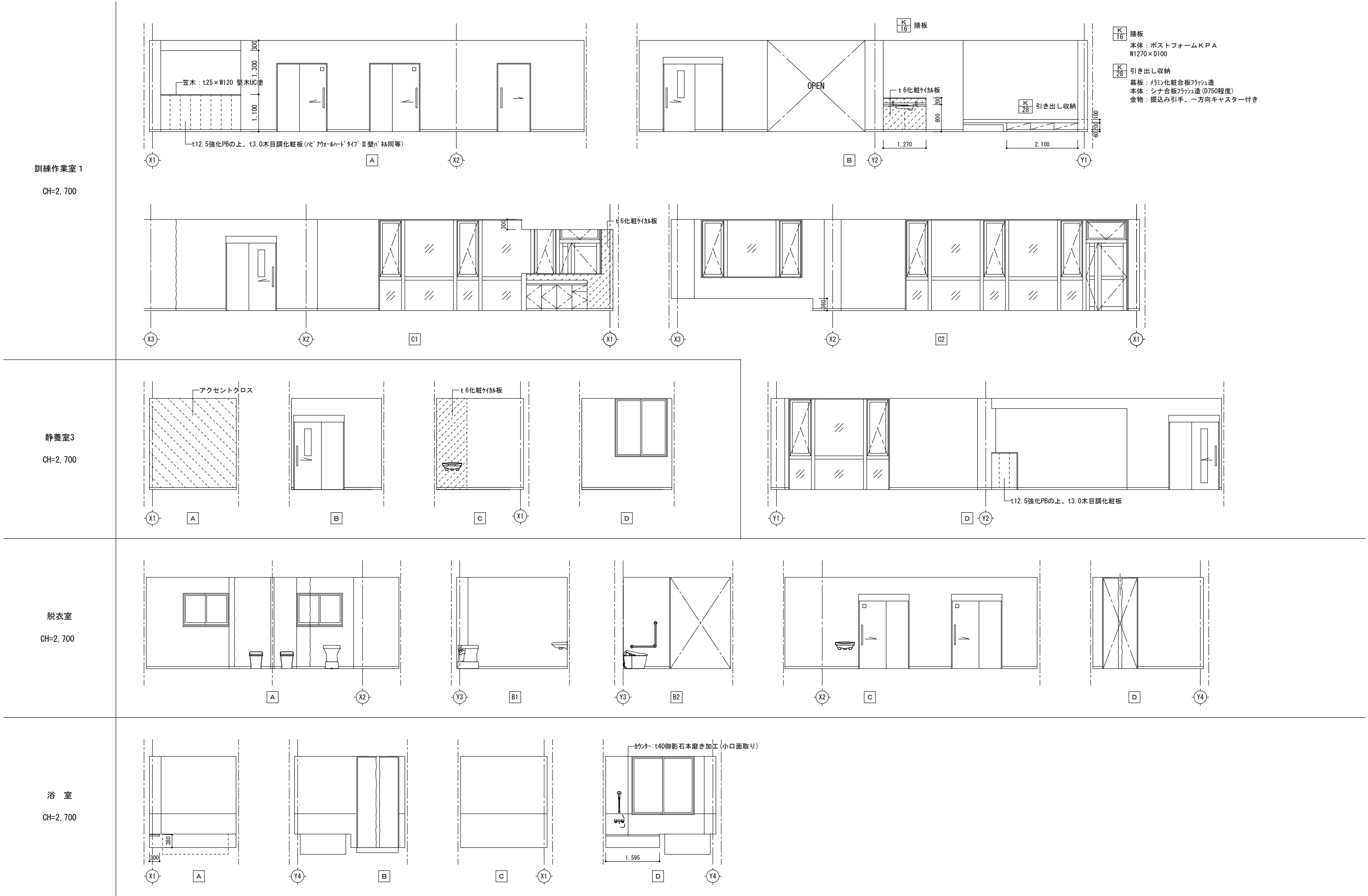


2 階 平 面 図

凡例
□ 壁コーナーガード取付け位置を示す。

 山口設計 富山県黒部市田家新899-1 t e l (0765) 52-1180 F a x (0765) 57-2280 1級建築士登録 第362617号 管理建築士 山口 朋文		記事	工事名称	くろべ工房石田 新築工事	日付	2026.06	図面番号	A-23
			図面名称	展開図-1	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	意匠	

 山口設計 富山県黒部市田家新899-1 t e l (0765)52-1180 F a x (0765)57-2280 1級建築士登録 第362617号 管理建築士 山口 朋文		記事	工事名称	くろべ工房石田 新築工事	日付	2026.06	図面番号	A-25
			図面名称	展開図-3	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	意匠	

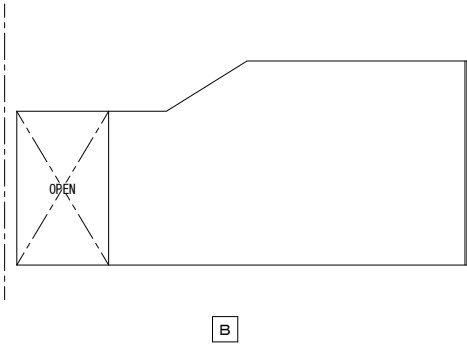
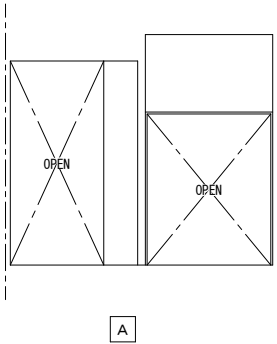
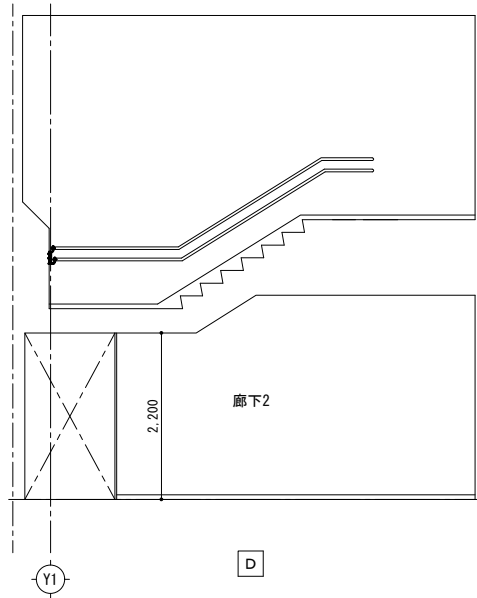
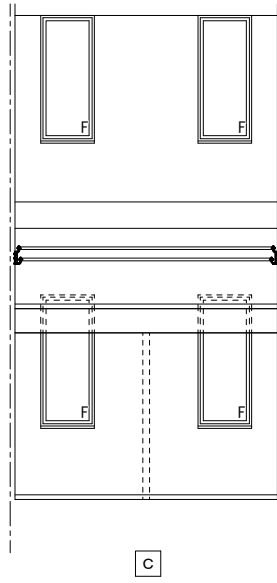
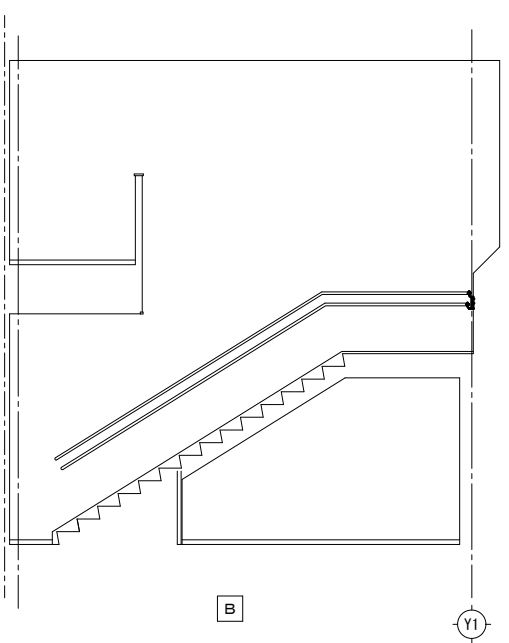
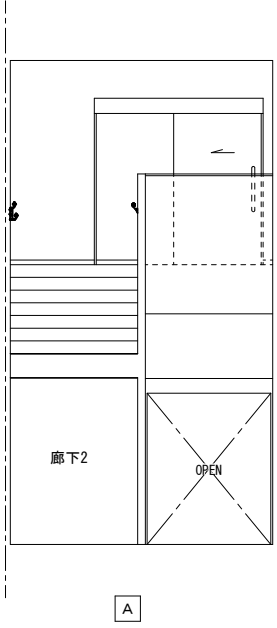


厨 房 CH=2,700	
食堂・廊下2 CH=2,700	
物置 2 CH=2,700	
プレイルーム CH=2,700	
作業室 CH=2,700	

男子便所 CH=2,700	<
------------------	--

廊 下 4 CH=2, 700		トイレ CH=2, 500	
個室 CH=2, 700		K24 カウンター 本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メッキ)	
訓練作業室2 CH=2, 700		K26 オープン棚 ハッチ部：t3化粧ケイカル板(目地シール)	K26 オープン棚 本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メッキ)
***** CH=2, 700		K25 手洗いシンク 本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メッキ) 開き扉下端手掛けチバー加工 シンク：t1.2SUS304加工 H150立上共(取合いソリッド) 金物：SUS目皿(共栓・オーバーフロー管付き)、スライド丁番 膳板：t1.2SUS304加工	K27 跳上げ扉付きオープン棚 本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メッキ) 跳上げ扉側：可動棚 跳上げ扉直交側：固定棚 金物：棚柱、棚受、跳上げ戸用金物

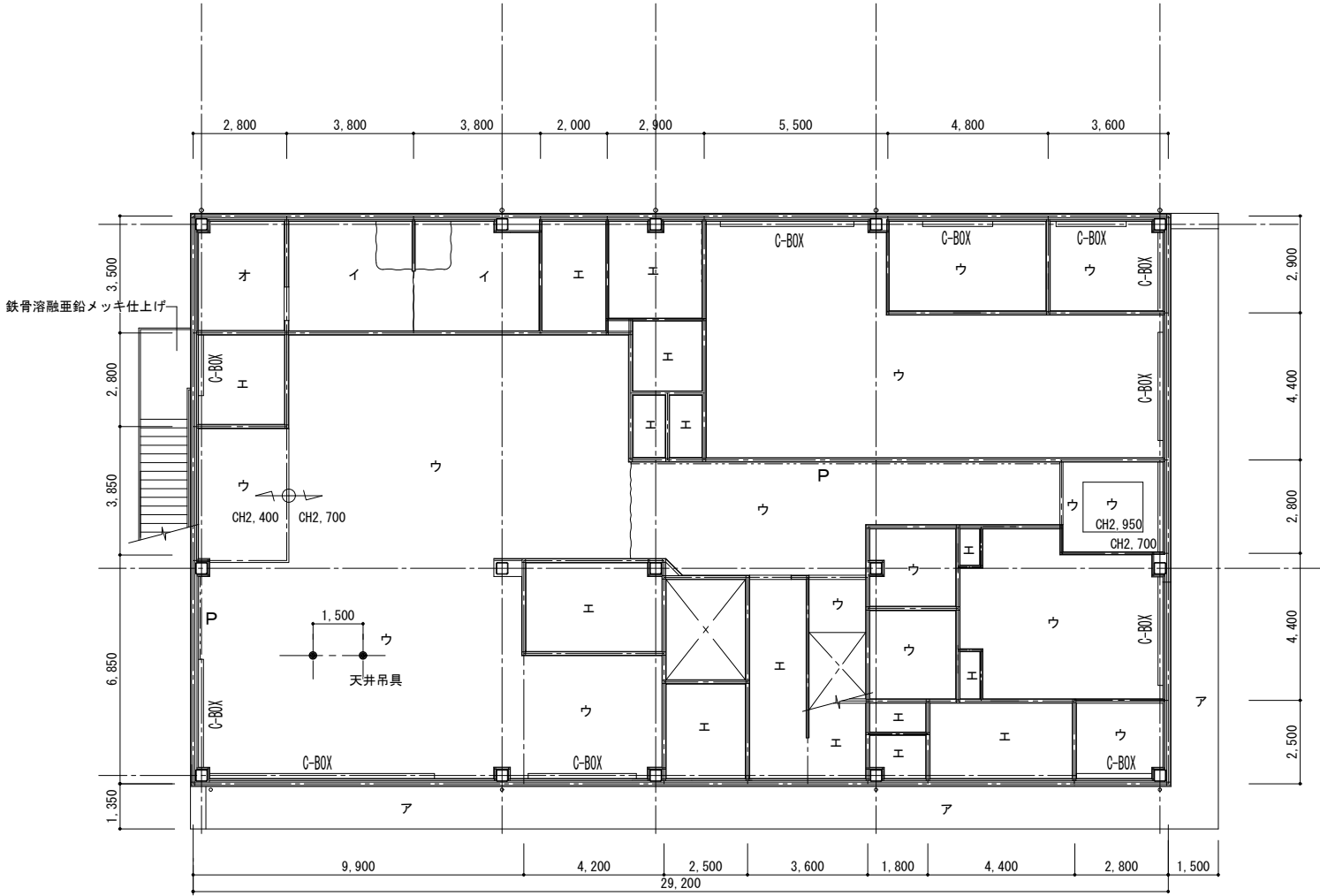
階段室・廊下2・物入2
CH=2,700



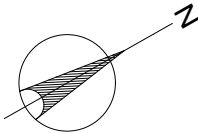
記号	仕 様		
ア	t 6ケイカル板 目スカシ EP	P	ビクチャレル 30kg 天付けアルミ製ホワイト フック2ヶ/1.0m程度
イ	t 6ケイカル板 目地シール EP塗	C-BOX	アルミカーテンボックス 150×150
ウ	t 12.5PB+t 9岩綿吸音板		
エ	t 9化粧PB (不燃)		
オ	幅広バシリブ		

天井補強リスト			
100×1235	78カ所	□450 (点検口を含む)	30カ所
□150	21カ所	□500	1カ所
□200	20カ所	580×610	8カ所
□250	2カ所	625×700	1カ所
□300	2カ所	□900	15カ所

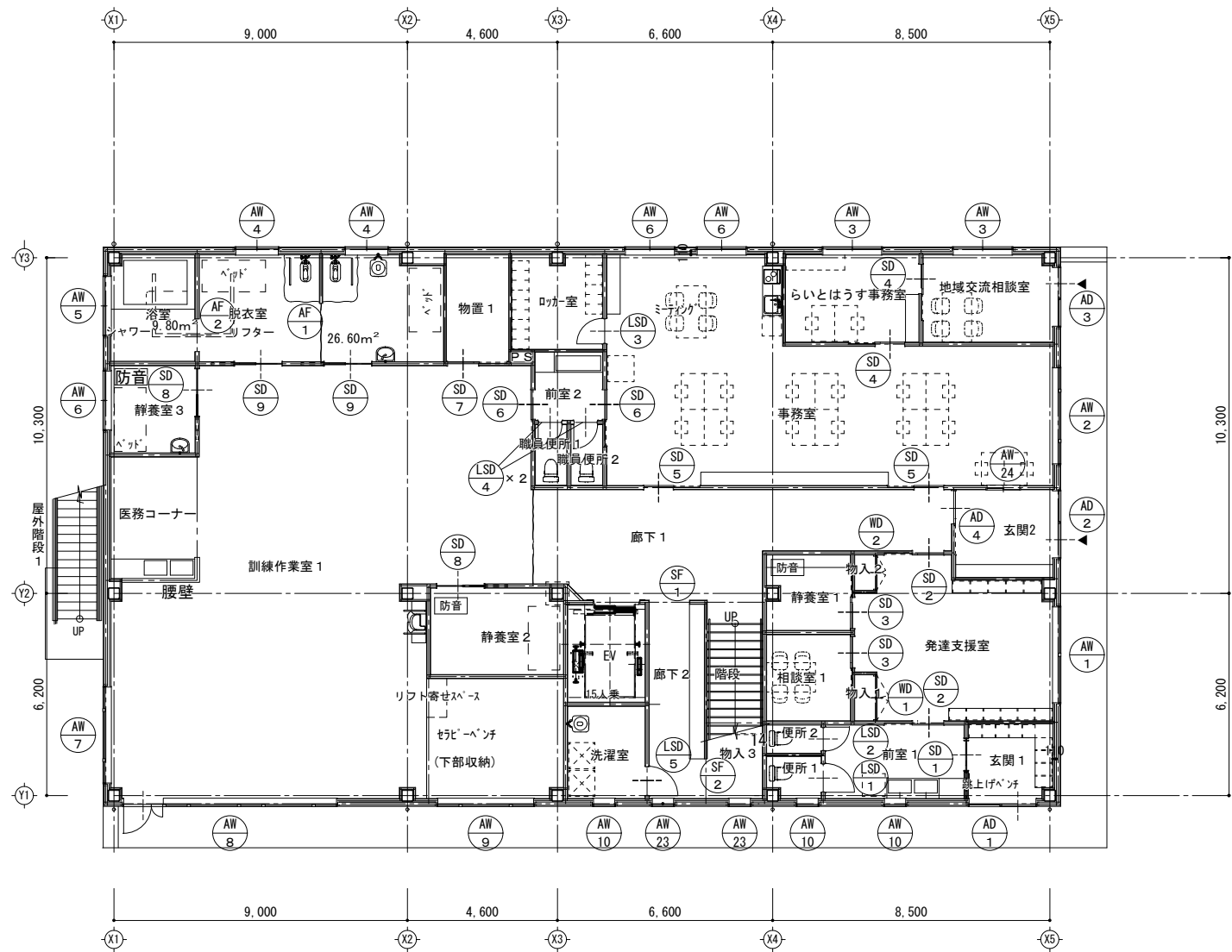
□450天井点検口 22カ所 (うち3カ所は外部軒天)



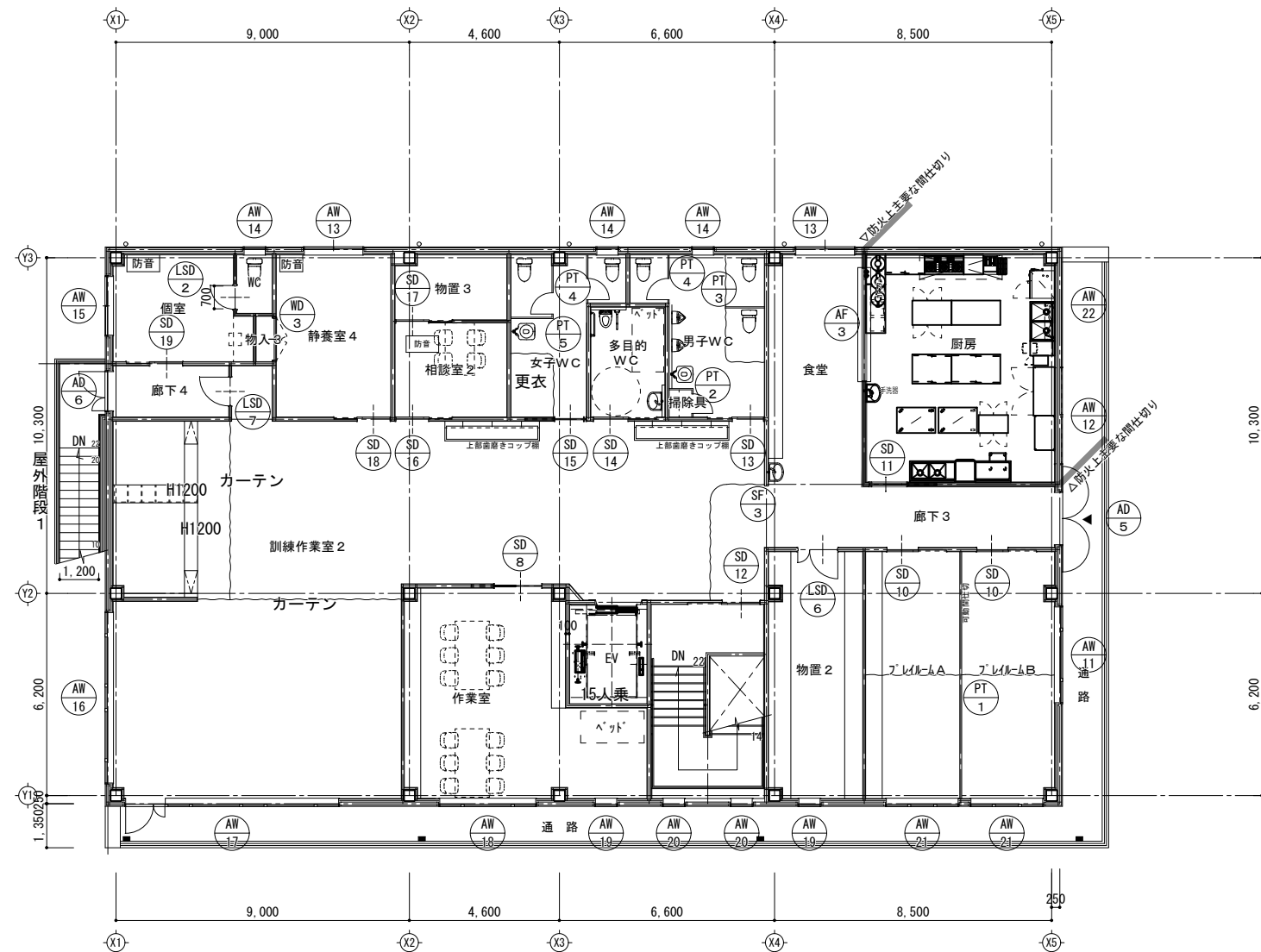
1階 天井伏図



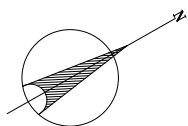
2階 天井伏図



1階 平面図



2階 平面図



採光・換気・排煙検討表														
階	室 名	床面積	有効採光面積算定式	有効採光面積	判定	必要採光面積 1/7, 1/20	有効換気面積算定式	有効換気面積	判定	必要換気面積 1/20	有効排煙面積算定式	有効排煙面積	判定	必要排煙面積 1/50
1	玄関 1	7.04m2									AD 1 0.955 × 0.444 × 2 = 0.85	0.85	>	0.14
	前室 1	10.88m2									AW 10 0.606 × 0.649 × 1 = 0.39	0.39	>	0.22
	便所 1	2.70m2									AW 10 0.606 × 0.649 × 1 = 0.39	0.39	>	0.05
	便所 2	1.76m2									建設省告示1436号 2号(非居室)面積100m2以下かつ天井から500mmの防煙壁による区画			
	発達支援室	28.37m2	AW 1 1.420 × 1.000 × 2 = 2.84	2.84	>	1.42	AW 1 1.400 × 0.544 × 2 = 1.52	1.52	>	1.42	AW 1 1.400 × 0.544 × 2 = 1.52	1.52	>	0.57
	相談室 1	7.48m2	非常照明設備の設置				機械換気計算表による				建設省告示1436号 3号へ(5)(居室)面積100m2以下かつ下地・仕上とも不燃			
	静養室 1	6.62m2	非常照明設備の設置				機械換気計算表による				建設省告示1436号 3号へ(5)(居室)面積100m2以下かつ下地・仕上とも不燃			
	物入 1	1.06m2									建設省告示1436号 2号(非居室)面積100m2以下かつ天井から500mmの防煙壁による区画			
	物入 2	0.84m2									建設省告示1436号 2号(非居室)面積100m2以下かつ天井から500mmの防煙壁による区画			
	地域交流相談室	10.44m2	AW 3 1.800 × 1.675 × 1 = 3.02	3.02	>	0.52	AW 3 0.875 × 1.675 × 1 = 1.46	1.46	>	0.52	AW 3 0.875 × 0.675 × 1 = 0.59	0.59	>	0.21
	らいとほうす事務室	13.92m2	AW 3 1.800 × 1.675 × 1 = 3.02	3.02	>	0.70	AW 3 0.875 × 1.675 × 1 = 1.46	1.46	>	0.70	AW 3 0.875 × 0.675 × 1 = 0.59	0.59	>	0.28
	事務室	77.11m2	AW 2 1.440 × 1.675 × 1 = 2.41 0.650 × 1.675 × 2 = 2.17 AW 6 1.600 × 1.675 × 2 = 5.36	9.94	>	3.86	AW 2 0.606 × 1.649 × 2 = 1.99 AW 6 0.725 × 1.675 × 2 = 2.43	4.42	>	3.86	AW 2 0.606 × 0.649 × 2 = 0.78 AW 6 0.725 × 0.675 × 2 = 0.98	1.76	>	1.54
	ロッカー室	8.99m2									建設省告示1436号 2号(非居室)面積100m2以下かつ天井から500mmの防煙壁による区画			
	前室 2	4.84m2									建設省告示1436号 2号(非居室)面積100m2以下かつ天井から500mmの防煙壁による区画			
	職員便所 1、2	2.20m2									建設省告示1436号 2号(非居室)面積100m2以下かつ天井から500mmの防煙壁による区画			
	物置 1	7.00m2									建設省告示1436号 2号(非居室)面積100m2以下かつ天井から500mmの防煙壁による区画			
	脱衣室	26.60m2									建設省告示1436号 2号(非居室)面積100m2以下かつ天井から500mmの防煙壁による区画			
	浴室	9.80m2									AW 5 0.875 × 0.675 × 1 = 0.59	0.59	>	0.20
	静養室 3	7.84m2	AW 6 1.500 × 1.675 × 1 = 2.51	2.51	>	0.39	AW 6 0.725 × 1.675 × 1 = 1.21	1.46	>	0.39	AW 6 0.725 × 0.675 × 1 = 0.49	0.49	>	0.16
	静養室 2	11.68m2	非常照明設備の設置				機械換気計算表による				建設省告示1436号 3号へ(5)(居室)面積100m2以下かつ下地・仕上とも不燃			
	洗濯室	7.93m2									AW 10 0.606 × 0.649 × 1 = 0.39	0.39	>	0.16
	廊下 2、物入 3	15.59m2									建設省告示1436号 2号(非居室)面積100m2以下かつ天井から500mmの防煙壁による区画			
	玄関 2、廊下 1	45.05m2									AD 2 1.030 × 0.444 × 2 = 0.91 AW 7 0.656 × 0.649 × 2 = 0.85 AW 8 0.656 × 0.649 × 3 = 1.28 1.140 × 0.544 × 1 = 0.62 AW 9 0.656 × 0.649 × 2 = 0.85 ※排煙上同一区画の為、合算して検討。	4.51	>	4.17
	訓練作業室 1 (医務コーナー、むじーべんち含む)	163.62m2	AW 7 1.500 × 0.900 × 1 × 3 = 4.05 1.500 × 1.675 × 1 × 3 = 7.54 AW 8 1.500 × 0.900 × 2 × 3 = 8.10 1.500 × 1.675 × 2 × 3 = 15.08	34.77	>	23.37	AW 7 0.656 × 1.649 × 2 = 2.16 AW 8 0.656 × 1.649 × 3 = 3.25 1.200 × 2.000 × 1 = 1.20 1.140 × 0.544 × 1 = 0.62 AW 9 0.656 × 1.649 × 2 = 2.16	9.39	>	8.18				

採光・換気・排煙検討表																				
階	室 名	床面積	有効採光面積算定式			有効採光面積	判定	必要採光面積 1/7, 1/20	有効換気面積算定式			有効換気面積	判定	必要換気面積 1/20	有効排煙面積算定式			有効排煙面積	判定	必要排煙面積 1/50
2	ブレイルームA	23.09m2	AW 21	$0.650 \times 1.575 \times 2 \times 3 = 6.14$	6.14	>	3.30	AW 21	$0.606 \times 1.549 \times 2 = 1.87$	1.87	>	1.15	AW 21	$0.606 \times 0.649 \times 2 = 0.78$	0.78	>	0.46			
	ブレイルームB	23.71m2	AW 21	$0.650 \times 1.575 \times 2 \times 3 = 6.14$	6.14	>	3.39	AW 21	$0.606 \times 1.549 \times 2 = 1.87$	1.87	>	1.19	AW 21	$0.606 \times 0.649 \times 2 = 0.78$	0.78	>	0.47			
	厨房	43.20m2	AW 12	$1.400 \times 0.570 \times 2 \times 3 = 4.79$	4.79	>	2.16	AW 12 AW 22	$1.400 \times 0.544 \times 2 = 1.52$ $1.540 \times 0.544 \times 1 = 0.84$	2.36	>	2.16	AW 12	$1.400 \times 0.544 \times 2 = 1.52$	1.52	>	0.86			
	食堂	21.60m2	AW 13	$1.800 \times 1.575 \times 1 \times 3 = 8.51$	8.51	>	1.08	AW 13	$0.875 \times 1.575 \times 1 = 1.38$	1.38	>	1.08	AW 13	$0.875 \times 0.675 \times 1 = 0.59$	0.59	>	0.43			
	物置 2	23.40m2	建設省告示1436号 2号(非居室)面積100m2以下かつ天井から500mmの防煙壁による区画																	
	男子WC	17.90m2	AW 14 $0.606 \times 0.649 \times 1 = 0.39$ 0.39 > 0.36																	
	女子WC	14.78m2	AW 14 $0.606 \times 0.649 \times 1 = 0.39$ 0.39 > 0.30																	
	多目的WC	8.40m2	建設省告示1436号 2号(非居室)面積100m2以下かつ天井から500mmの防煙壁による区画																	
	相談室 2	10.67m2	非常照明設備の設置					機械換気計算表による						建設省告示1436号 3号へ(5)(居室)面積100m2以下かつ下地・仕上とも不燃						
	物置 3	7.82m2	建設省告示1436号 2号(非居室)面積100m2以下かつ天井から500mmの防煙壁による区画																	
	静養室 4	18.95m2	AW 13	$1.800 \times 1.575 \times 1 \times 3 = 8.51$	8.51	>	0.95	AW 13	$0.875 \times 1.575 \times 1 = 1.38$	1.38	>	0.95	AW 13	$0.875 \times 0.675 \times 1 = 0.59$	0.59	>	0.38			
	物入 3	0.90m2	建設省告示1436号 2号(非居室)面積100m2以下かつ天井から500mmの防煙壁による区画																	
	居室	14.55m2	AW 15	$1.800 \times 1.575 \times 1 \times 3 = 8.51$	8.51	>	0.73	AW 15	$0.875 \times 1.575 \times 1 = 1.38$	1.38	>	0.73	AW 15	$0.875 \times 0.675 \times 1 = 0.59$	0.59	>	0.29			
	WC(居室)	2.40m2	AW 14 $0.606 \times 0.649 \times 1 = 0.39$ 0.39 > 0.05																	
	廊下 4	8.67m2	AD 5 $1.140 \times 0.544 \times 1 = 0.62$ 0.62 > 0.17																	
	作業室	41.08m2	AW 18	$1.440 \times 1.575 \times 1 \times 3 = 6.80$	6.80	>	2.05	AW 18 AW 19	$0.656 \times 1.549 \times 2 = 2.03$ $0.606 \times 1.549 \times 1 = 0.94$	2.97	>	2.05	AW 18 AW 19	$0.606 \times 0.649 \times 2 = 0.79$ $0.606 \times 0.649 \times 1 = 0.39$	1.18	>	0.82			
	訓練作業室 2	166.89m2	AW 16 AW 17	$1.500 \times 1.000 \times 2 \times 3 = 9.00$ $1.500 \times 1.575 \times 2 \times 3 = 14.18$ $1.500 \times 1.000 \times 2 \times 3 = 9.00$ $1.500 \times 1.575 \times 2 \times 3 = 14.18$	46.36	>	23.84	AW 16 AW 17	$0.656 \times 1.549 \times 3 = 3.05$ $0.656 \times 1.549 \times 3 = 3.05$ $1.200 \times 2.000 \times 1 = 1.20$ $1.140 \times 0.544 \times 1 = 0.62$ 不足分は機械換気計算表による	7.92	>	8.34	AW 16 AW 17 AD 4	$0.656 \times 0.649 \times 3 = 1.28$ $0.656 \times 0.649 \times 3 = 1.28$ $1.140 \times 0.544 \times 1 = 0.62$ $1.540 \times 0.544 \times 1 = 0.84$ ※排煙上同一区画の為、合算して検討。	4.02	>	3.70			
	廊下 3	18.00m2																		

採光補正係数の算定：A = $\frac{d}{h} \times 8 - 1 = 1.670 / 6.510 \times 10 - 1 = 1.56$ ∴ A ≥ 1を確認できたため、計算上はすべてA = 1.0として算定。
(対象のうち最も条件の悪い部分にて算定)

消防法必要開口面積							
階	床面積	必要開口面積 (1/30)	有効開口面積 (㎡)				判定
1 階	496.40	16.55	AW-1	$1.435 \times 1.000 \times 2$	2.87	21.46	OK
			AW-2	$1.500 \times 1.675 \times 1$	2.51		
			AW-3	$1.800 \times 1.675 \times 2$	6.03		
			AW-6	$1.500 \times 1.675 \times 1$	2.51		
			AW-7	$1.500 \times 1.675 \times 1$	2.51		
			AW-8	$1.500 \times 1.675 \times 2$	5.03		
2 階	496.40	16.55	AW-11	$1.500 \times 1.575 \times 1$	2.36	20.72	OK
			AW-13	$1.800 \times 1.575 \times 2$	5.67		
			AW-17	$1.500 \times 1.575 \times 2$	4.73		
			AW-18	$1.500 \times 1.575 \times 1$	2.36		
			AD-5	$1.600 \times 2.000 \times 1$	3.20		
			AD-6	$1.200 \times 2.000 \times 1$	2.40		

記号・数量	AW1 × 1 カーテンボックス詳細図	AW2 × 1 カーテンボックス詳細図	AW3 × 2 カーテンボックス詳細図	AW4 × 2 カーテンボックス詳細図	AW5 × 1 カーテンボックス詳細図	AW6 × 3 カーテンボックス詳細図
形状						
場所	1 F 発達支援室	1 F 事務室	1 F 地域交流相談室、らいとほうす事務室	1 F 脱衣室	1 F 浴室	1 F 事務室、静養室 3
形式	ラン外倒し窓付きFix連窓 鉄骨半外付けサッシ	Fix窓付たてすべり出し連窓 鉄骨半外付けサッシ	引違い窓 鉄骨半外付けサッシ	引違い窓 鉄骨半外付けサッシ	引違い窓 鉄骨半外付けサッシ	引違い窓 鉄骨半外付けサッシ
見込	70mm	70mm	70mm	70mm	70mm	70mm
材質・仕上	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー
硝子	Fix部:Low-E5+A6+TPXJ5、ラン:Low-E5+A6+FL5	Low-E5+A6+FL5	Low-E5+A6+型板5	Low-E4+A6+型4	Low-E4+A6+型板5	Low-E5+A6+型板5
金物	付属金物一式、二重水切り、隠ぺいオペレータ	付属金物一式、二重水切り、グレモンハンドル	付属金物一式、二重水切り、クレセント	付属金物一式、二重水切り、クレセント	付属金物一式、二重水切り、クレセント	付属金物一式、二重水切り、クレセント
備考	3方アルミ額縁(L=190)、7ℓミカーテンボックス	3方アルミ額縁(L=190)、7ℓミカーテンボックス	3方アルミ額縁(L=190)、7ℓミカーテンボックス	4方アルミ額縁(L=190)	4方アルミ額縁(L=190)	3方アルミ額縁(L=190)、7ℓミカーテンボックス
	上部固定網戸	ブリーツ網戸	可動網戸	可動網戸	可動網戸	可動網戸

記号・数量	AW7 × 1 カーテンボックス詳細図	AW8 × 1 カーテンボックス詳細図	AW9 × 1 カーテンボックス詳細図	AW10 × 3 カーテンボックス詳細図	AW11 × 1 カーテンボックス詳細図
形状					
場所	1 F 訓練作業室 1	1 F 訓練作業室 1	1 F セラビーベンチ	1 F 図示	2 F ブレイルームB
形式	Fix窓付たてすべり出し連窓 RC枠サッシ	複合連窓 RC枠サッシ	Fix窓付たてすべり出し連窓 鉄骨半外付けサッシ	たてすべり出し窓 鉄骨半外付けサッシ	Fix窓付たてすべり出し連窓 鉄骨半外付けサッシ
見込	70mm	70mm	70mm	70mm	70mm
材質・仕上	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー
硝子	腰:Low-E5+A6+TPXJ5、Low-E5+A6+FL5	腰:Low-E5+A6+TPXJ5、Low-E5+A6+FL5	Low-E5+A6+FL5	Low-E4+A6+型板4	Low-E5+A6+FL5
金物	付属金物一式、四周外水切り、グレモンハンドル	付属金物一式、四周外水切り、グレモンハンドル、隠ぺいオペレータ	付属金物一式、二重水切り、グレモンハンドル	付属金物一式、二重水切り、グレモンハンドル	付属金物一式、二重水切り、グレモンハンドル
備考	3方アルミ額縁(L=190)、7ℓミカーテンボックス	3方アルミ額縁(L=190)、7ℓミカーテンボックス	3方アルミ額縁(L=190)、7ℓミカーテンボックス	4方アルミ額縁(L=190)	3方アルミ額縁(L=190)、7ℓミカーテンボックス
	ブリーツ網戸	ブリーツ網戸	ブリーツ網戸	ブリーツ網戸	ブリーツ網戸

記号・数量	AW12 × 1 カーテンボックス詳細図	AW13 × 2 カーテンボックス詳細図	AW14 × 3 カーテンボックス詳細図	AW15 × 1 カーテンボックス詳細図	AW16 × 1 カーテンボックス詳細図
形状					
場所	2 F 厨房	2 F 食堂、静養室 4	2 F 男子WC、女子WC、WC(居室)	2 F 居室	2 F 訓練作業室 2
形式	ラン外倒し連窓 鉄骨半外付けサッシ	引違い窓 鉄骨半外付けサッシ	たてすべり出し窓 鉄骨半外付けサッシ	引違い窓 鉄骨半外付けサッシ	Fix窓付たてすべり出し連窓 RC枠サッシ
見込	70mm	70mm	70mm	70mm	70mm
材質・仕上	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー
硝子	Low-E5+A6+FL5	Low-E5+A6+型5	Low-E4+A6+型板4	Low-E5+A6+FL5	腰:Low-E5+A6+TPXJ5、Low-E5+A6+FL5
金物	付属金物一式、二重水切り、隠ぺいオペレータ	付属金物一式、二重水切り、クレセント	付属金物一式、二重水切り、グレモンハンドル	付属金物一式、二重水切り、クレセント	付属金物一式、四周外水切り、グレモンハンドル
備考	4方アルミ額縁(L=190)	3方アルミ額縁(L=190)、7ℓミカーテンボックス	4方アルミ額縁(L=190)	3方アルミ額縁(L=190)、7ℓミカーテンボックス	2方アルミ額縁(L=190)、7ℓミカーテンボックス
	上部固定網戸	可動網戸	ブリーツ網戸	可動網戸	ブリーツ網戸

記号・数量	AW 17 × 1	AW 18 × 1	AW 19 × 2	AW 20 × 2	AW 21 × 2
形状					
場所	2 F 訓練作業室2	2 F 作業室	2 F 作業室、物置2	階段室	2 F プレイルームA、プレイルームB
形式	複合連窓 RC枠サッシ	Fix窓付たてすべり出し連窓 鉄骨半外付けサッシ	たてすべり出し窓 鉄骨半外付けサッシ	Fix窓 鉄骨半外付けサッシ	Fix窓付たてすべり出し連窓 鉄骨半外付けサッシ
見込	70mm	70mm	70mm	70mm	70mm
材質・仕上	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー
硝子	腰:Low-E5+A6+TP2リ5、Low-E5+A6+FL5	Low-E5+A6+FL5	Low-E4+A6+型板4	Low-E4+A6+FL4	Low-E5+A6+FL5
金物	付属金物一式、四周外水切り、グレモンハンドル、隠ぺいオベレータ	付属金物一式、二重水切り、グレモンハンドル	付属金物一式、二重水切り、グレモンハンドル	付属金物一式、二重水切り	付属金物一式、二重水切り、グレモンハンドル
備考	2方アルミ額縁(L=190)、7ミリカーテンボックス	3方アルミ額縁(L=190)、7ミリカーテンボックス	4方アルミ額縁(L=190)	4方アルミ額縁(L=190)	3方アルミ額縁(L=190)、7ミリカーテンボックス
	ブリーツ網戸	ブリーツ網戸	ブリーツ網戸		ブリーツ網戸

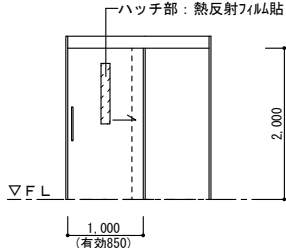
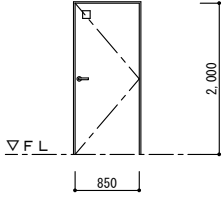
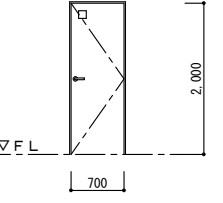
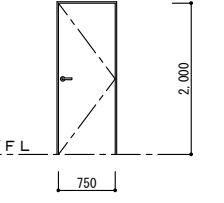
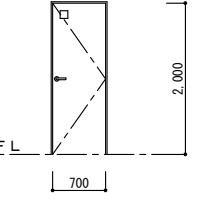
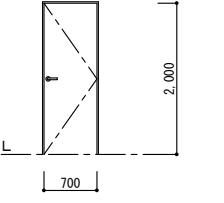
記号・数量	AW 22 × 1	AW 23 × 2	AW 24 × 1	AD 1 × 1	AD 2 × 1	AD 3 × 1
形状						
場所	2 F 厨房	1 F 廊下2、物入3	1 F 事務室	1 F 玄関1	1 F 玄関2	1 F 地域交流相談室
形式	ランマ外倒し窓付き引違い窓 鉄骨半外付けサッシ	Fix窓 鉄骨半外付けサッシ	引違い窓	ランマ外倒し窓付片引き上吊り框ドア	ランマ外倒し窓付2枚連動自動ドア	片引き上吊り框ドア
見込	70mm	70mm	70mm	70mm	70mm	70mm
材質・仕上	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー
硝子	Low-E5+A6+FL5	Low-E4+A6+型板4	TP5	TP10、ランマ: Low-E5+A6+FL5	TP10、ランマ: Low-E5+A6+FL5	TP2リ6
金物	付属金物一式、二重水切り、クレセント	付属金物一式、二重水切り	付属金物一式	付属金物一式、隠ぺいオベレータ、SUS引き棒L600	付属金物一式、隠ぺいオベレータ(AD4連動)	付属金物一式、SUS引き棒L600
備考	4方アルミ額縁(L=190)、7ミリカーテンボックス	4方アルミ額縁(L=190)	片側4方アルミ額縁(L=80)	飛散フィルム貼り	自動ドアエンジンボックス、飛散フィルム貼り、電気錠	全面フロスト調飛散フィルム貼り
	隠ぺいオベレータ、可動網戸			3方7ミリ額縁(L=190)、下端SUS沓摺	3方7ミリ額縁(L=190)、下端SUS沓摺	3方7ミリ額縁(L=190)、下端SUS沓摺

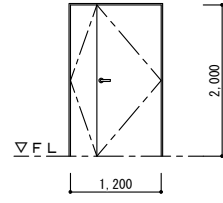
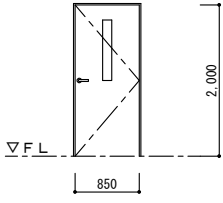
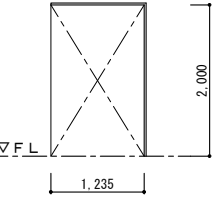
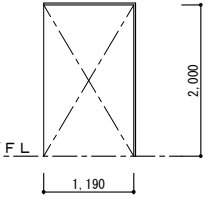
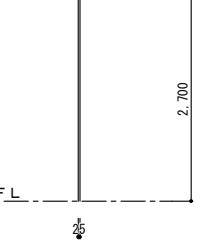
記号・数量	AD 4 × 1	AD 5 × 1	AD 6 × 1	AF 1 × 1	AF 2 × 1	AF 3 × 1
形状						
場所	1 F 玄関2	2階 廊下3	2階 廊下4	1 F 脱衣室	1 F 浴室	2 F 厨房
形式	ランマ外倒し窓付片引き2枚連動自動ドア	ランマ外倒し窓付両開きカマチ扉 鉄骨半外付けサッシ	ランマ外倒し窓付親子開きカマチ扉 鉄骨半外付けサッシ	壁一方枠	壁変形枠	三方枠
見込	70mm	70mm	70mm	120mm	200mm	120mm
材質・仕上	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー	アルミサッシ カラー
硝子	TP10、ランマ: FL5	腰: アルミ断熱パネル、Low-E4+A6+FL4	腰: アルミ断熱パネル、Low-E4+A6+FL4	---	---	---
金物	付属金物一式、隠ぺいオベレータ、SUS引き棒L600	レバーハンドル、隠ぺいオベレータ、	レバーハンドル、隠ぺいオベレータ、			
備考	自動ドアエンジンボックス、飛散フィルム貼り	ドアチェック、丁番、3方7ミリ額縁(L=190)	ドアチェック、丁番、3方7ミリ額縁(L=190)			
	片面3方7ミリ額縁(L=80)	下端SUS水切り	下端SUS水切り			

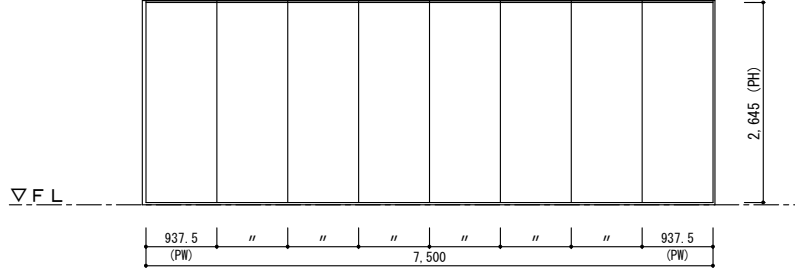
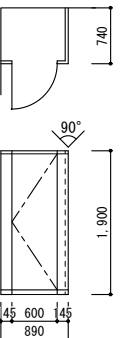
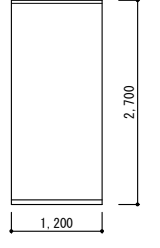
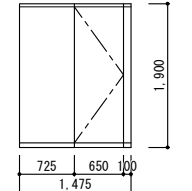
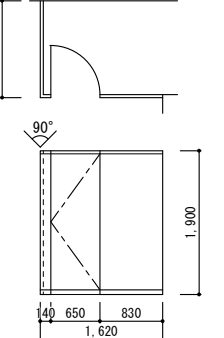
記号・数量	SD 1 × 1	SD 2 × 2	SD 3 × 2	SD 4 × 2	SD 5 × 2	SD 6 × 2
形状						
場所	1 F 前室 1	1 F 前室 2、発達支援室	1 F 相談室 1、静養室 1	1 F らいとほす事務室、地域交流相談室	1 F 事務室	1 F 前室 2
形式	片引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (内動納まり)	片引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (外動納まり)	片引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (外動納まり)	片引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (外動納まり)	片引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (外動納まり)	片引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (外動納まり)
見込	40 (150) mm	40 (150) mm	40 (150) mm	40 (150) mm	40 (150) mm	40 (150) mm
材質・仕上	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装
硝子	t 57 クリルフロスト調	t 57 クリルフロスト調	t 57 クリルフロスト調	t 57 クリル透明	t 57 クリル透明	---
金物	付属金物一式, エンドストップ-, RG窓, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部サムターン) ※高めの位置に取付け	付属金物一式, エンドストップ-, RG窓, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部サムターン) ※高めの位置に取付け	付属金物一式, エンドストップ-, RG窓, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部サムターン)	付属金物一式, エンドストップ-, RG窓, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部サムターン)	付属金物一式, エンドストップ-, RG窓, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部サムターン)	付属金物一式, エンドストップ-, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部サムターン)
備考	スムード SS 同等品 【三和シャッター】	スムード SS 同等品 【三和シャッター】	スムード SS 同等品 【三和シャッター】	スムード SS 同等品 【三和シャッター】	スムード SS 同等品 【三和シャッター】	スムード SS 同等品 【三和シャッター】

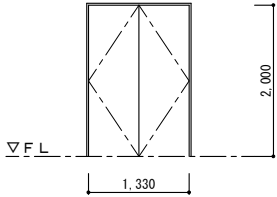
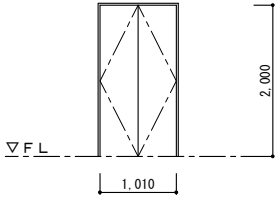
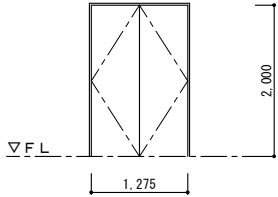
記号・数量	SD 7 × 1	SD 8 × 3	SD 9 × 2	SD 10 × 2	SD 11 × 1	SD 12 × 1
形状						
場所	1 F 物置 1	1 F 静養室 2、3、2 F 作業室	1 F 脱衣室	2 F ブレイルーム A、B	2 F 厨房	2 F 階段
形式	片引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (外動納まり)	二連引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (内動納まり)	二連引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (内動納まり)	片引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (外動納まり)	片引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (内動納まり)	片引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (外動納まり)
見込	40 (150) mm	40 (150) mm	40 (150) mm	40 (150) mm	40 (150) mm	40 (150) mm
材質・仕上	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装
硝子	---	t 57 クリルフロスト調	t 4 FL	t 57 クリル透明	---	---
金物	付属金物一式, エンドストップ-, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部サムターン)	付属金物一式, エンドストップ-, RG窓, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部サムターン)	付属金物一式, エンドストップ-, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部サムターン)	付属金物一式, エンドストップ-, RG窓, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部サムターン)	付属金物一式, エンドストップ-, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部サムターン)	付属金物一式, エンドストップ-, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部サムターン)
備考	スムード SS 同等品 【三和シャッター】	スムード SS 同等品 【三和シャッター】	スムード SS 同等品 【三和シャッター】	スムード SS 同等品 【三和シャッター】	スムード SS 同等品 【三和シャッター】	スムード SS 同等品 【三和シャッター】

記号・数量	SD 13 × 1	SD 14 × 1	SD 15 × 1	SD 16 × 1	SD 17 × 1	SD 18 × 1
形状						
場所	2 F 男子 WC	2 F 多目的 WC	2 F 女子 WC	2 F 相談室 2	2 F 物置 3	2 F 静養室 4
形式	片引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (外動納まり)	片引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (外動納まり)	片引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (内動納まり)	片引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (外動納まり)	片引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (外動納まり)	片引きフラッシュ自閉式ハガー ドア (外動納まり)
見込	40 (150) mm	40 (150) mm	40 (150) mm	40 (150) mm	40 (150) mm	40 (150) mm
材質・仕上	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装	扉: t0.5 スチール垂鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6 扉同材焼付塗装
硝子	t 4 FL	---	t 4 FL	t 57 クリル透明	---	t 57 クリルフロスト調
金物	付属金物一式, エンドストップ-, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部空錠)	付属金物一式, エンドストップ-, SUS引き棒L600 表示錠 (内部サムターン)	付属金物一式, エンドストップ-, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部空錠)	付属金物一式, エンドストップ-, RG窓, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部空錠)	付属金物一式, エンドストップ-, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部サムターン)	付属金物一式, エンドストップ-, RG窓, SUS引き棒L600 シリンダー錠 (内部サムターン)
備考	スムード SS 同等品 【三和シャッター】	スムード SS 同等品 【三和シャッター】	スムード SS 同等品 【三和シャッター】	スムード SS 同等品 【三和シャッター】	スムード SS 同等品 【三和シャッター】	スムード SS 同等品 【三和シャッター】

記号・数量	$\frac{SD}{19} \times 1$	$\frac{LSD}{1} \times 1$	$\frac{LSD}{2} \times 2$	$\frac{LSD}{3} \times 1$	$\frac{LSD}{4} \times 2$	$\frac{LSD}{5} \times 1$
形状						
場所	2 F 個室	1階 便所1	1 F 便所2、 2 F WC (個室)	1階 ロッカー室	1階 職員便所1、 2	1階 洗濯室
形式	重量片引きフラッシュ自閉式ハッチドア(外動納まり)	鋼製軽量片開き扉フラッシュ	鋼製軽量片開き扉フラッシュ	鋼製軽量片開き扉フラッシュ	鋼製軽量片開き扉フラッシュ	鋼製軽量片開き扉フラッシュ
見込	40(150)mm	40(枠:150)mm	40(枠:150)mm	40(枠:150)mm	40(枠:150)mm	40(枠:150)mm
材質・仕上	扉: t1.6スチール亜鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6扉同材焼付塗装	扉: t0.6スチール亜鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6扉同材 SOP塗	扉: t0.6スチール亜鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6扉同材 SOP塗	扉: t0.6スチール亜鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6扉同材 SOP塗	扉: t0.6スチール亜鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6扉同材 SOP塗	扉: t0.6スチール亜鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6扉同材 SOP塗
硝子	TP6	t 4FL	t 4FL	---	t 4FL	---
金物	付属金物一式, エントストッパー, RG窓, SUS引き棒L600 下端溝型レールタイプ, シリンダー錠 (両側)	レバーハンドル、丁番、ドアチェック 表示付錠 (内部サムターン)	レバーハンドル、丁番、ドアチェック 表示付錠 (内部サムターン)	レバーハンドル、丁番、ドアチェック 表示付錠 (内部サムターン)	レバーハンドル、丁番、ドアチェック 表示付錠 (内部サムターン)	レバーハンドル、丁番、ドアチェック シリンダー錠 (内部サムターン)
備考	スレート SS 同等品 【三和シャッター】	扉内遮音GW16kg充填	扉内遮音GW16kg充填	扉内遮音GW16kg充填	扉内遮音GW16kg充填	扉内遮音GW16kg充填

記号・数量	$\frac{LSD}{6} \times 1$	$\frac{LSD}{7} \times 1$	$\frac{SF}{1} \times 1$	$\frac{SF}{2} \times 1$	$\frac{SF}{3} \times 1$	
形状						
場所	2階 物置2	2階 廊下4	1階 廊下2	1階 物入3	2階 作業訓練室2	
形式	鋼製軽量親子開き扉フラッシュ	鋼製軽量片開き扉フラッシュ	2方枠	2方枠	1方枠	
見込	40(枠:150)mm	40(枠:150)mm	150mm	150mm	150mm	
材質・仕上	扉: t0.6スチール亜鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6扉同材 SOP塗	扉: t0.6スチール亜鉛メッキ鋼板, 枠: t1.6扉同材 SOP塗	t1.6スチール亜鉛メッキ鋼板 SOP塗	t1.6スチール亜鉛メッキ鋼板 SOP塗	t1.6スチール亜鉛メッキ鋼板 SOP塗	
硝子	---	t 57クリア透明			---	
金物	レバーハンドル、丁番、ドアチェック、フランス落とし シリンダー錠 (内部サムターン)	レバーハンドル、丁番、ドアチェック シリンダー錠 (内部サムターン)				
備考						

記号・数量	$\frac{PT}{1} \times 1$	$\frac{PT}{2} \times 1$	$\frac{PT}{3} \times 1$	$\frac{PT}{4} \times 2$	$\frac{PT}{5} \times 1$
形状	収納レイト An ターン 				
場所	2階 ブレイルームA・B間	2階 男子WC	2階 男子WC	2階 男子WC、女子WC	2階 女子WC
形式	移動間仕切	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース
見込	67mm	40mm	40mm	40mm	40mm
材質・仕上	指定色焼付塗装鋼板、ペーパーコート	化粧シート仕上、MDF下地	化粧シート仕上、MDF下地	化粧シート仕上、MDF下地	化粧シート仕上、MDF下地
硝子	---	---	---	---	---
金物	付属金物一式	戸当たり帽子掛け、SUS巾木	SUS巾木	戸当たり帽子掛け、SUS巾木 表示付スライドロック (非常時開錠付)	戸当たり帽子掛け、SUS巾木 表示付スライドロック (非常時開錠付)
備考	60VS (接床仕様) 均等割タイプ 【小松ウォール】	TB-SPHタイプ 同等品 【小松ウォール】	TB-SPHタイプ 同材 【小松ウォール】	TB-SPHタイプ 同等品 【小松ウォール】	TB-SPHタイプ 同等品 【小松ウォール】

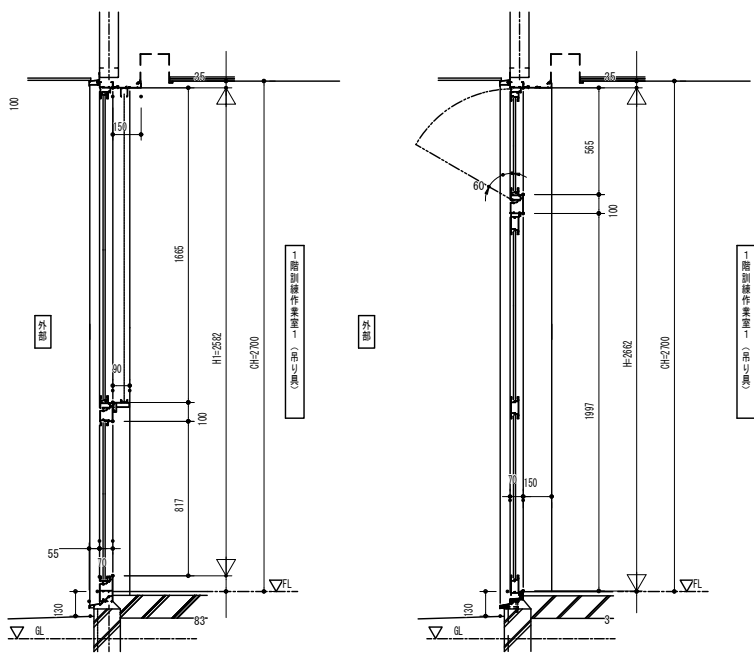
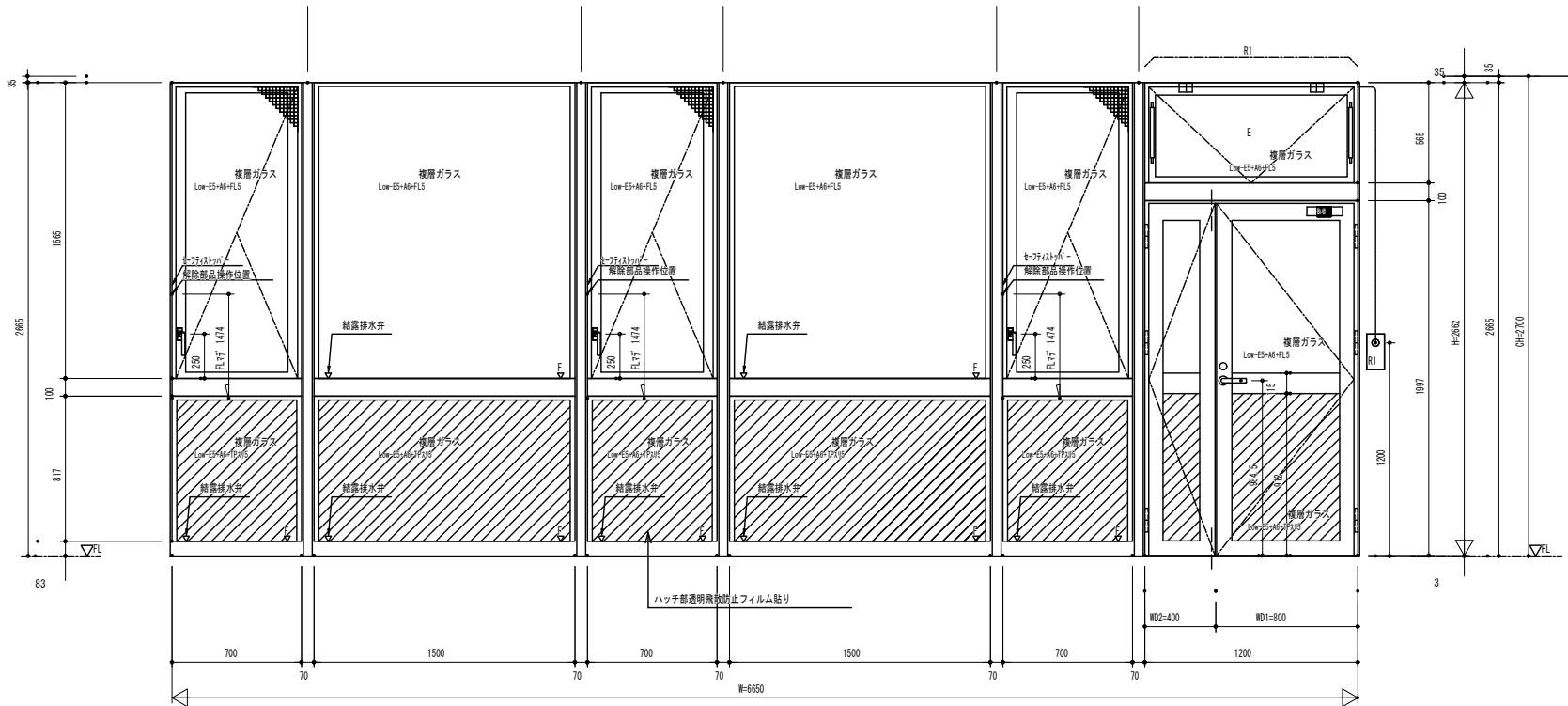
記号・数量	WD 1 × 1	WD 2 × 1	WD 3 × 1			
形状						
場所	1階 物入1	1階 物入2	2階 物入3			
形式	両開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸			
見込	36	36	36			
材質・仕上	扉：既製建材、枠：既製建材	扉：既製建材、枠：既製建材	扉：既製建材、枠：既製建材			
硝子	---	---	---			
金物	クローゼットハンドル、丁番	クローゼットハンドル、丁番	クローゼットハンドル、丁番			
備考	既製建材建具サイズ'オ-ダ'- (Smayell Trend同等)	既製建材建具サイズ'オ-ダ'- (Smayell Trend同等)	既製建材建具サイズ'オ-ダ'- (Smayell Trend同等)			

記号・数量						
形状						
場所						
形式						
見込						
材質・仕上						
硝子						
金物						
備考						

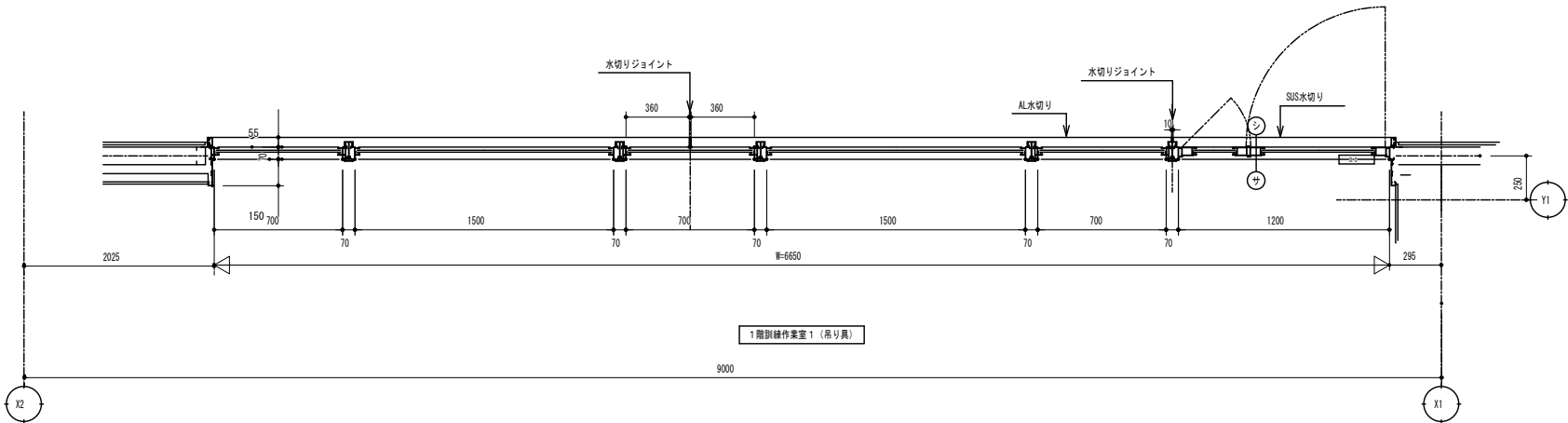
記号・数量						
形状						
場所						
形式						
見込						
材質・仕上						
硝子						
金物						
備考						



内観姿図を示す



外部



建具符号	AW-8	取付場所	1階別棟作業室1 (吊り具)
合計数量	1	カラー区分	色未定
取付仕様	有・無	製品サイズ	EX(MA31(S-G))
網戸	有・無	ガラス厚	3・4・5・6・6.8・窓図参照
	有・無	レーシング法	ガスケット・シー
部品名	品番・型式		数量
結露排水弁	3K31341		14
乾式アンカー	3方		
グレモンハンドル	YKK AP制成品		3
たてすべり出しアーム	YKK AP制成品 50kgタイプ		3
モーフイストッパー (8個設置)	操作つまみ無 ハンドル上部に取付		3
肘子コーナーキャップ式			3
ガイドローラー			3
レバーハンドル錠	奥和 BS38, DT48		1
ドアクローザ	30・21 内付型3付		1
丁番	ドア用		6
戸当り (床取付タイプ)			2
小口キャップ	網戸・子扉戸先側下部		2
フランス差し	上下一式		1
丁番	外側しきり用		3
スタイダンバー	ゴール		2
押釦引手			1
押釦錠			2
収納網戸	ビューネットA型		3
網戸ネット網種	ブラック/ポリエステル網種 18X16mm		

排煙部品欄	メーカー	豊和
	機種	MD-W
	本体	【露出】 隠蔽
	配管	露出・隠蔽
	ボックス型式	
	開閉方式	電動・手動
	開き角度	60°
標準仕様より変更番号	特記	

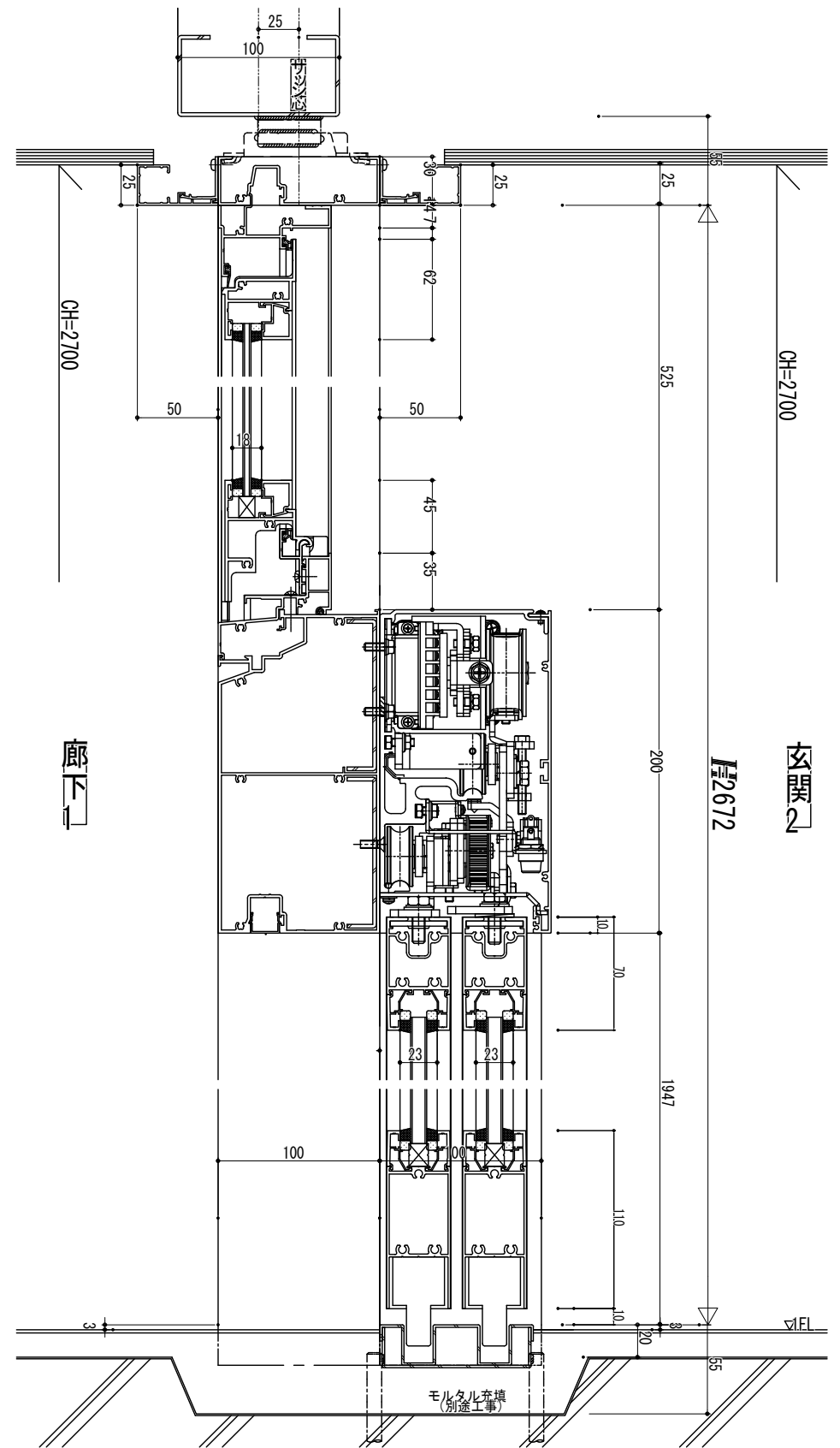
The image displays a set of architectural drawings for a sliding glass door system, including elevation, section, and plan views with detailed dimensions and labels.

Elevation View (Top Left): Shows the front view of the door. The total width is 1800 mm, divided into two 890 mm sections by a 20 mm gap. The top section features two 5 mm thick transparent glass panels (透明ガラス 5mm) with a width of 890 mm each. Below this is a 200 mm high section with a sensor (無目センサー). The main door panels are 10 mm thick reinforced glass (強化ガラス 10mm) with a height of 1200 mm. The total height is 2700 mm (200 mm + 1200 mm + 525 mm). The door is shown in a closed position with arrows indicating the sliding direction. The bottom section has a width of 2200 mm (Wf=672, Ws=1468) and a height of 1947 mm (H=2672).

Section View (Top Right): Shows the side view of the door. The total height is 2700 mm (200 mm + 1200 mm + 525 mm). The door is shown in a closed position with a 45-degree angle. The bottom section has a width of 2200 mm (Wf=672, Ws=1468) and a height of 1947 mm (H=2672).

Section View (Bottom Left): Shows the side view of the door. The total width is 2200 mm (Wf=672, Ws=1468). The door is shown in a closed position with a 45-degree angle. The bottom section has a width of 2200 mm (Wf=672, Ws=1468) and a height of 1947 mm (H=2672).

Plan View (Bottom): Shows the top view of the door. The total width is 2200 mm (Wf=672, Ws=1468). The door is shown in a closed position with a 45-degree angle. The bottom section has a width of 2200 mm (Wf=672, Ws=1468) and a height of 1947 mm (H=2672).



建具符号	AD-4	取付場所	玄関2
合計数量	1	カラー区分	色未定
取付数量仕様	有・無	製品サイズ	EX1MA51e
網戸	有・無	ガラス厚	3・4・5・6・6.8・姿図参照○
		グレージング方式	ガスケット・シール○
部品名	品番・型式		数量
本締り錠	美和D62		1
自動ドアエンジン	寺岡製		1
ステイダンパー	豊和		4
障子コーナーキャップ式	標準		2
サッシ部アンカー	乾式 3方		

排 煙 部 品 欄	メーカー	豊和
	機種	MD-NW
	本体	露出・隠蔽
	配管	露出・埋込
	ボックス型式	
	開閉方式	電動・手動
品 欄	開き角度	45°
	標準納まり図表番号	
	特記	

エレベーター仕様	
号 機 名	NO. 1
型 式	日立機械室レスアープанエースHF Plus B-1000-2S45
用 途	接客用兼車いす用
定格積載質量/定員	1000kg/15人乗
定 格 速 度	45m/min
運 転 方 式	乗合全自動方式（専有運転付）（乗り捨て方式）
制 御 方 式	インバータ制御方式（マイコン制御、愛情アナウンス付）
停 止 階	2箇所（1、2 階）
か こ 寸 法	間口 1500mm 奥行 2500mm 天井高さ 2250mm
出入口寸法	幅 1200mm 高さ 2100mm
戸 型 式	2枚戸片開き
電 動 機	AC 4.6kW
動力用電源	AC 3φ 200V 60Hz
照明用電源	AC 1φ 100V 60Hz
連絡装置	同時通話式インターホン
設置場所	
監 視 装 置	リモートメンテナンスインターフェース付 （リモートメンテナンスを提供するためには、別途保守契約を していただく必要があります）
管制運転	地 震
	火 災
	停 電
	自家発電
建物用途別 標準装備仕様	ケアフロア付
	荷重用樹脂タイル付 ナイロX発生装置付
乗場仕様	1. 2階大枠 ステンレスヘアライン仕上
	乗 場 戸
	1. 2階化粧鋼板
	幕 板
	1. 2階無し
	敷 居
	1. 2階硬質アルミ
乗場仕様	ホールランタン
	1. 2階無し
	インジケーター
	1. 2階 複型デジタル表示 カバパー：ステンレスヘアライン仕上
乗場仕様	ホールボタン
	1. 2階 抗菌古文字ボタン（φ45）（SIAA認証） インジケーターに絡込
かこ仕様	天 井
	スクエアタイプ（S-01）（天井無照明色：白色）
	前 側 板
	化粧鋼板
	側 板
	化粧鋼板
	戸
	化粧鋼板
	出入口上部
	化粧鋼板
	床
	荷重用樹脂タイル（2T）
	幅 木
	化粧鋼板
	敷 居
	硬質アルミ
乗場仕様	ボタ ン
	抗菌古文字ボタン（φ33）（SIAA認証）
	カバ ー
	樹脂成型品（アルミナムシルバー）
	インジケーター
	カラー液晶表示（背景色：白） 操作盤に絡込
	車いす用
	ボタ ン
乗場仕様	ボタ ン
	抗菌古文字ボタン（φ33）（SIAA認証）
	カバ ー
	樹脂成型品（アルミナムシルバー）
乗場仕様	気くばり
	ボタ ン
乗場仕様	カバ ー
	無し
乗場仕様	鏡
	ステンレス製
乗場仕様	ハンドル
	平形ハンドル：アルミアルマイト仕上
乗場仕様	監 視 登
	無し
乗場仕様	耐震クラス
	A14

	NO.1
	昇降機技術基準の解説 2016年版対応
	音声案内装置付 (日・英2カ国語、緊急時4カ国語) (福祉のまちづくり条例対応)
	点字注意銘板付 (横型)
	車いす仕様付
	視覚障がい者仕様付 (全ての操作盤と乗場ボタンに点字銘板付)
	運転停止スイッチ (1階に取付)
	フェッシュプレート付
	メンテナンスサービス提供用カメラ付
	車いす呼び戸開き時間延長
	一般呼び戸開き時間延長
特記仕様	発音式ボタン (かこ)
	非常対応用スピーカー付 (かこ天井上)
	かこ側板保護マット (高さ: 床面から1800mm) 付
	かこ内操作盤非常ボタンに誤操作防止カバー (アクリル製) 付
	車いす操作盤 (主・副) 非常ボタンに誤操作防止カバー (アクリル製) 付
	漏電検出器付
	警報ブザーをかこ上に取付
	かこ内操作盤スイッチボックス内の波型スイッチによるサービス切離 (各階個別)
	乗場設置ダミーボタン暗号操作によるホールボタン一時解除 (各階個別)
	先行簡呼および乗場呼びを強制的に解除する無電圧接点支給
	専用運転切替方式
	非常ボタン連動 無電圧接点支給
	煙感知器点検用ドアスイッチ付
	4mレール使用
	ステンレス材一式: SUS304
	ビット冠水時遅延運転付 (基本仕様)
低行程対応ノ標準	
	-W-

可変電圧可変周波数制御方式(回生なし)

工事区分					
号機名	NO. 1				
項目	工事名	建築	電気	空調	ELV
昇降路	昇降路の築造と調整修正工事 1) 壁または囲いは隙間なきものとする 2) 昇降路の壁又は囲い及び出入口の戸は、任意の50cm ² の面にこれと直角方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合において15mmを超える変形や塑性変形が発生しないこと 3) コンクリート厚さは150mm以上とする 4) コンクリート基準圧縮強度 21N/mm ² 以上とする	○			
	昇降路内鉄骨構造梁の構造耐火処理工事および修繕工事	○			
	各階出入口まわり壁の穴け工事 (出入口、ホールボタン、インターキータ、ホールモニターなど)	○			
	エレベーター据付後の出入口壁	○			
	および床その他建築仕上及び修繕工事	○			
	三方枠、インターキータなどと壁間の防火区画処理				
	三方枠、インターキータなどと壁間のすきま塞ぎ工事 (ふさぎ板またはラスタ材)				○
	ピット内防水仕上工事 (ピット仕上面の水平度は1/200以下)	○			
	並設されたエレベーターの最下階が異なる場合の ピット間仕切り工事 (H=1800以上)	○			
	オーバーヘッド・ピット法が図面と異なる場合の はつづ・埋め戻し工事	○			
	ピット点検用タラップまたは梯子の設置工事				○
	ピット点検用コンセント設置工事 (1台/台)	○			
	インターキータ並びにその他の機器 (放送 (一般・非常) 12 自家発用電源識別装点、火災時警報用接点、防犯カメラ等) 用 配管、配線工事 (配線サイズ、本数は電気設備欄による)	○			
	昇降路最上階の受電設備側の動力電源、照明用電源および 13 アース線の引き込みならびにのりごみ工事 (配線サイズ、本数は電気設備欄による)	○			
	監視室がある場合の監視室用配管配線工事 (監視室設置場所より昇降路最上階の制御盤位置まで引き込み)	○			
	昇降路頂部の煙感知器の設置工事 (昇降路外部から検出点検可能構造) (点検装置は、厚さ1.5mm以上の鉄板製)	○			
	昇降路頂部の煙感知器点検用L1運動停止スイッチ取付	○			○
	リモートメンテナンス用として電話・無線からの 16 昇降路最上階までの配管 (最小直径25mm)、配線工事 (配線サイズ、本数は電気設備欄による)	○			
	昇降路出入口側内壁 (数階下より出入口上部) とかご前扉が 18 125mm以上離れる場合のフェッシャプレート取付用下地設置工事	○			
	昇降路出入口側内壁 (数階下より出入口上部) とかご前扉 19 が125mm以上離れる場合のフェッシャプレート設置工事	○			○
	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事	○			
	昇降路頂部への吊りビーム設置工事	○			
	昇降路内の中間ビーム、ファスナープレート、立柱設置工事	○			
	13 レール・三方枠・数層・ホールボタン・インターキータなどの 固定用鋼材設置工事および調整修正工事	○			
	20 不閉止階の昇降路救出出口の設置工事 (施行令129条の101による)	○			
25 かごドレン式ウーラー設置時のピット排水工事	○				
26 昇降路内温度が40℃超過の場合のウーラー設置工事	○				
27 昇降路内温度が40℃超過の場合の換気扇設置工事	○				
28 昇降路内温度が5℃未満40℃超過の場合の空調設備設置工事	○			○	
その他	エレベーター部品搬入経路の確保 (必要に応じてコンクリートの穴あけおよび埋め戻し工事)	○			
	エレベーター重要部品搬入の際の仮設構造物の貸与	○			
	エレベーター据付工事現場詰所および材料置場の確保	○			
	エレベーター据付工事用電力の供給 (動力用および照明用電源)	○			
	エレベーター運転調整用電力の供給	○			
	5 (動力線および照明用電源線はエレベーター着工前までに 本設電源設備経路で引き込み)	○			
	医療機器、放送用機器、コンピュータ機器などの 6 電源とエレベーター動力用電源およびアース線の系統分離工事	○			
	7 昇降路と居室が隣接する場合の居室側開口および防火工事	○			
	昇降路内建築工事仮床役 (水平表生) 用の 8 金網・デッキプレートなどの敷設工事	○			
	エレベーター着工前の各階出入口開口部の塞ぎ材支給および施工	○			
	出入口が直接外と接する乗場における雨水よけ工事 (庇、水切り等)	○			
	11 昇降路内仮設足場の設置および解体工事	○			
	12 エレベーター承認図と躯体が異なる場合の手直し	○			
13 昇降路がガラスの場合の養生施工および塗装工事	○				
ALU継目の修繕、コンクリート型枠抑え用セパボルト (Pコン) の撤去	○				
15 非常用エレベーター全階乗場への避難経路板設置工事	○				
16 非常用エレベーター乗場水勾配、排水溝、グレーチング施工	○				
17 監視使用電源の監視装置までの引き込み工事	○				

勞基法適用（本設用）： 有（設置届・設置報告）・ 無

標準型寝台用エレベーターの輸送制限について

・ベッドやストレッチャーに患者を乗せて輸送する場合には、250kg以下/回。

電気設備				
号機名	NO. 1			
動力用電源	線 3 φ 200V 60Hz 14mm ² ×1回路 (V) /台			
	線サイズ (mm ²)	8	14	22
	最大引込距離 (m)	60	104	160
	M C B 容量	40A/台		
	トランス容量	5kVA/台		
	起動kVA	17kVA/台		
照明用電源	AC 1 φ 100V 60Hz 5.5mm ² ×1回路/台			
アース線	3.5mm ² (0哩) /台			
インターホン用配管配線	FCPEVO. 9-5P/1台 (200mまで)			
リモートメンテナンス用配管配線 (電話線)	CPEVO. 9-1P, 配管サイズφ25/台 (MDF≧昇降路間)			
ビット点検用コンセント	AC100V 1.5kVA以上×1個/台 (最下階FL+0~200の出入口付近に設置)			
インターホン連動用の無電圧 a 接点支給 及び配管配線	印加電圧DC48V 接点容量1A以下			
火災報知信号無電圧 a 接点支給及び配管配線	印加電圧DC24V 接点容量1A以上/台			
非常放送用スピーカ用配管配線	HP1. 2-2P/台			
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設備ならびに機器の設置場所まで引込み 上記の配管配線はエレベーターの施工までには本配線で行ひ込み			

下記作業については別途見積させていただきます	
1	上記工事区段の「E・L・V」区分以外、或は「注意事項」の内、作業が「E・L・V」となる場合
2	施工作業時間：月曜日～土曜日 8：00～17：00 以外でご用命の場合
3	2階以上の階着しまたは地下階への搬入作業の場合
4	荷下り場所から設置・仮置き場所までの距離が30mを超える場合
5	横引き通路に段差・階段・障害物がある場合
6	搬入に際し、警備員・誘導員および道路使用許可を要する場合
7	床・壁等に養生を必要とする場合
8	エレベーター据付作業以外で立会が発生する場合 (各種完成検査(官庁・消防・竣工・設計・GC)および取扱説明は除く)
9	据付工事短縮を必要とする場合
10	エレベーターを工事用として使用する場合の検査費用・清掃費用・復旧費用・補修費用・保守費用
11	エレベーターを工事用として使用する場合の出入口・か内養生材、養生材設置及び 撤去工事と使用時の専用運転手費用
12	その他特殊な事情がある場合

設備まるごと監視サービス

```

    graph LR
      subgraph "＜昇降路＞"
        E[Elevators] --- M1["※1 遠隔監視診断装置  
(無線通信装置)"]
      end
      subgraph "＜共用部＞"
        W[Water Tank] --- M2["※2 接点変換  
電源AC1φ  
100V0.3A以上"]
        P[Pump] --- M3["※3 装置"]
        F[Fire Alarm] --- M3
      end
      subgraph "＜管理人室等＞"
        M3
      end
      M1 -- "遠隔監視" --> CC["日立  
管制センター"]
      M2 -- "遠隔監視" --> CC
      M3 -- "遠隔監視" --> CC
      CC -- "防災  
発報" --> AC["警備会社"]
  
```

＜昇降路＞

- エレベーター
- ※1 遠隔監視診断装置（無線通信装置）

＜共用部＞

- 受水槽
- ポンプ
- 自動火災報知器

＜管理人室等＞

- ※2 接点変換（電源AC1φ 100V0.3A以上）
- ※3 装置

遠隔監視 → 日立 管制センター

防災発報 → 警備会社

※（株）日立ビルシステムと保全契約を締結頂いた場合、※1, 3印の装置を設置し、昇降機の遠隔監視回線を活用して最大8地点までのビル設備（受水槽やポンプ等）の遠隔監視や防災監視がサービス可能です。

・ビル設備遠隔監視用の専用回線が必要です。

・昇降機、ビル設備の遠隔監視を（株）日立ビルシステムで一括対応可能になります。

・地域により本サービスをご提供できない場合があります。

※2 昇降路と接点変換装置の配線として2芯（1P）の確保をお願いします。

※3 接点変換装置（W390×H330×D141）の設置スペースの確保をお願いします。

メンテナンスサービス提供用カメラ

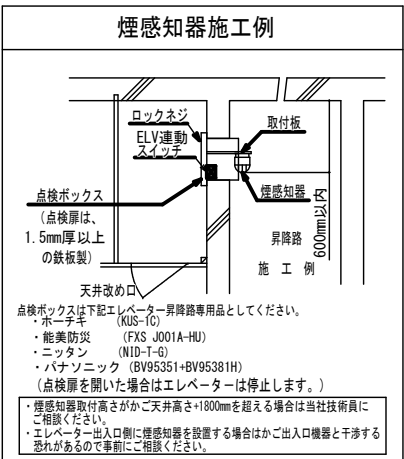
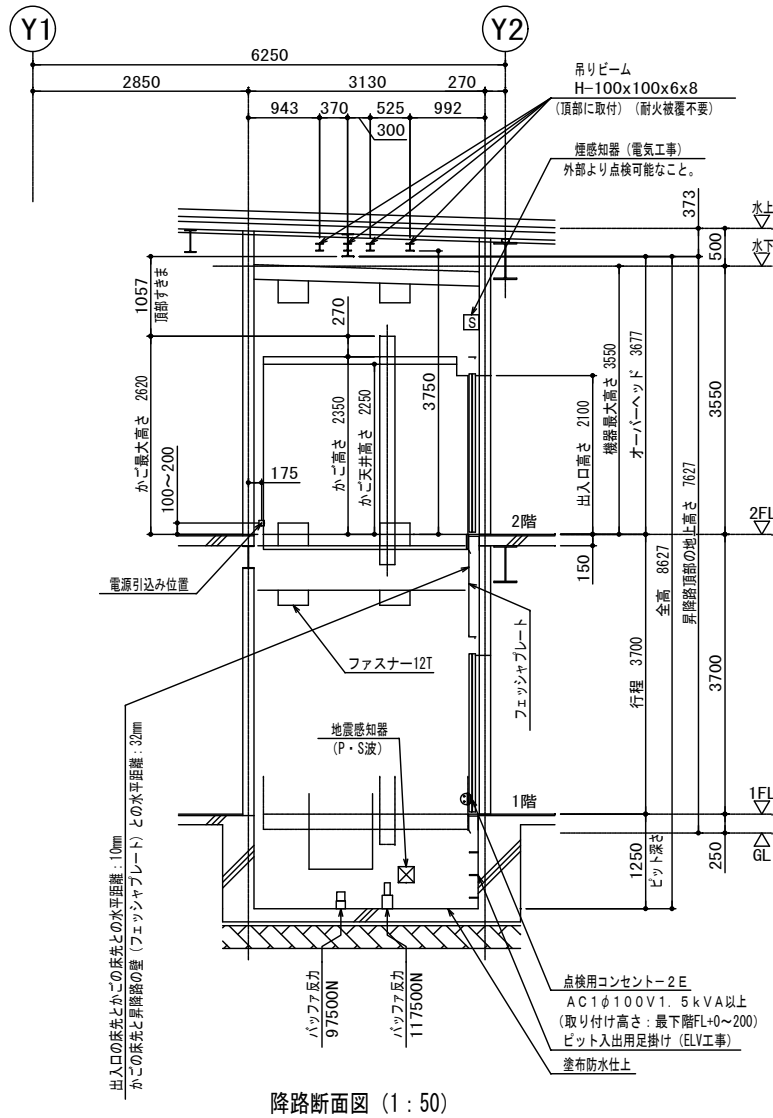
※ 標準型機械室レスエレベータ（型式：P、R、B）対応

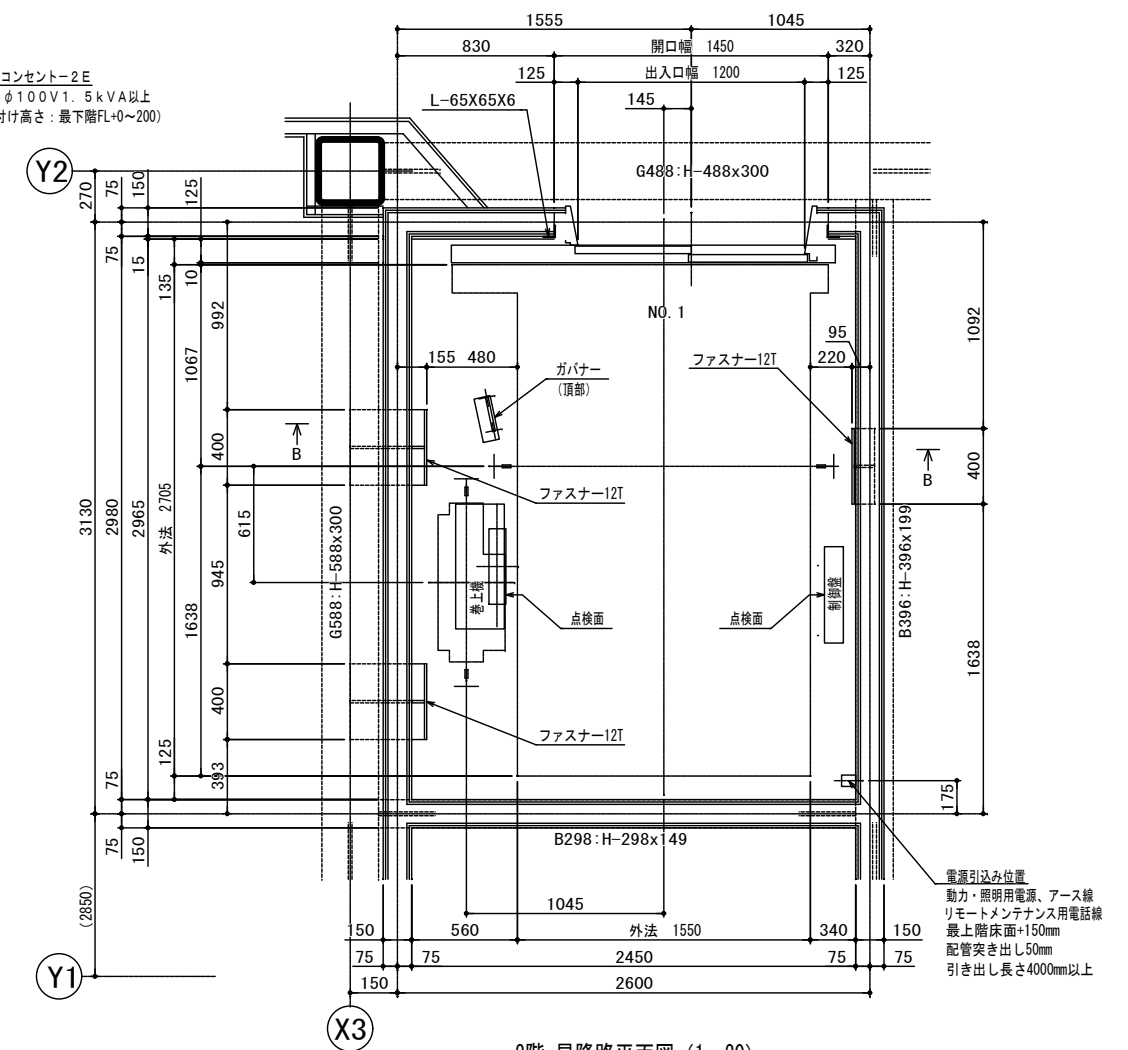
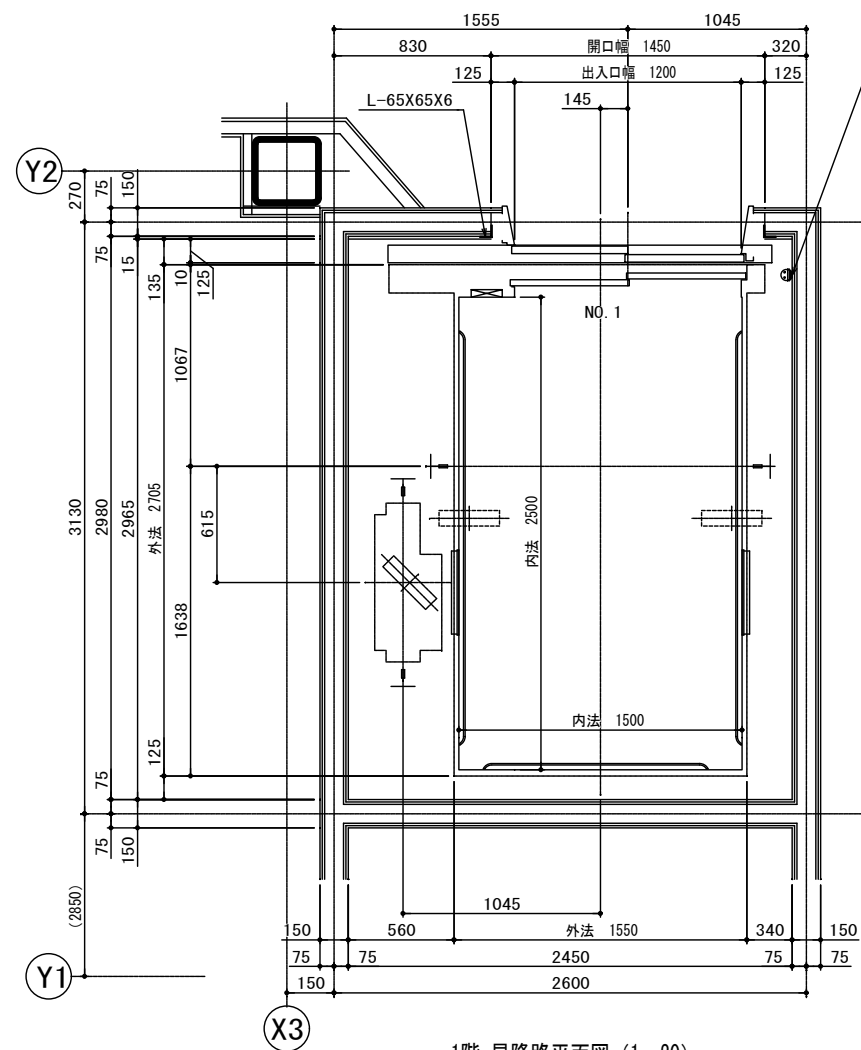
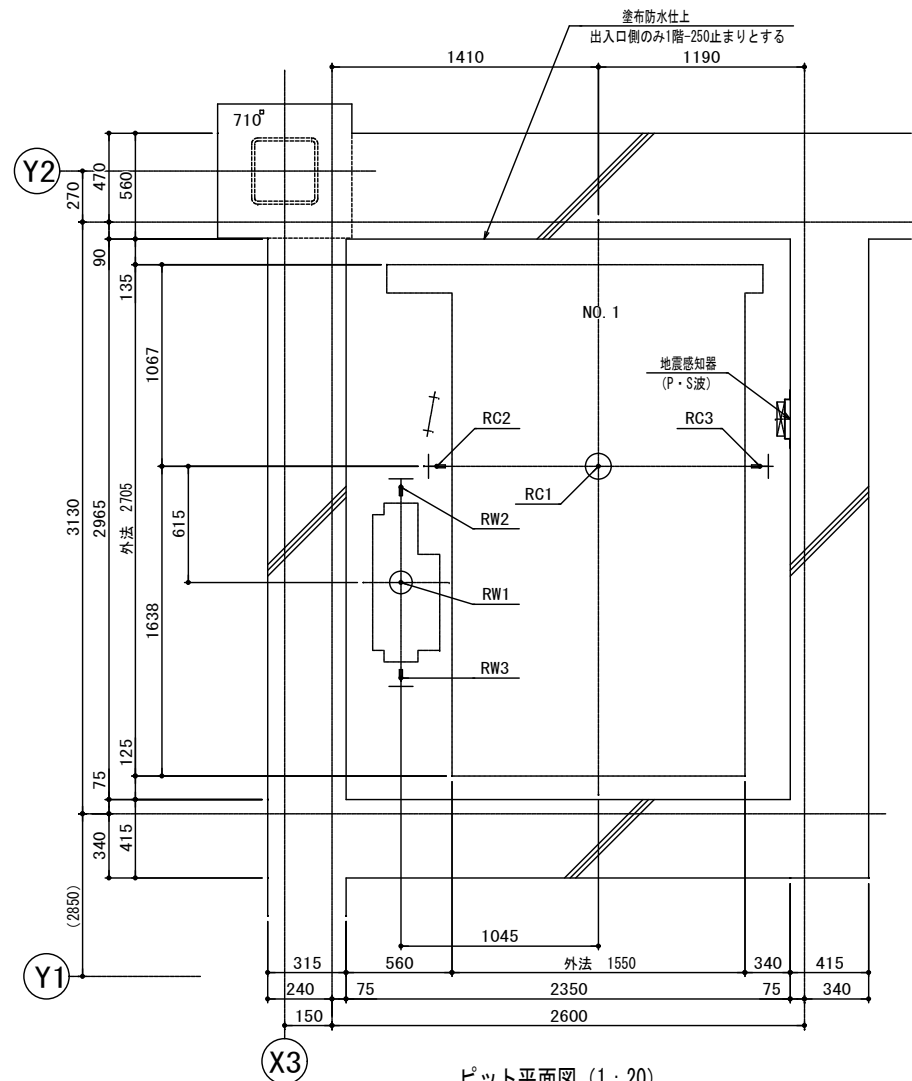
① かご内カメラ

② かご内カメラ映像表示
(かご内液晶インジケータに表示)

③ かご内カメラ映像制御装置

※ ① かご内カメラ、② カメラ映像表示、
③ カメラ映像制御装置のご利用には
(株) 日立ビルシステムとの保全契約が
必要となります。



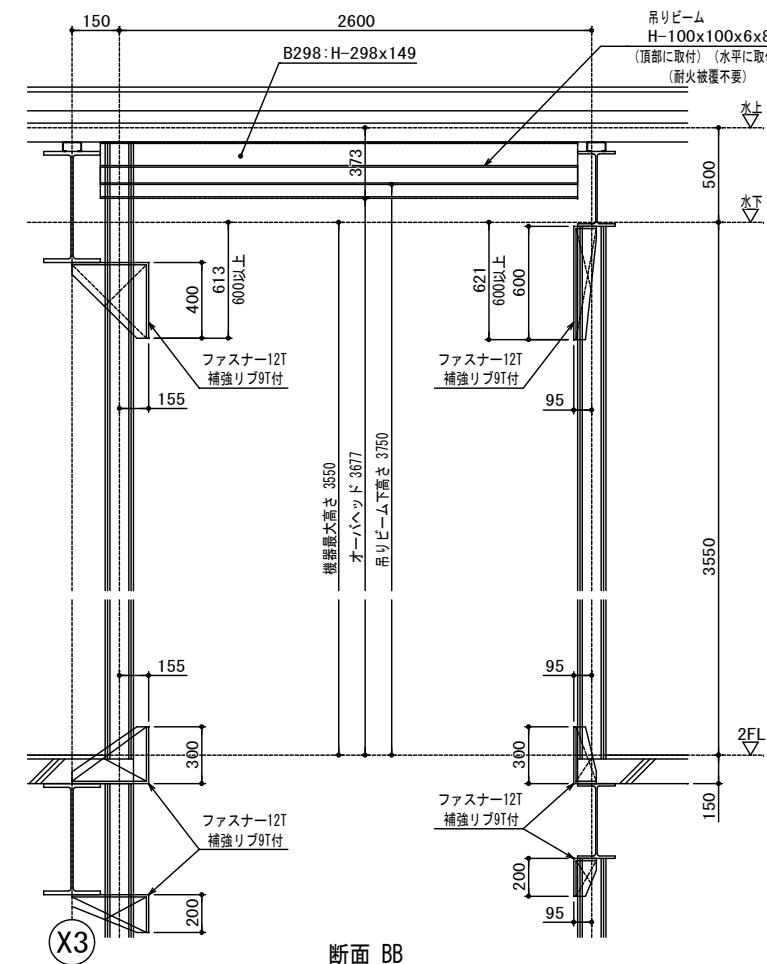
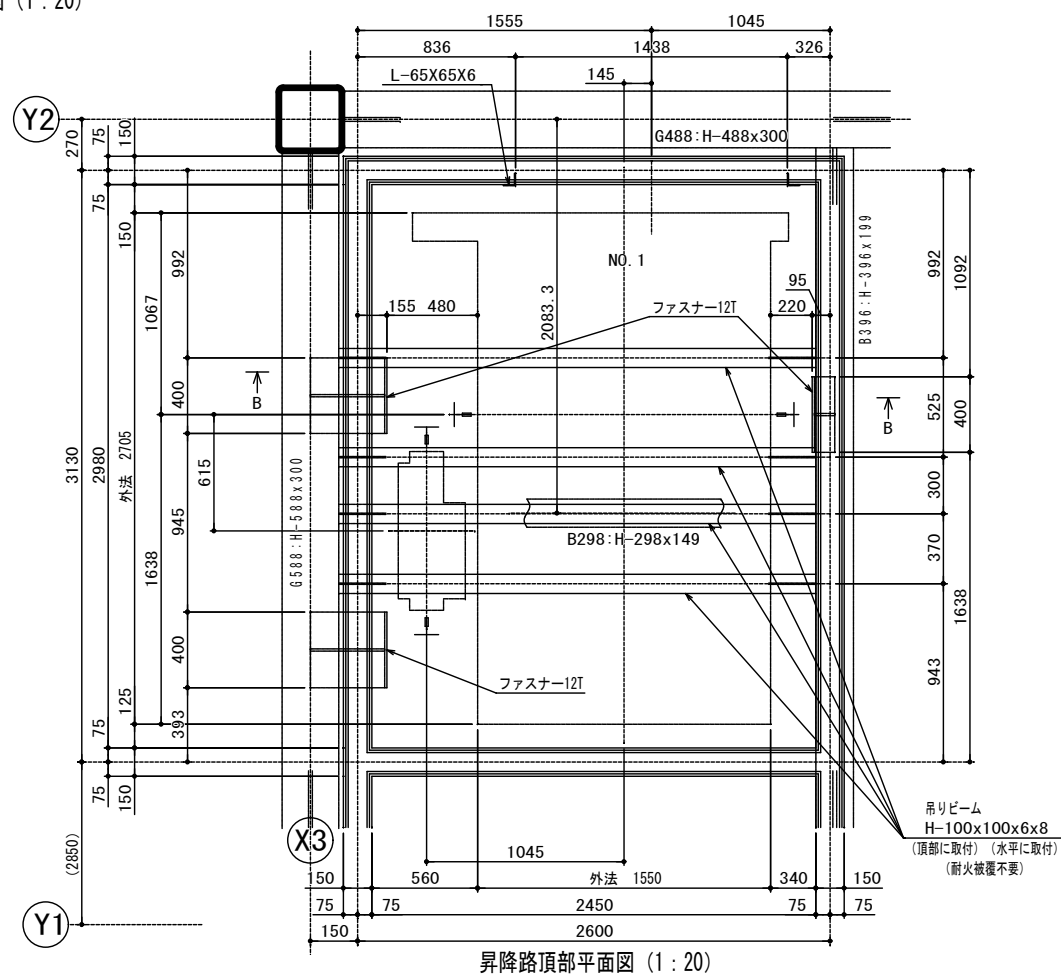


ビット反力値 (N)

	短期荷重		長期荷重			
号機名	RC1	RW1	RC2	RC3	RW2	RW3
NO. 1	117500	97500	8000	34500	51000	38500

コンクリート厚は150mm以上とする

コンクリート基準圧縮強度21N/mm²以上とする

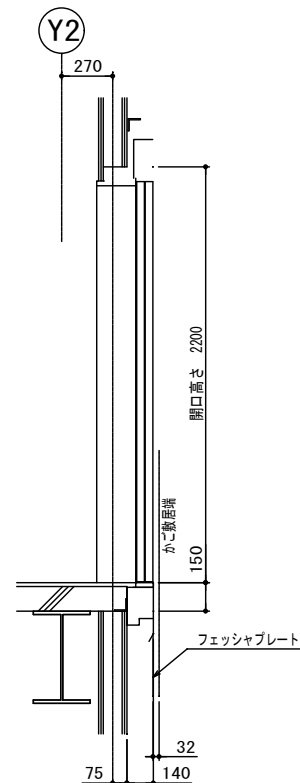
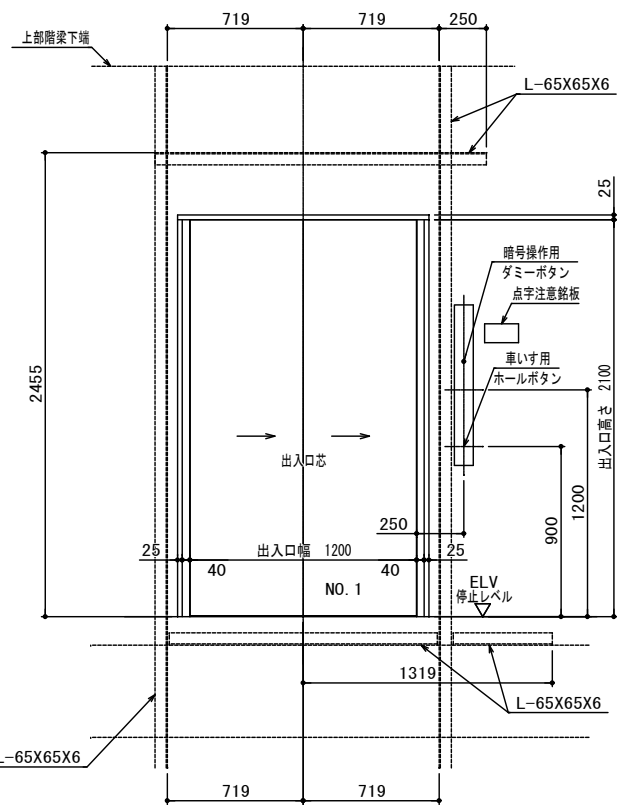
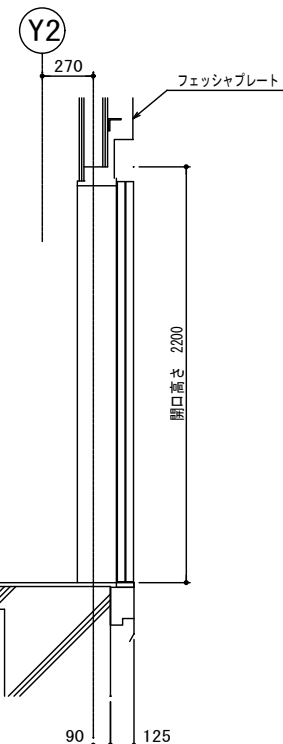
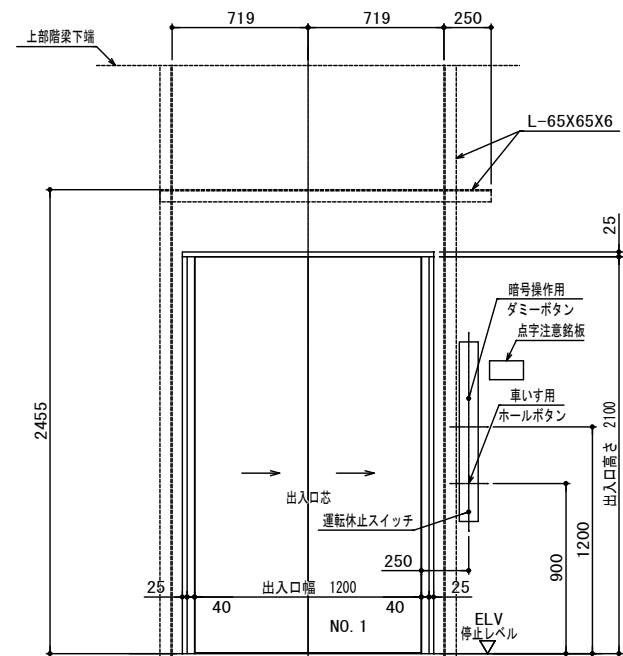
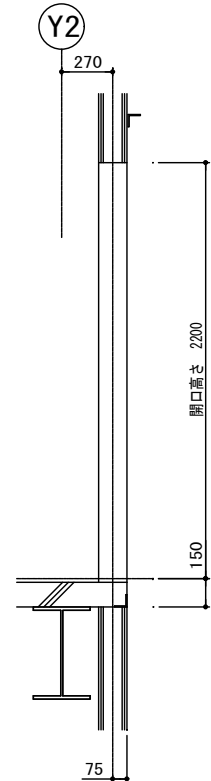
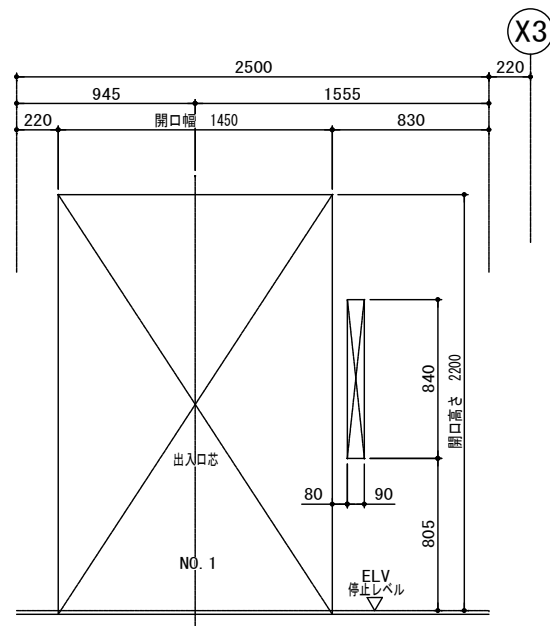
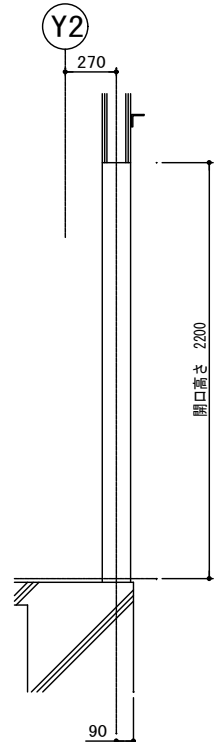
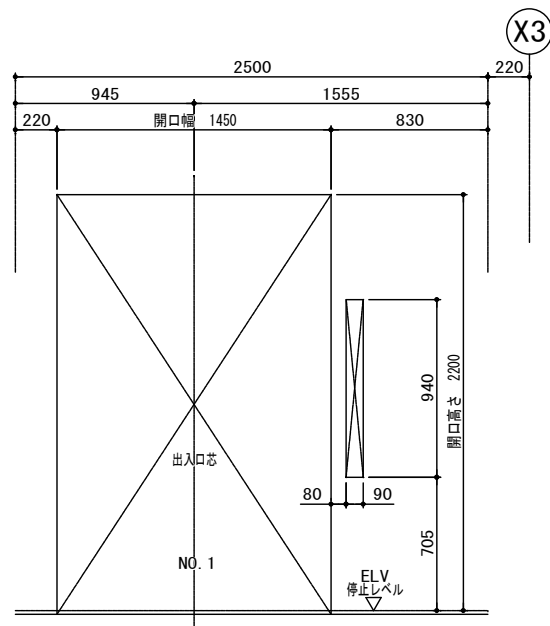


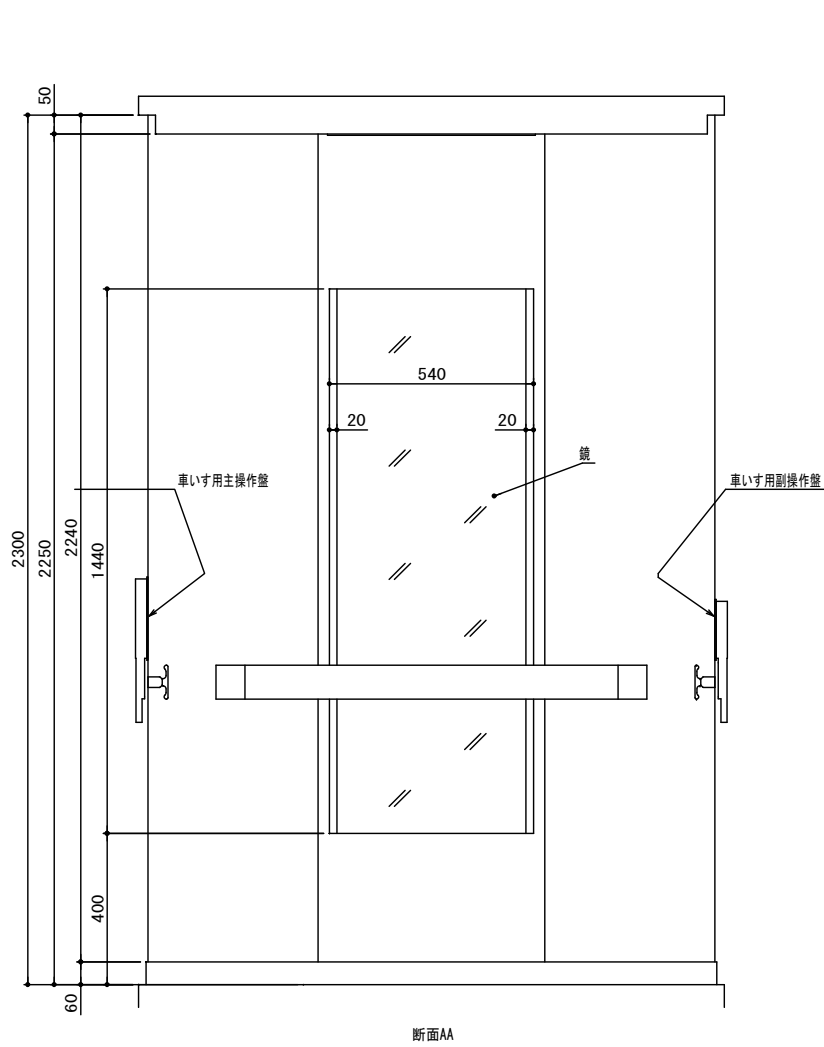
耐震クラス：A14

ガイドレール 部分荷重 (N)	かご側		ウェート側	
	P X	P Y	P X	P Y
NO. 1	6300	3800	9900	4950

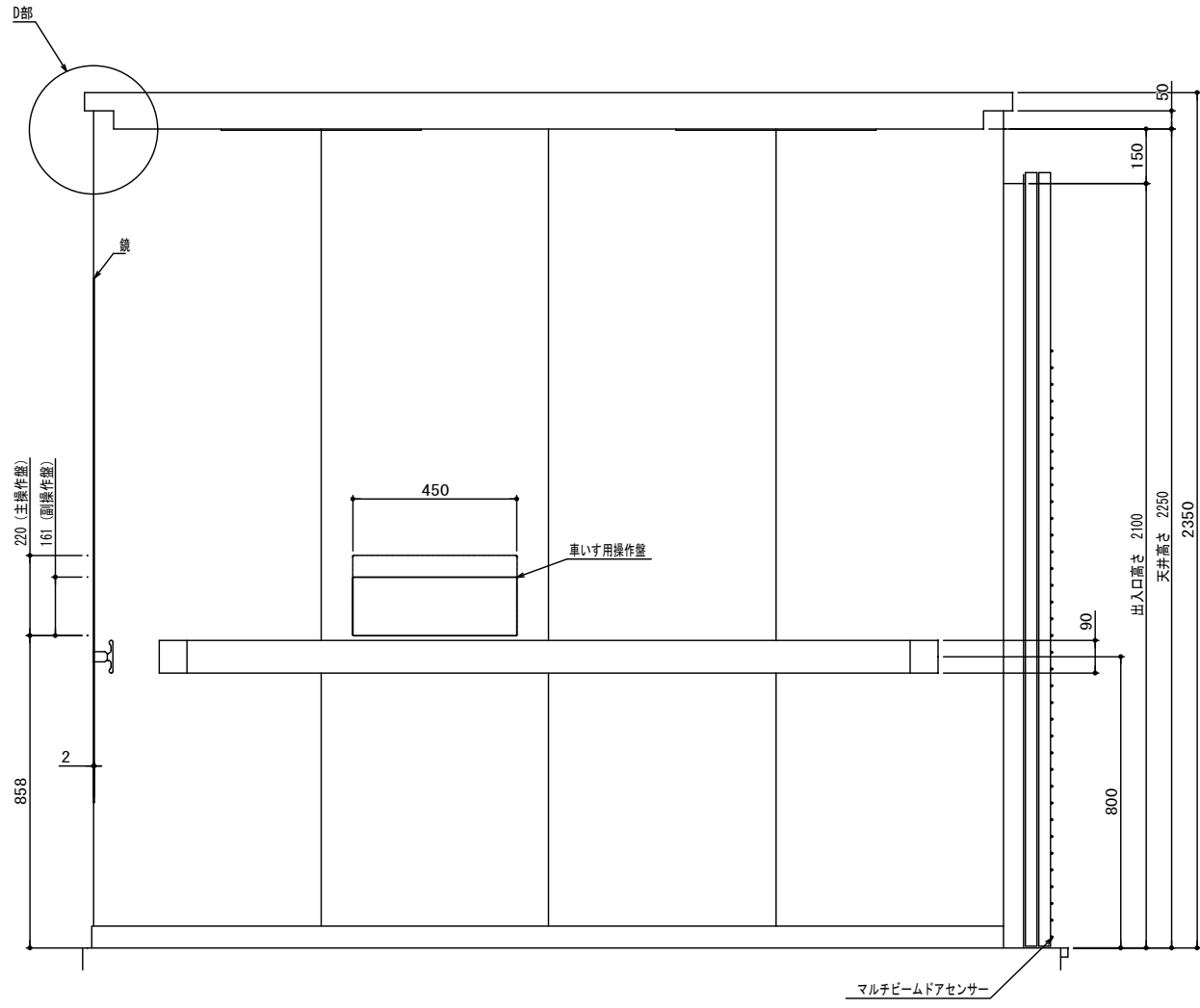
注) 上記荷重により柱及びはりのたわみは
5mm以下になるよう部材を設計下さい

地震時建物に掛る荷重

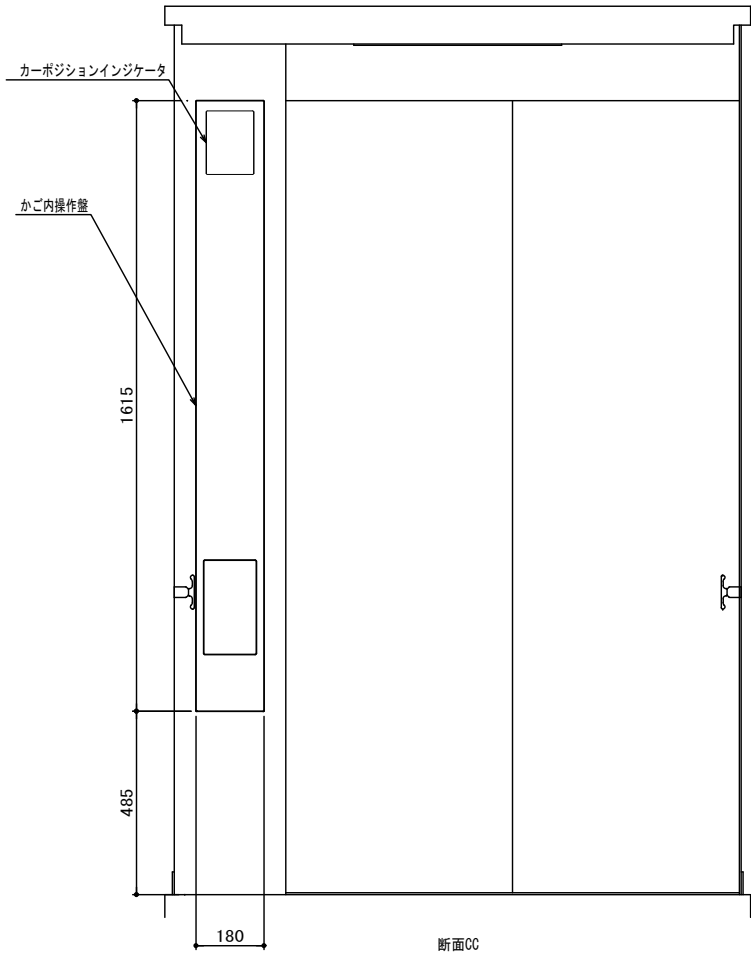
[illegible]



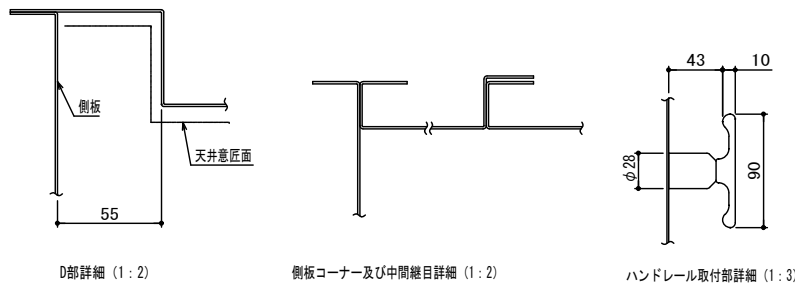
断面AA



断面BB



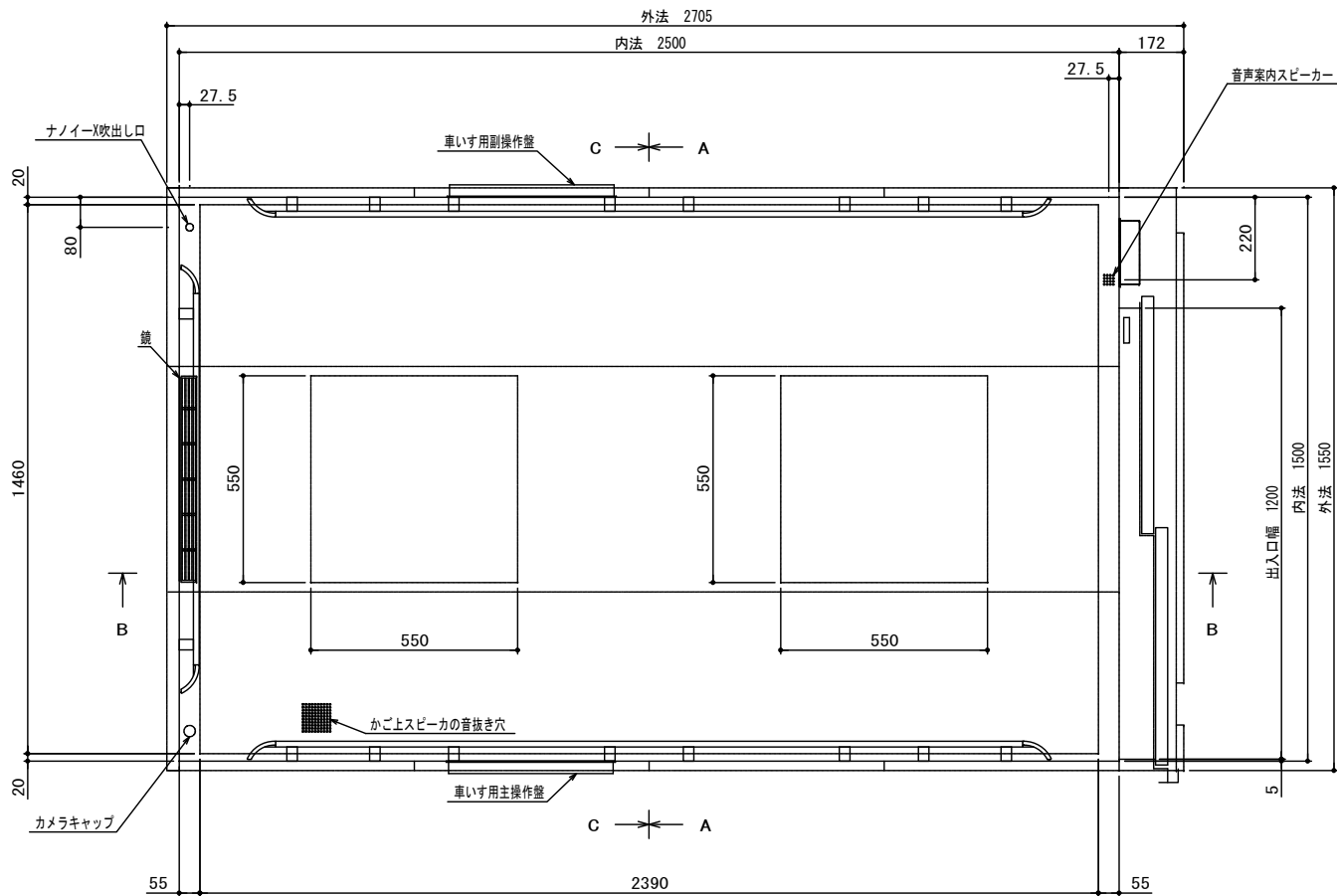
断面CC



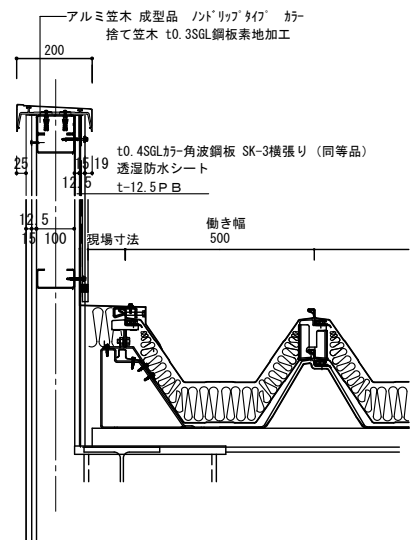
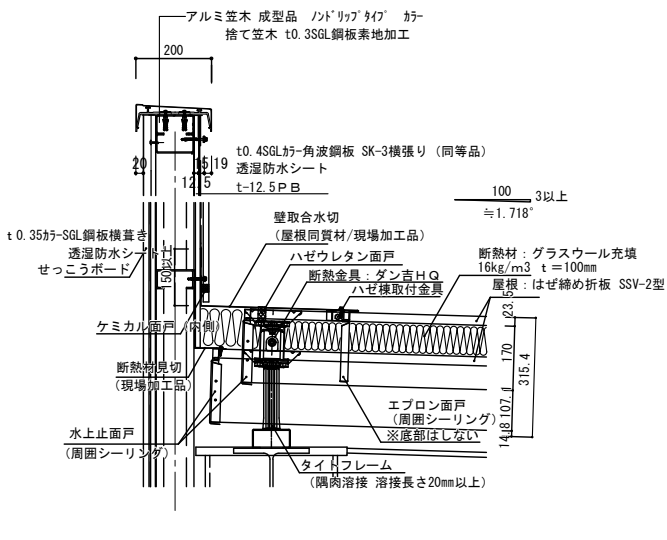
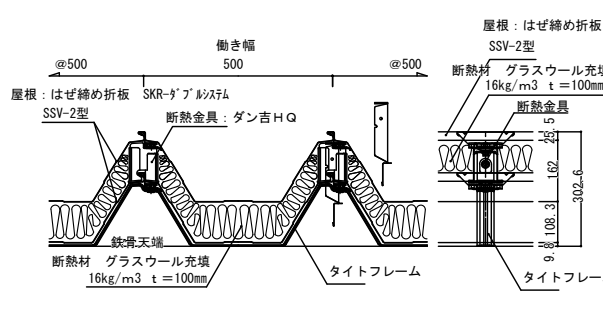
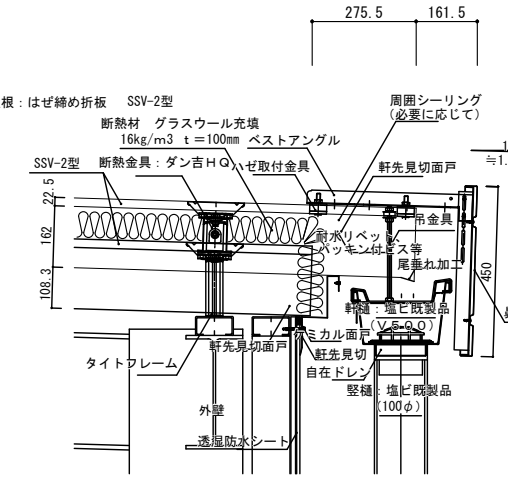
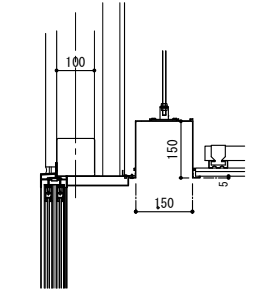
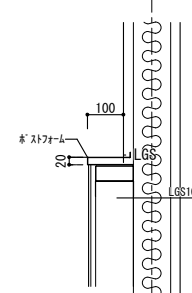
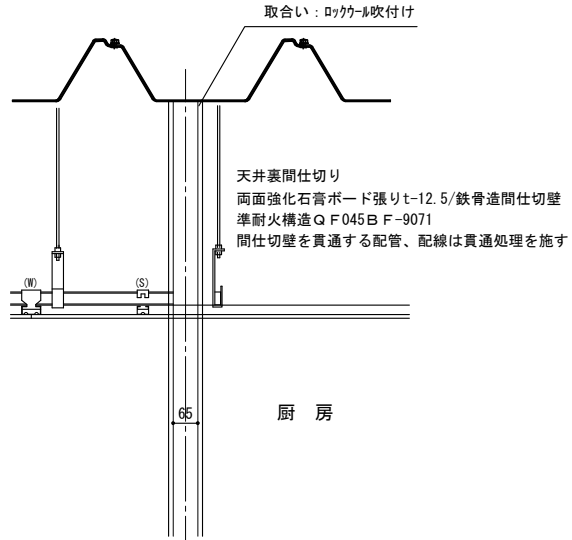
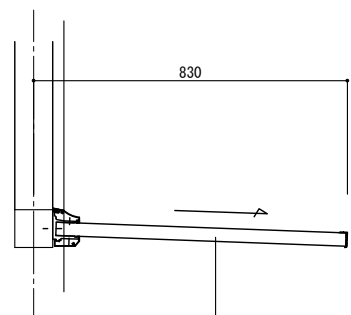
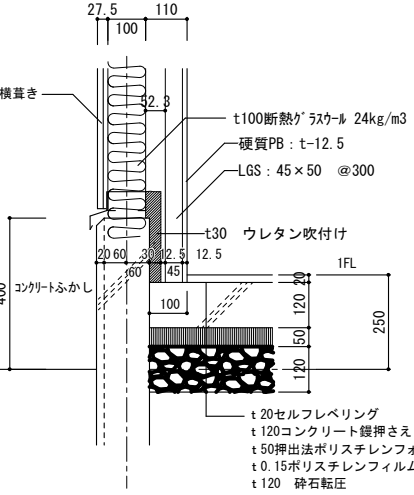
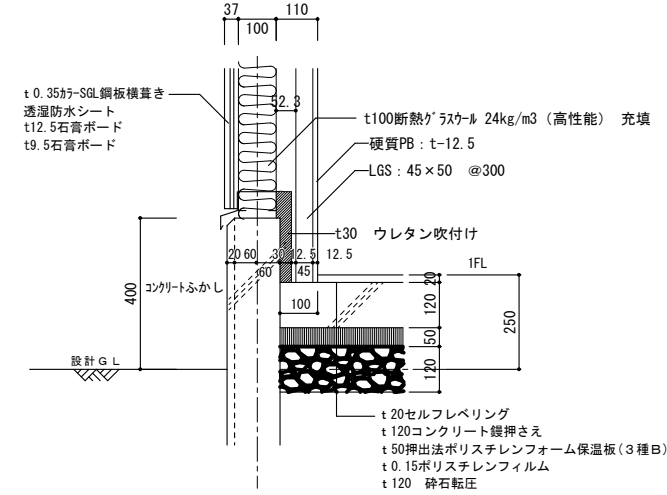
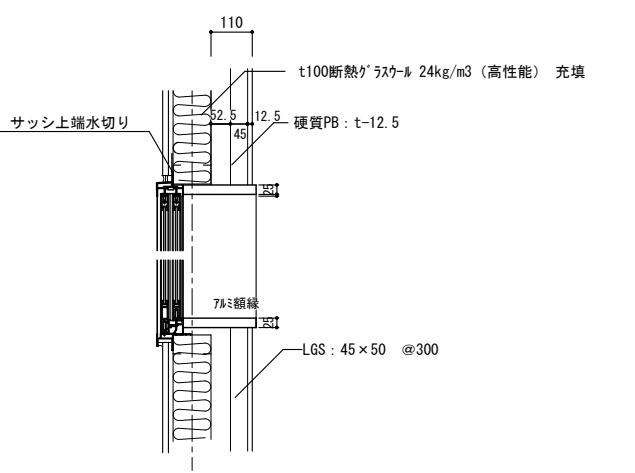
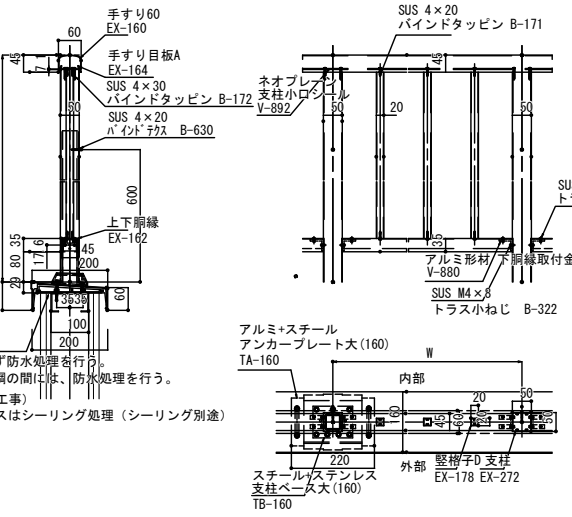
D部詳細 (1:2)

側板コーナー及び中間継目詳細 (1:2)

ハンドル取付部詳細 (1:3)

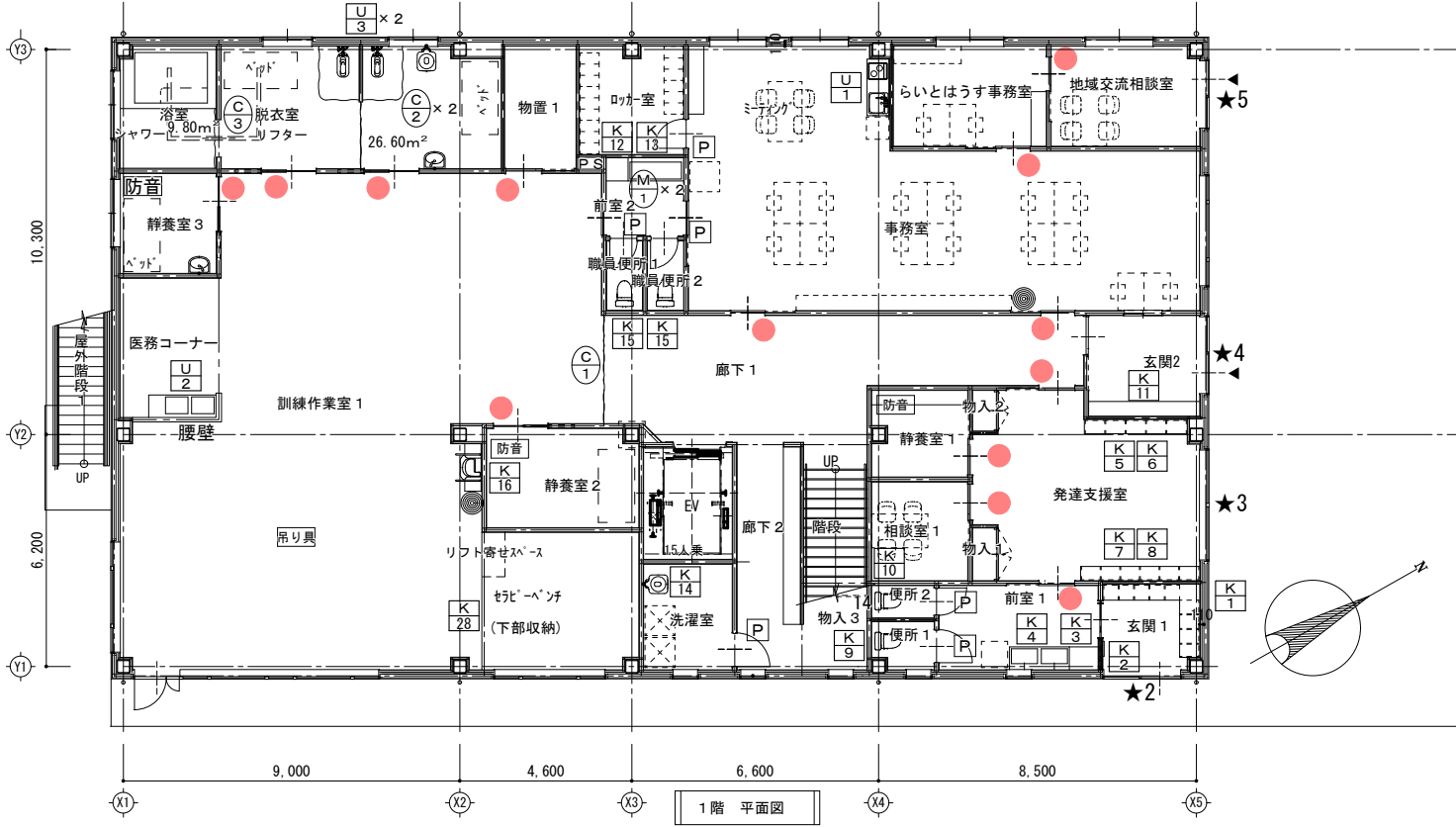


品 名	仕 様
前側板、柱、出入口上部枠	化粧銅板
幅 木	化粧銅板
側板、戸	化粧銅板
天井	化粧銅板
照 明	乳白色アクリルカバーLED照明 (天井照明色：白色)
停電灯	LED
換 気	ファン
床	荷重用樹脂タイル (2T)
敷 居	硬質アルミ
鏡	ステンレス鏡面 (両脇へアライン仕上)
ハンドルレール	アルミアルマイト仕上
光電装置	マルチビームドアセンサー付
天井換気M-パ-カメラ	ABS樹脂 (グレー)
付属品	車いす仕様付、視覚障がい者仕様付
	ケアフルセンサー付、ケアフルドア付
	ナノイ-X発生装置付、音声案内装置付
	非常放送用スピーカー付、かご側板保護マット付

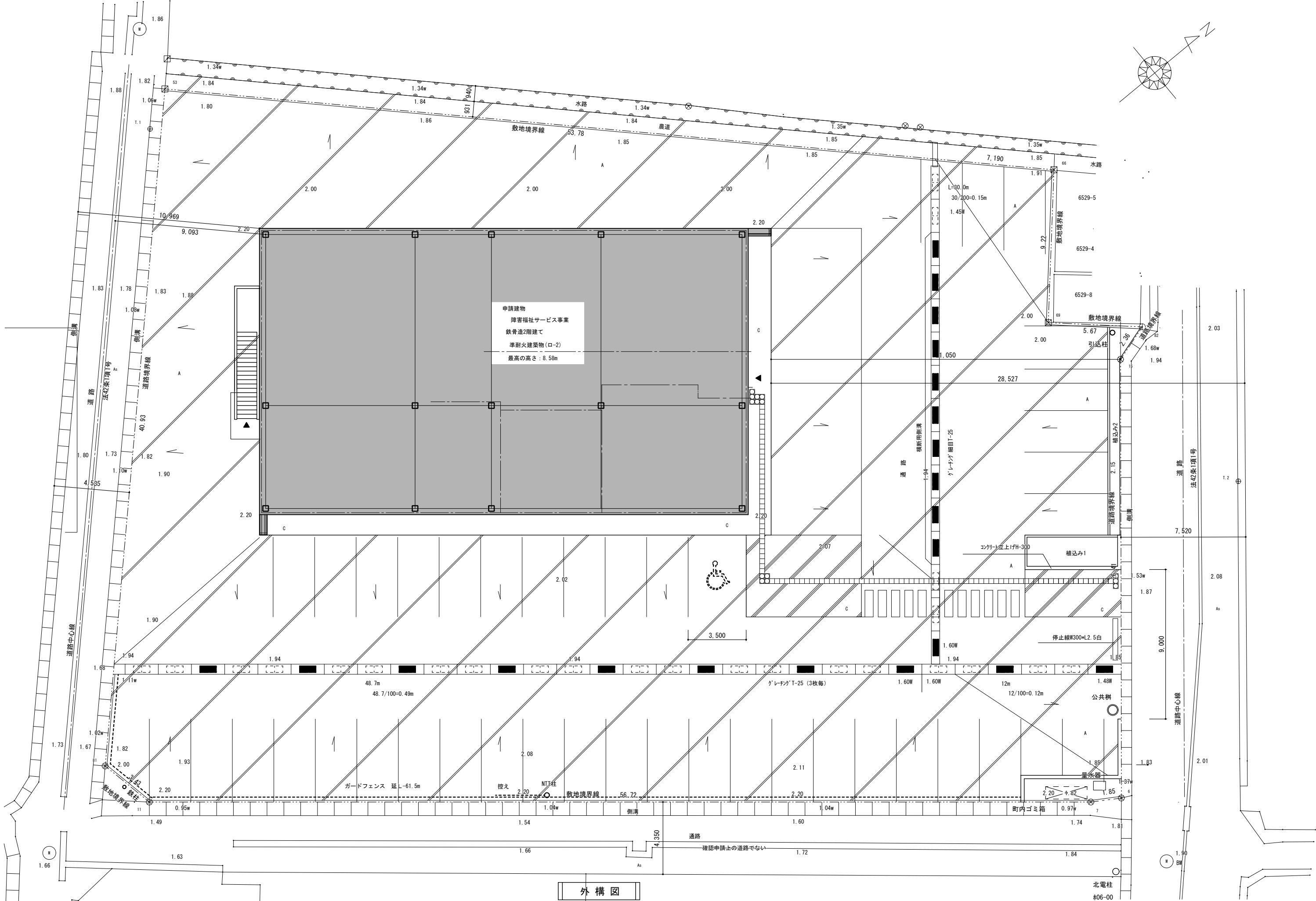
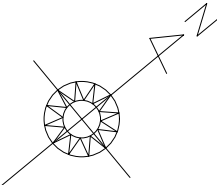
バレーット詳細図（ケラバ） 1 / 1 0 	バレーット詳細図（水上） 1 / 1 0 	屋根 詳細図 1 / 1 0 	屋根 軒先詳細図 1 / 1 0 
天井廻り天井ボックス納まり詳細図 1 / 1 0 	水回り面台納まり詳細図 1 / 1 0 	厨房天井裏：防火上主要な間仕切り詳細図 1 / 1 0 	2階通用品 庇詳細図 1 / 1 0 
外壁廻り 断熱詳細図（3面） 1 / 1 0 	外壁廻り 断熱詳細図（西面） 1 / 1 0 	外壁廻り サッシ廻り断熱詳細図 1 / 1 0 	笠木付手摺 詳細図 1 / 1 0 

バルコニー手摺下地立上げ詳細図 1 / 1 0	バルコニー壁立上げ取合い詳細図 1 / 1 0	天井走行リフト詳細図 1 / 1 0 天井走行リフト グルドマンGH1 (同等品) 天井走行リフト GH1 (同等品) 安全機構 上昇下降リミットスイッチ 緊急停止装置 緊急下降装置 上昇時ねじれ巻き込み防止装置 無負荷感知ロック機構 オートパワーオフ機能 スロースタート機能 レール、リフティングハンガー スリングシート	天井アイプレート詳細図 1 / 2
階段室手摺詳細図 1 / 5	階段室手摺詳細図 1 / 5		

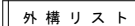
造作家具リスト																			
記号	名 称	場 所	数量	仕 様 ・ 寸 法	記号	名 称	場 所	数量	仕 様 ・ 寸 法	記号	名 称	場 所	数量	仕 様 ・ 寸 法	記号	名 称	場 所	数量	仕 様 ・ 寸 法
K 1	オープン棚	1階 玄関 1	1	本体：メラミン化粧板フラッシュ(小口共) 底板：t1.2SUS304加工 W2590×D1955×H1800	K 11	下足入れ	1階 玄関 2	1	本体：メラミン化粧板フラッシュ(小口共) 底板：t1.2SUS304加工 W2975×D370×H1635	K 21	膳板	2階 男子便所	1	本体：ポストフォームK P A W2625×D100	C 1	天付け 片引きカーテン	1階 訓練作業室 1	1	コントラクトカーテン タナブル同等(上部メッシュ) W2890×H2620(094Ⅸ´)
K 2	跳上げベンチ	1階 玄関 1	1	本体：ポリ合板フラッシュ(小口メラミン) 金物：付属金物一式 t 35×D400×W400	K 12	掃除棚	1階 前室 2	1	本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メラミン) W550×D600×H1800	K 22	膳板	2階 多目的便所	2	本体：ポストフォームK P A W1000×D100	C 2	天付け 片引きカーテン R付	1階 脱衣室	2	コントラクトカーテン シャワーカーテン同等 W2400×H2500
K 3	オープン棚	1階 前室 1	1	本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メラミン) 金物：棚柱、棚受 W770×D600×H2000	K 13	手洗いシンク	1階 前室 2	1	本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メラミン) シンク：t1.2SUS304加工 W1485×D600×H950	K 23	膳板	2階 女子便所	1	本体：ポストフォームK P A W800×D100	C 3	天付け 引分けカーテン	1階 浴室	1	コントラクトカーテン シャワーカーテン同等 W1600×H2500
K 4	手洗いシンク	1階 前室 1	1	本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メラミン) シンク：t1.2SUS304加工 W1600×D600×H950	K 14	オープン棚	1階 洗濯室	1	本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メラミン) 金物：モップ掛けフック 2ヶ W900×D300(600)×H400	K 24	カウンター	2階 個室	1	本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メラミン) t 30×W1390×D550	C 4	天付け 引分けカーテン R付	2階 訓練作業室 2	1	コントラクトカーテン タナブル同等(上部メッシュ) W5000×H2620(094Ⅸ´)
K 5	オープン棚	1階 発達支援室	1	本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メラミン) W2770×D425×H1260	K 15	棚板	1階 職員便所 1、2	2	本体：アートランバー W970×D200	K 25	手洗いシンク	2階 訓練作業室 2	2	本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メラミン) シンク：t1.2SUS304加工 W2700×D600×H950	C 5	天付け 片引きカーテン	2階 訓練作業室 2	1	コントラクトカーテン タナブル同等(上部メッシュ) W5465×H2620(094Ⅸ´)
K 6	扉付き収納棚	1階 発達支援室	1	本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メラミン) 金物：スライド丁番、棚柱、棚受 W2770×D425×H600	K 16	膳板	1階 訓練作業室 1	1	本体：ポストフォームK P A W1270×D100	K 26	オープン棚	2階 訓練作業室 2	2	本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メラミン) W2700×D170×H460	C 6	天付け 引分けカーテン	2階 訓練作業室 2	1	コントラクトカーテン タナブル同等(上部メッシュ) W6250×H2620(094Ⅸ´)
K 7	オープン棚	1階 発達支援室	1	本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メラミン) W3175×D425×H1260	K 17	カウンター	2階 厨房	1	本体：メラミン化粧板フラッシュ(小口共) t 30×W3500×D400	K 27	跳上げ扉付き オープン棚	2階 訓練作業室 2	1	本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メラミン) W4990×D2590×H1200	C 7	天付け 片引きカーテン R付	2階 男子WC	1	コントラクトカーテン シャワーカーテン同等 W2800×H2500
K 8	扉付き収納棚	1階 発達支援室	1	本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メラミン) 金物：スライド丁番、棚柱、棚受 W3175×D425×H600	K 18	カウンター	2階 食堂	1	本体：メラミン化粧板フラッシュ(小口共) t 30×W5905×D450	K 28	引き出し収納	1階 訓練作業室 1	1	本体：シナ合板フラッシュ造(D750程度) 金物：掘込み引手、一方向キャスター付 W700×D750×H200×3ヶ	C 8	天付け 片引きカーテン	2階 男子WC	1	コントラクトカーテン シャワーカーテン同等 W1600×H2500
K 9	棚板	1階 便所 1	1	本体：アートランバー材 W955×D200	K 19	オープン棚	2階 物置 2	1	本体：ツガ集成材 W7575×D650×H2000					C 9	天付け 片引きカーテン R付	2階 女子WC	1	コントラクトカーテン シャワーカーテン同等 W3200×H2500	
K 10	棚板	1階 便所 2	1	本体：アートランバー材 W865×D200	K 20	掃除棚	2階 男子便所	1	本体：ポリ合板フラッシュ造(小口メラミン) 金物：モップ掛けフック 2ヶ W835×D300(600)×H800		※施工にあたっては施工図を作成の上、 現場監督員の承認の上で発注すること。				C 10	天付け 片引きカーテン	2階 プレイルームA・B	2	コントラクトカーテン タナブル同等(上部メッシュ) W2900×H2620(094Ⅸ´)

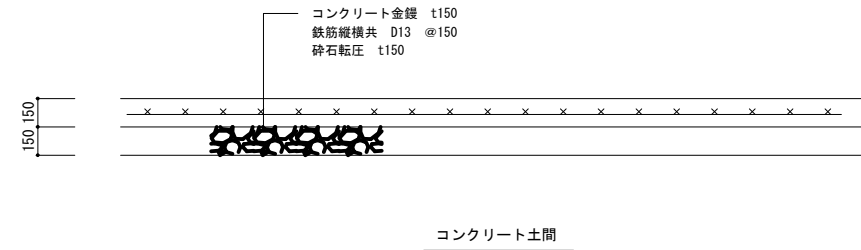
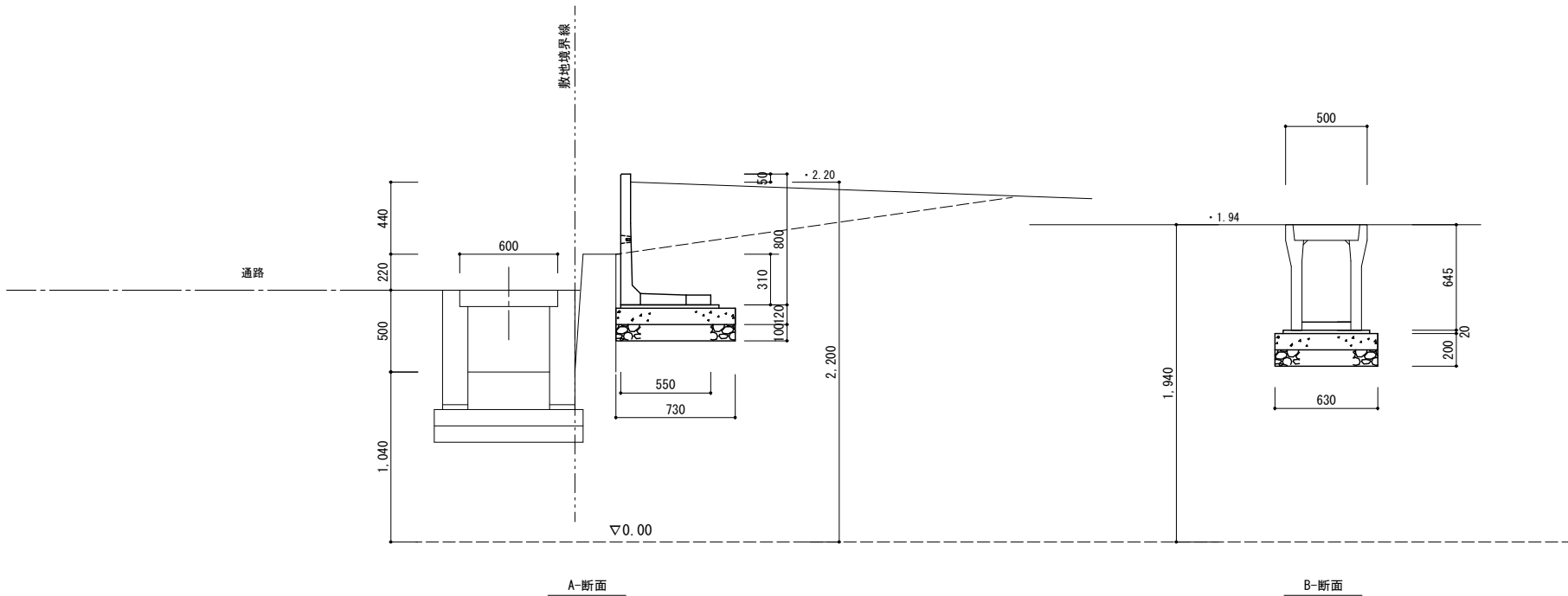
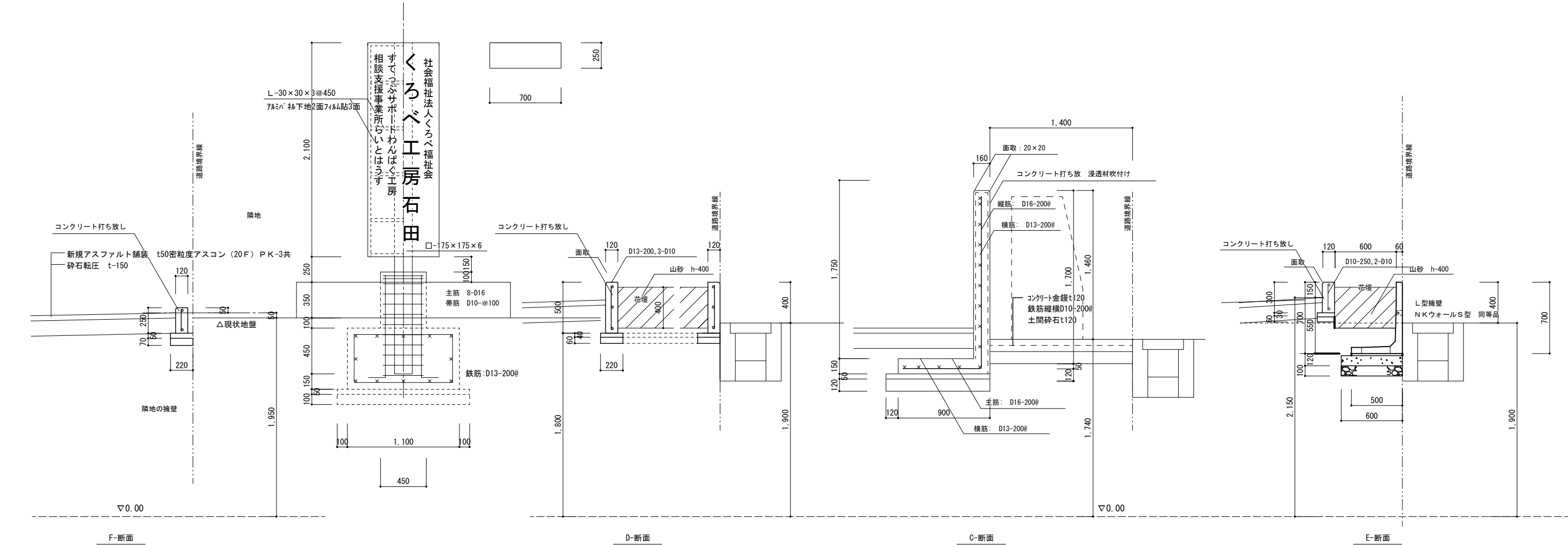


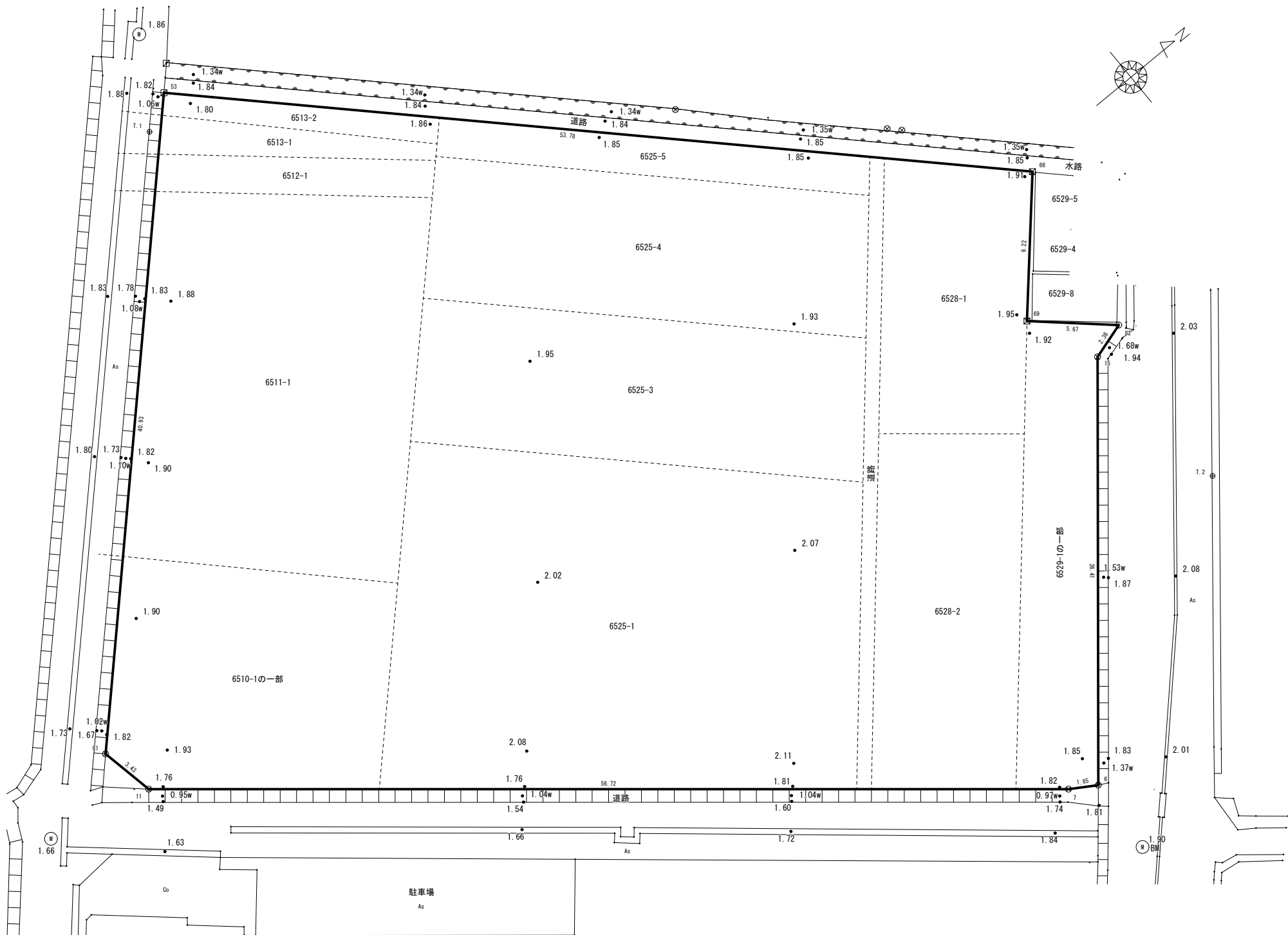
一般備品リスト										サインリスト									
記号	名 称	場 所	数量	仕 様 ・ 寸 法	記号	名 称	場 所	数量	仕 様 ・ 寸 法	記号	名 称	場 所	数量	仕 様 ・ 寸 法	記号	名 称	場 所	数量	仕 様 ・ 寸 法
U 1	コンパクトキッチン	1階 事務室	1	コンパクトキッチン 間口150cm I H付、電温、レンジフードとも Tio【LIXIL同等品】						★1	館名看板	外構	1	仕様詳細は外構リスト2参照 看板寸法：W700×H2100×D250	★5	館名文字 5	外壁	1	カットティングシート貼り 40角 13文字、ロゴ 100角程度
U 2	2層シンク	1階 医務コーナー	1	間口150cm 既製2層シンク TRE-2SB-A1545【タコ-同等】						★2	館名文字 2	外壁	1	カットティングシート貼り 40角 14文字、ロゴ 100角程度		室名	図示	21	カットティングシート貼り 表示：文字 2～7字程度 30角
●	消火器+ 消火器BOX	図示	4	A B C 1 O型粉末 置き型BOX【UFB-3F-3026：エーワ】						★3	館名文字 3	外壁	1	カットティングシート貼り 40角 14文字、矢印 100角程度	P	ピクトグラム	図示	9	120角程度 t3亚克力切板の上、カットティングシート貼り
										★4	館名文字 4	外壁	1	カットティングシート貼り 40角 7文字、ロゴ 100角程度					※施工にあたっては施工図を作成の上、 現場監督員の承認の上で発注すること。 ※屋外広告物申請はサイン工事に含む。



外構図

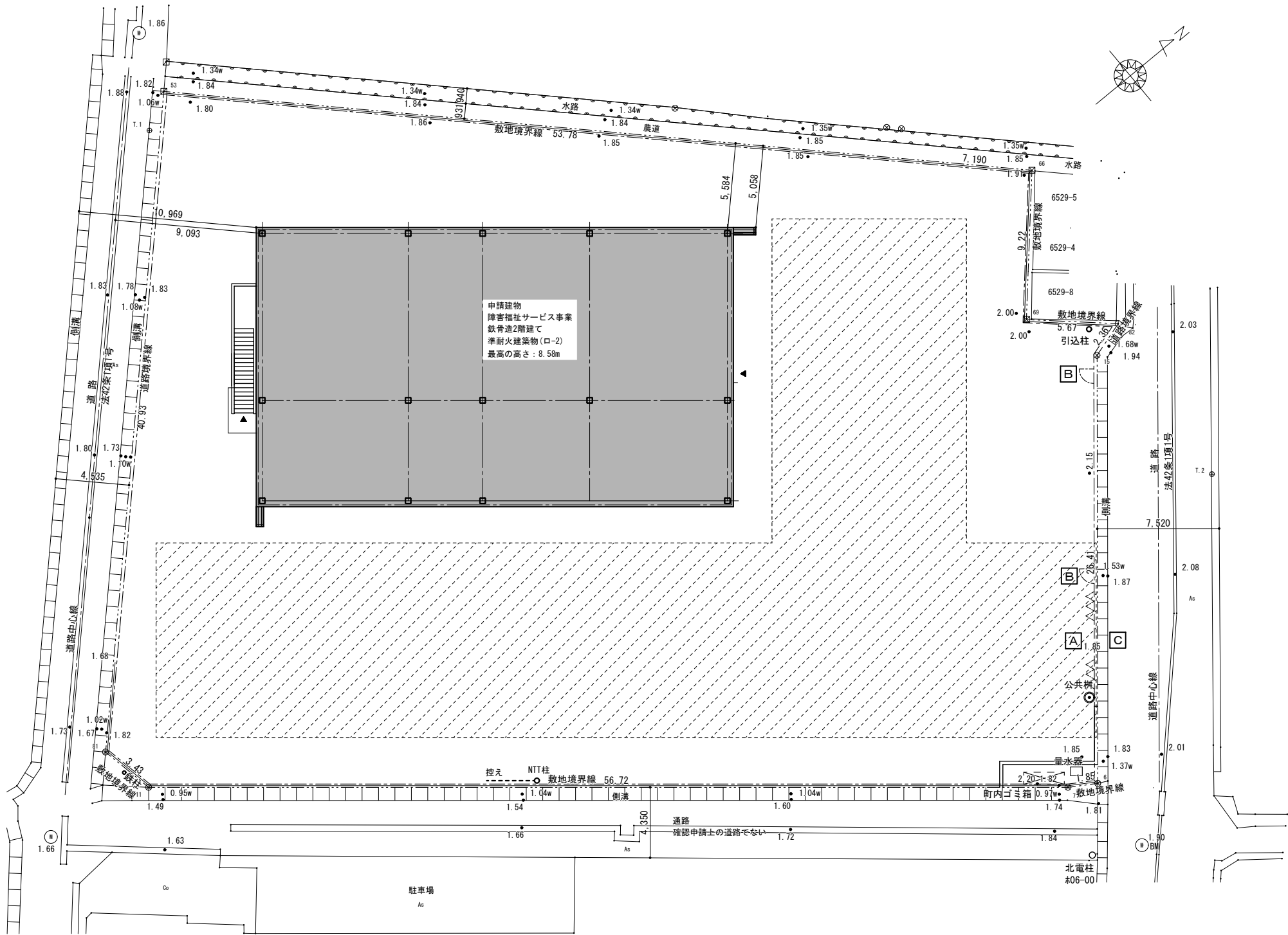






現状配置図

指定仮設 凡例	
	: 仮囲い ≒193m(敷地境界全周)
	: 鉄板敷き ハッチ部分 ≒936㎡
A	: ガラスゲート W6,000×H1,800 1箇所
B	: 通用口 W900×H2,000 2箇所
C	: 交通誘導員 B 1人 4か月 ≒96日



配置図